



Solaris 9 9/05 HW ご使用にあ たって



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 819-7964-10
2006年9月

Sun Microsystems, Inc. (以下米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている製品に含まれる技術に関連する知的財産権を所有します。特に、この知的財産権はひとつかそれ以上の米国における特許、あるいは米国およびその他の国において申請中の特許を含んでいることがあります、それらに限定されるものではありません。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者によって開発された素材を含んでいることがあります。

本製品に含まれる HG-MinchoL, HG-MinchoL-Sun, HG-PMinchoL-Sun, HG-GothicB, HG-GothicB-Sun, および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービマックス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java、JDK、Solaris JumpStart、SunOS、OpenWindows、XView、JavaSpaces、SunSolve、iPlanet Directory Server、Sun4U、Sun StorEdge、Solstice AdminSuite、SunInstall、Solaris Web Start、Java Naming and Directory Interface、Enterprise JavaBeans、Sun Enterprise、Sun Fire、Netra、OpenBoot、N1、Java および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。PostScript は、米国 Adobe Systems, Inc. の商標または登録商標であり、地域によっては登録されていることがあります。Netscape(TM) は Netscape Communications Corporation の商標または登録商標です。Netscape Navigator(TM) は Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。Copyright(C) OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. Copyright(C) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK for Solaris」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK for Solaris」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK」および「推測変換」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK for Solaris」に添付するフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。

「ATOK for Solaris」に含まれる郵便番号辞書(7桁/5桁)は日本郵政公社が公開したデータを元に制作された物です(一部データの加工を行なっています)。

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK のグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書で言及されている製品や含まれている情報は、米国輸出規制法で規制されるものであり、その他の国の輸出入に関する法律の対象となる場合があります。核、ミサイル、化学あるいは生物兵器、原子力の海洋輸送手段への使用は、直接および間接を問わず厳しく禁止されています。米国が禁輸の対象としている国や、限定はされませんが、取引禁止顧客や特別指定国民のリストを含む米国輸出排除リストで指定されているものへの輸出および再輸出は厳しく禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Solaris 9/05 HW Release Notes

Part No: 819-7032-10

Revision A

目次

はじめに	13
1 インストールに関する注意事項とバグ情報	19
日本語環境をインストールする前に知っておく必要がある情報	19
必要なディスク容量	19
日本語環境の選択	23
Solaris 9/05 HW ソフトウェアをインストールする前に知っておく必要がある注意事 項	26
特定の SPARC プラットフォームに必須の Solaris 9/05 HW ソフトウェア	26
Sun StorEdge SAN Foundation Software とマニュアル	26
x86: 特定の ATA ハードディスクドライブを搭載したシステムが、Solaris 9 ソフト ウェアのインストール後にリブートするとハングアップする	26
x86: Solaris 9/05 HW INSTALLATION CD のパーティションに関する問題	28
x86: 起動ディスクのデフォルトパーティションレイアウトの変更	28
SPARC: デフォルトの Solaris JumpStart プロファイルは小容量ディスクに複数のロケー ルをインストールしない可能性がある	29
x86: Service パーティションがないシステムでは、デフォルトで Service パー ティションが作成されない	30
x86: Solaris Device Configuration Assistant (デバイス構成用補助) ブート用フロッピー ディスクが使用できない	32
x86: BIOS バージョン GG.06.13 の Hewlett-Packard (HP) Vectra XU シリーズのシステム をアップグレードできない	32
Solaris 9/05 HW ソフトウェアをインストールする前に知っておく必要があるバグ	33
パスワードに特殊文字が含まれる場合、ftp での DVD GUI 対話式フラッシュ取得が 動作しない (6452743)	33
Sun Fire V240 と V440 サーバー、および Sun Blade 2000 ワークステーションで SVM の ミラー化を行うと、Solaris 9/05 ではパニックが発生し、Solaris 9/05 HW ではハング アップする (6456542)	33
SPARC: Sun Fire V1280 サーバー上で Sun Net Connect 3.1 Service のインストールが失敗 する (6284815)	34
x86: Adaptec Ultra-160 SCSI インタフェースを持つシステムで PXE ネットワークインス	

ツールがハングアップする (5039573)	34
x86: Sun LX50 サーバーにおいて X サーバーがマウスデバイスを開くことができない (5027771)	35
SPARC: re-preinstall コマンドでカスタム JumpStart ソフトウェアをインストールすると失敗する (5017239)	35
Solaris 2.6 および Solaris 7 ソフトウェアを実行している場合は、Solaris 9 9/05 HW DVD 上のデータにアクセスできない (4511090)	37
Solaris Web Start 3.0 に関する注意事項とバグ情報	38
Solaris Web Start 3.0 を使用して英語の Solaris 9 9/04 ドキュメントをインストールする方法	38
インストール全般に関する注意事項とバグ情報	38
フラッシュインストールの実行後に SUNWcsr や SUNWnistr で pkgchk エラーが発生する (4692667)	38
SPARC: JumpStart インストール時に diag-switch?=true である場合、インストーラによりユーザーに通知が行われる (6463765)	39
SPARC: Solaris 9 9/05 HW Web Start インストールプログラムは、特定のケースのパネルを適切に表示しないことがある (5002175)	40
SPARC: インストールまたはアップグレード後、複数のインタフェースを持つシステムがすべてのインタフェースを使用可能と認識する (4640568)	40
スワップ不足によって Solaris Web Start 2.x インストールが失敗する (4166394)	41
[日本語環境のみ] デフォルトロケールに関係なくインストールログが EUC テキストファイルで生成される	41
[日本語環境のみ] 日本語キーボード入力	42
Solaris 9 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD からのインストールに関する注意事項とバグ情報	43
ファイルシステムの作成時に警告メッセージが出力されることがある (4189127)	43
[日本語環境のみ] CD からのインストールで「コアシステムサポート」をインストールする場合の注意事項	43
アップグレードに関する注意事項	44
Solaris Live Upgrade を実行するには、追加パッチが必要	44
Solaris Live Upgrade パッケージをインストールするときの制限	44
Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアに、SUNWsan がインストールされていると Storage Area Network (SAN) にアクセスできない	45
Solaris suninstall プログラムによるアップグレードでのロケール選択	45
x86: Solaris 9 9/05 HW INSTALLATION CD (x86 版) を使用して Solaris 2.6 ソフトウェアまたは Solaris 7 ソフトウェアを実行する x86 システムをアップグレードできない	46
旧バージョンの Solaris Management Console ソフトウェアは Solaris 管理コンソール (Management Console) 2.1 ソフトウェアと互換性がない	46
アップグレード時に発生するバグ情報	48
Solaris Live Upgrade の使用時にインストールプログラムが表示するテキストに関する	

問題 (4736488)	49
SPARC: アップグレードの際に、SUNWjxcft パッケージの削除でエラーが記録される (4525236)	49
Solaris 9 9/05 HW リリースにアップグレードすると既存の Secure Shell デーモン (sshd) が使用できなくなることがある (4626093)	50
/export ディレクトリが満杯に近いシステムのアップグレードが失敗する (4409601)	50
ディスクレスサーバーおよびディスクレスクライアントのアップグレード (4363078)	51
アップグレード後に発生するバグ情報	51
Solaris Live Upgrade を使用して、以前の Solaris リリースをアップグレードした場合に、廃止されたアンインストーラーは削除されない (6198380)	51
SPARC: 推奨パッチのアップグレードまたは適用後、SAM-FS/QFS に関連する問題が発生する (5003346)	53
SPARC: アップグレード後にパッチを削除すると WBEM リポジトリが破壊されることがある (4820614)	54
アップグレードを行うと、システムのデフォルトロケールが正しく設定されない (バグ ID: 4233535)	55
日本語フォントディレクトリに、古いフォント設定ファイルが残ってしまう (4677463)	56
64 ビット Solaris に関する注意事項とバグ情報	56
SPARC: 一部の Sun UltraSPARC システム (sun4U) では、ブート Flash PROM をアップデートする必要がある	56
DOCUMENTATION CD に関する注意事項	57
Solaris 2.6、7、および 8 ソフトウェアが稼働している文書サーバーに 9 文字より長い名前のドキュメントパッケージをインストールできない	57
DOCUMENTATION CD のインストールに関するバグ情報	58
Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD の uninstaller ユーティリティの Uninstall が適切に機能しない (4675797、4627776)	58
コマンド行インタフェースモードでは DOCUMENTATION CD の確認画面が表示されない (4520352)	58
インストール時のローカライズに関する注意事項	59
選択したロケール以外のロケールもインストールされることがある	59
インストール時のローカライズに関するバグ情報	59
Solaris Live Upgrade を使用すると、LANGUAGE CD からデフォルトですべての言語がインストールされる (4898832)	59
タイ語、ロシア語、ポーランド語、カタロニア語を完全にサポートする Solaris 8 ソフトウェアを実行しているシステムをアップグレードすると、無効なパッケージがシステムに残る (4650059)	60

2 実行時の注意事項とバグ情報	61
64 ビット Solaris のバグ	61
SPARC: luxadm -e の port がデバイスパスを切り詰める (5028518)	61
システムパニックの問題	62
SPARC: ql_task_thread+0x660 で qlc パニックが発生する (6390862)	62
rlogin の問題	62
SPARC: バグ 5104883 の修正適用後にコンソール上で rlogin からログアウトすると、 壊れた出力が生成される (6403830)	62
ハードウェア関連の注意事項とバグ情報	63
サポートされる USB デバイスと対応するハブの構成	63
SPARC: PGX32 ハードウェアで拡張表示識別データが遅延する (6272648)	63
USB 2.0 ホストコントローラを持つシステムがハングアップまたはパニックすること がある (5030842)	64
スマートカードのバグ情報	65
スマートカードに対してシステムが反応しない (4415094)	65
スマートカード Console の「構成ファイルを編集」メニュー項目が使用できない (4447632)	66
共通デスクトップ環境 (CDE) に関する注意事項とバグ情報	66
共通デスクトップ環境 (CDE) に関する注意事項	66
SPARC: 共通デスクトップ環境のログインサービスにおいて、いくつかの UTF-8 ロ ケールが利用できない (5042573)	66
CDE のリムーバブルメディア自動実行機能が削除されている (バグ ID: 4634260)	67
SPARC: FontList オプションが指定されている場合、コマンド行から起動した dtmail がクラッシュする (4677329)	67
行数の多い電子メールの表示中に CDE がハングアップしたようになる (4418793)	68
Solaris PDA Sync がデスクトップ上の最後のエントリを削除できない (4260435)	68
Solaris PDASync が PDA デバイスとの国際化された複数バイトのデータ交換をサポート していない (4263814)	69
Solaris PDA Sync のロケールとはコードセットが異なる PDA デバイスとデータを交換 する場合の注意事項 (4851847)	69
dtmail で不在返信メッセージを作成すると、dtmail を起動したロケールと同じエン コーディングで不在返信メッセージが保存される (4394110)	69
[日本語環境のみ] ja_JP.PCK ロケールおよび ja_JP.UTF-8 ロケールに関する注意事 項	70
[日本語環境のみ] 移動メニューの設定で追加したメールボックス名が文字化けする (4066565)	70
GNOME 2.0 に関する注意事項とバグ情報	70
GNOME 2.0 のマニュアル	70
日本語入力方式が GTK+2 アプリケーションより先にキーイベントを取得できない	

(5013233)	71
システム管理に関するバグ情報	71
Solaris 8、6/00、10/00 の OS サービスにはパッチが必要 (4384092)	71
Solaris 2.6 3/98 または 5/98 の Sun4U OS サービスにはパッチが必要 (4150243、 4388885)	71
新しい構成ファイルを作成すると localadm が個々の CDROM からの地域追加機能に 失敗する (6350486)	72
一部のパッチで patchadd が失敗することがある (6460360)	72
SPARC: 保存停止・復元再開サイクル中にパニックが発生すると、システムがハング アップすることがある (5062026)	72
SPARC: キーボードシーケンスを使用してシステムを停止すると、システムがパ ニックすることがある (5061679)	73
x86: 新しいフレームワークを読み込んだ後のみ、Universal Serial Bus Architecture モ ジュラーデバグが自動的に構成されない (4982529)	73
x86: BIOS のブート時に F4 キーを押すと Service パーティションのブートに失敗する (4782757、5051157)	73
Solaris WBEM Services 2.5 デーモンは com.sun アプリケーションプログラミングインタ フェースプロバイダを検出できない (4619576)	74
XML/HTTP トランスポートプロトコル環境では com.sun アプリケーションプログラミ ングインタフェースメソッド呼び出しが失敗することがある (4497393、4497399、 4497406、4497411)	74
Solaris 管理コンソール (Management Console) の Mounts and Shares ツールでファイルシ ステムのマウント属性を変更できない (4466829)	75
[日本語環境のみ] Sun ONE Directory Server (旧 iPlanet Directory Server) の Sun ONE Console で GUI 上のレイアウトの問題がある (4644430)	75
admintool を使用してユーザーを作成する場合の注意事項	76
Solaris ボリュームマネージャの問題	76
Solaris ボリュームマネージャの metattach コマンドが失敗することがある	76
Solaris ボリュームマネージャに関するバグ情報	77
英語以外のロケールで Solaris ボリュームマネージャ metassist コマンドが失敗する (5067097)	77
Solaris ボリュームマネージャ RAID-1 (ミラー) または RAID-5 ボリュームがソフトパー ティション上に構築されたディスクセット内に作成されると、ホットスペアが正しく 動作しない (4981358)	78
論理デバイス名がすでに存在しない場合、Solaris ボリュームマネージャの metadevadm コマンドが失敗する (4645721)	78
Solaris ボリュームマネージャの metarecover コマンドが metadb 名前空間の更新に失敗 する (4645776)	79
ネットワーク接続に関するバグ情報	79
SPARC: 組み込み bge インタフェースの「per-instance」(インスタンスごとの) 固有プロ	

パーティーを <code>bge.conf</code> ファイルによって設定できない (6463210)	79
フィルタリングが有効な 2 つの IP ノード間に複数のトンネルを設定するとパケット が失われることがある (4152864)	80
DOCUMENTATION CD に関する注意事項	80
iPlanet Directory Server 5.1 の文書リンクが適切に機能しない	80
他のドキュメントパッケージを削除するのに必要な <code>SUNwdocs</code> パッケージ	80
DOCUMENTATION CD に関するバグ情報	81
ヨーロッパロケールの PDF 文書は C ロケールでしか利用できない (4674475)	81
Solaris 9 9/05 HW ドキュメントパッケージを削除すると、いくつかの Solaris 9 9/05 HW の文書コレクションが予期せずアンインストールされる (4641961)	81
ローカライズに関する注意事項	82
ja_JP.eucJP ロケールに関する注意事項	82
エストニア語タイプ 6 キーボード、フランス語 (カナダ) タイプ 6 キーボード、プログ ラム向けポーランド語タイプ 5 キーボードのハードウェアがサポートされない	83
ローカライズに関するバグ情報	84
ヨーロッパ言語の UTF-8 ロケールで、ソート機能が正しく動作しない (4307314)	84
Netscape Communicator 4.78 (日本語版) に関するバグ情報	85
[日本語環境のみ] ページ情報ダイアログ内の日本語が正しく表示されない場合がある (4269123)	85
[日本語環境のみ] CDE アプリケーションから日本語文字列をコピー&ペーストでき ない (バグ ID: 4197428)	85
Netscape Communicator 4.78 の使用許諾契約書の内容が途中で切れている (4170571)	85
Netscape 7.0 に関する注意事項	86
Sun ONE Application Server のバグ	86
デフォルトのブラウザが Sun ONE Application Server 7 と互換性がない (4741123)	86
Sun ONE Directory Server (旧 iPlanet Directory Server) の問題	87
設定の問題	87
スキーマの問題	87
レプリケーションの問題	87
サーバープラグインの問題	87
サービスのロールとクラスの問題	88
インデックスの問題	88
Sun ONE Directory Server に関するバグ情報	88
Console を使用してユーザーを無効にできない (4521017)	88
ルート接尾辞に空白文字が含まれるディレクトリは構成できない (4526501)	89
ユーザーパスワードを変更した後もアカウントロックアウトが有効なまま残る (4527623)	89

インストール直後に実行された Console バックアップが失敗する (4531022)	89
DN 属性を正規化するとき、サーバーが大文字と小文字を区別する構文を無視する (4630941、4933500)	90
Export、Backup、Restore の実行中または索引の作成中にサーバーを停止すると、そ のサーバーがクラッシュする (4678334)	90
レプリケーションが自己署名証明書を使用できない (4679442)	90
セキュリティに関する注意事項	91
pam_ldap を有効にしておく、パスワードなしのログインが失敗する	91
その他	91
バンドルされたフリーウェアのソフトウェアが国際化対応でない	91
3 サポート中止に関する情報	93
Solaris 9 でサポートを中止した製品	93
adb マップ修飾子とウォッチポイント構文	93
AnswerBook2 文書サーバー	94
aspppd ユーティリティ	94
ATOK8 日本語入力方式	94
crash ユーティリティ	94
Solaris ipcs コマンドのシステムクラッシュ時のダンプ用オプション	94
cs00 日本語入力方式	94
x86: devconfig コマンド	95
x86: デバイスとドライバソフトウェアのサポート	95
アーリーアクセス (EA) ディレクトリ	95
ESDI ドライブ用 Emulex MD21 ディスクコントローラ	95
enable_mixed_bcp チューニング可能パラメタ	96
x86: Intel 486 システム	96
japanese ロケール	96
Java Software Developer's Kit (SDK) 1.2.2	96
JDK 1.1.8 および JRE 1.1.8	96
libjapanese.a	96
Kerberos バージョン 4 クライアント	97
OpenWindows 開発ツールキット	97
OpenWindows ユーザー環境	97
プライオリティページングおよび関連カーネル調整可能パラメ タ(priority_paging/cachefree)	98
s5fs ファイルシステム	98
sdtudc_extract_ps	98

sendmail ユーティリティ機能	99
Solaris Maintenance Updates	99
SUNWebnfs パッケージ	99
sun4d ベースのサーバー	99
SUNWrdm パッケージ	99
将来のリリースでサポートを中止する予定の製品	100
add_drv システムコマンドの <i>device_driver</i> へのパス名指定サポート	100
AdminTool コマンド	100
アジアの短縮 <i>dtlogin</i> 名	100
asysmem() インタフェースおよび <i>sysmem()</i> インタフェース	101
監査デーモンインタフェース	101
基本セキュリティモジュールのデバイス割り当てインタフェース	101
廃止されるデバイスドライバインタフェース (DDI)	101
power.conf の Device Management エントリ	104
デバイスとドライバソフトウェアのサポート	104
Alt キーおよびメタキーを使用した Euro 文字入力シーケンス	104
フェデレーテッドネーミングサービス XFN のライブラリとコマンド	105
fork() 関数	105
汎用 LAN ドライバのバージョン 0 インタフェース	105
GMT zoneinfo タイムゾーン	106
SPARC: グラフィックドライバのサポート	106
Java Runtime Environment 1.2.2	106
Kodak Color Management System	106
Korean CID フォント	106
Lance Ethernet Drivers	107
libXinput ライブラリ	107
LDAP クライアントライブラリ	107
廃止される軽量プロセス (LWP) インタフェース	107
匿名インタフェースグループ機能	108
netstat の -k オプション	108
NIS+ (ネットワーク情報サービスプラス) のネームサービスの種類	108
pam_unix モジュール	108
Perl バージョン 5.005_03	108
電源管理入出力制御コマンド	109
64 ビット SPARC: libc の ptrace インタフェース	109
sendmailvars と L sendmail.cf コマンドまたは G sendmail.cf コマンド	109
SPARC: 64 ビットパッケージ	110

sdt jmplay Desktop Java Media Player	110
SPC ドライバ	110
Solaris 32 ビット Sun4U カーネル	110
Solaris スタティックシステムライブラリ	111
Solaris ボリュームマネージャのトランザクションボリューム	112
Solstice Enterprise Agents	112
スタンドアロンのルーター検出	112
記憶装置インタフェース	112
sun4m ハードウェア	113
Sun Java System Application Server Platform Edition 7.0 (旧 Sun ONE Application Server 7.0)	113
Sun StorEdge A3000、Sun StorEdge A3500、および Sun StorEdge A3500FC システム	113
テープデバイス	113
Ultra AX および SPARCengine Ultra AXmp グラフィックスカード	113
32 ビット: X11 スタティックライブラリ	114
XIL インタフェース	114
xetops ユーティリティ	114
xutops プリントフィルタ	114
4 マニュアルに関する情報	115
マニュアルの訂正・補足: SUNWespgs 内のリファレンスマニュアルページ	115
マニュアルの訂正・補足: SunScreen 3.2 Configuration Examples Manual (英語版)	116
影響を受けるドキュメント: 『Solaris のシステム管理(ネーミングとディレクトリサービス: DNS、NIS、LDAP 編)』	116
ネームサービススイッチ (概要)	116
LDAP ネームサービスの設定と管理	117
NIS から LDAP への移行 (概要と手順)	117
ネットワーク情報サービス (NIS) (概要)	117
マニュアルの訂正・補足: 『Solaris のシステム管理 (IP サービス)』の「DHCP の管理 (手順)」	118
マニュアルの訂正・補足: 『Solaris WBEM 開発ガイド』の「CIM オブジェクトマネージャの使用」	118
マニュアルの訂正・補足: 『Solaris ボリュームマネージャの管理』の「ルート(/)のミラー化に関する特殊な考慮事項」	119
[日本語環境のみ] マニュアルの訂正・補足: X Window System 関係の日本語翻訳マニュアルページが古い	119
Solaris 99/04 DOCUMENTATION CD に関する注意事項	119
ナビゲーションファイルに関する注意事項	119

『Sun ONE Application Server 7 Update 3 Collection (Solaris Edition) - Japanese』の日本語 版マニュアルについて	120
A Solaris 9 9/05 HW オペレーティングシステムのパッチについて	121
SPARC パッチの一覧	122

はじめに

本書『Solaris 9 9/05 HW ご使用にあたって』は、Solaris 9 9/05 HW をご使用になるにあたって最初に読んでいただくマニュアルです。『Solaris 9 9/05 HW ご使用にあたって』は Solaris™ 9 9/05 HW のインストールする際の問題と、その他の問題が記述されています。このリリースのハードウェアに特に依存する問題は『Solaris 10 Sun ハードウェアマニュアル』に記述されています。その他の Solaris 9 9/05 HW OS に関する全ての情報については、<http://docs.sun.com>にある、Solaris 9 9/04 のマニュアルを参照してください。特定の Solaris 9 9/04 のマニュアルには、この最新リリース Solaris 9 9/05 HW に適合する情報が記載されています。

注 - Solaris ソフトウェアは、SPARC® プラットフォームおよび x86 プラットフォーム上で動作します。また、Solaris ソフトウェアは、64 ビットおよび 32 ビットのアドレス空間で動作します。本書で説明する情報は、章、節、注、箇条書き、図、表、例、またはコード例において特に明記しない限り、両方のプラットフォーム、および両方のアドレス空間に該当します。

Solaris 9 9/05 HW リリースは、特定の SPARC ハードウェア製品に対する Solaris 9 OS サポートを提供します。これは、x86 プラットフォームには対応していません。x86 プラットフォームの場合は、既存の Solaris 9 9/05 リリースを引き続き使用できます。本書は、Solaris 9 9/05 ソフトウェアを使用している x86 プラットフォームに適用される情報を含んでいます。

対象読者

本書は、Solaris に関する知識を持つ方、現在習得中の方を対象に、Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアをインストールして使用するために必要な情報を提供します。

注 - このバージョンのソフトウェアは、SPARC プラットフォームだけに対応しています。SPARC または x86 プラットフォーム上で Solaris 9 9/05 ソフトウェアを使用している場合は、代わりに『Solaris 9 9/05 ご使用にあたって』を参照するようにしてください。

内容の紹介

本書は、Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアに関する以下の情報を提供します。

第 1 章では、インストールに関する注意事項とバグについて説明しています。この章の内容を理解してからインストールを開始してください。

第 2 章では、Solaris 9 9/05 HW 実行時の注意事項とバグについて説明しています。

第 3 章では、サポートを終了するソフトウェア機能またはハードウェアについて説明しています。

第 4 章では、Solaris 9 9/05 HW のマニュアル中の記述に関する、補足事項や訂正事項を説明しています。

付録 A では、Solaris 9 9/05 HW オペレーティングシステムのパッチについて説明していません。

Solaris のほかに付属のソフトウェアをインストールする場合は、付属ソフトウェアに含まれている最新リリース情報を参照して、そのソフトウェアに関する注意事項とバグ情報を確認してください。

関連マニュアル

Solaris 9 9/05 HW に適用されるドキュメントを次に示します。

- GNOME 2.0 Desktop 9/04 Collection - Japanese
- iPlanet Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese
- Solaris 9 9/04 About What's New Collection - Japanese
- Solaris 9 9/04 Reference Manual Collection - Japanese
- Solaris 9 9/04 Software Developer Collection - Japanese
- Solaris 9 9/04 System Administrator Collection - Japanese
- Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Collection
- Solaris 9 9/05 HW Release and Installation Collection - Japanese
- Solaris 9 Common Desktop Environment Developer Collection - Japanese
- Solaris 9 KCMS Collection
- Solaris 9 User Collection - Japanese
- Sun ONE Application Server 7 Reference Manual Collection
- Sun ONE Application Server 7, Update 3 - Japanese
- Sun ONE Message Queue 3.0.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese

Solaris ソフトウェアのインストール時に、次のドキュメントを参照することが必要な場合があります。

- GNOME 2.0 Desktop Collection - Japanese
- iPlanet Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese
- 『Solaris 9 インストールの手引き』

- 『Solaris 9 9/04 インストールガイド』
- 『Solaris 9 9/04 ご使用にあたって』
- 『Solaris 9 9/05 ご使用にあたって』
- Solaris 9 System Administrator Collection - Japanese
- Solaris 9 User Collection - Japanese
- [Solaris \(x86 Platform Edition\) Hardware Compatability List](#)
- Sun ONE Application Server 7 Update 3 Collection (Solaris Edition) - Japanese
- Solaris 9 9/04 About What's New Collection - Japanese

Sun™ Java™ Enterprise System 2004Q2 については、<http://docs.sun.com> で『Sun Java Enterprise System リリースノート』を参照してください。

Sun ONE Application Server 7 Update 3 Collection (Solaris Edition) - Japanese には、『Sun ONE Application Server 7, Update 3 プラットフォームの概要』が提供されています。『Sun ONE Application Server 7, Update 1 プラットフォームの概要』については、<http://docs.sun.com> を参照してください。

最新の CERT 勧告については、CERT の公式 Web サイト <http://www.cert.org> を参照してください。

ハードウェア構成によっては、Solaris ソフトウェアをインストールするために、ハードウェア固有の補足説明が必要になることがあります。ある時点において、使用しているシステムにハードウェア固有の動作が必要になる場合、そのハードウェアの製造元から Solaris インストールの補足文書が提供されています。それらの資料 (『Solaris 9 9/05 Sun ハードウェアマニュアル』など) で、ハードウェア固有のインストール手順を参照してください。

他社の関連する Web サイト

このマニュアルでは、他社が提供している URL で関連する追加情報を参照します。

注 - このマニュアル内で引用する第三者の Web サイトの可用性について Sun は責任を負いません。こうしたサイトやリソース上またはこれらを通じて利用できるコンテンツ、広告、製品、その他の素材について Sun は推奨しているわけではなく、Sun はいかなる責任も負いません。こうしたサイトやリソース上で、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、製品、サービスを利用または信頼したことによって発生した (あるいは発生したと主張される) いかなる損害や損失についても、Sun は一切の責任を負いません。

マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun の Web サイトでは、次のサービスに関する情報も提供しています。

- マニュアル (<http://jp.sun.com/documentation/>)
- サポート (<http://jp.sun.com/support/>)
- トレーニング (<http://jp.sun.com/training/>)

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 system%
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	system% su password:
AaBbCc123	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザズガイド』を参照してください。
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% grep '^#define \ XV_VERSION_STRING'

コード例は次のように表示されます。

- C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

インストールに関する注意事項とバグ情報

この章では、Solaris 9 9/05 HW オペレーティングシステムのインストールに関連した問題を説明します。

日本語環境をインストールする前に知っておく必要がある情報

必要なディスク容量

Solaris 9 9/05 HW の日本語環境と DOCUMENTATION CD をインストールする場合に必要なディスク容量について説明します。

Solaris 9 9/05 HW のソフトウェア容量

次の表に、Solaris 9 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD、Solaris 9 9/05 HW SOFTWARE 2 of 2 CD、Solaris 9 9/05 HW LANGUAGES CD に含まれている日本語ロケール (ja、ja_JP.PCK、ja_JP.UTF-8) のパッケージをインストールするために必要なディスク容量を示します。Solaris 9 より、ファイルシステムの自動配置でデフォルトとして選択される領域は、ルート (/) とスワップ (swap) だけになりました。記載されている値は、このデフォルトのファイルシステムでインストールする場合に必要なルートファイルシステムの推奨値 (括弧内は最小値) で、スワップ領域に必要な容量は含まれていません。

なお、Solaris suninstall プログラムで「ソフトウェアの選択」画面に実際に表示される各ソフトウェアグループの値は、スワップ領域を含んだ値です。この値は、インストールするシステムのディスクやメモリーのサイズによって異なります。

表 1-1 Solaris 9/05 HW (SPARC 版) のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ソフトウェアグループ	ルート (/) ファイルシステムのサイズ
全体ディストリビューションと OEM サポート	2600 (2210)
全体ディストリビューション	2552 (2170)
開発者システムサポート	2003 (1702)
エンドユーザーシステムサポート	1415 (1204)
コアシステムサポート	261 (224)

注- この表に記載されている値は、Sun4U アーキテクチャのシステムにソフトウェアをデフォルトでインストールする場合に必要な容量で、64 ビット (sparcv9) サポートパッケージの容量を含んでいます。64 ビットパッケージをインストールしない場合や、Sun4U 以外のアーキテクチャにインストールする場合には、この表の値よりも推奨値で 60M ~ 250M バイト、最小値で 50M ~ 220M バイトほど少ない容量で済みます。

表 1-2 Solaris 9/05 HW (x86 版) のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ソフトウェアグループ	ルート (/) ファイルシステムのサイズ
全体ディストリビューションと OEM サポート	2182 (1855)
全体ディストリビューション	2182 (1855)
開発者システムサポート	1670 (1420)
エンドユーザーシステムサポート	1184 (1007)
コアシステムサポート	168 (142)

Solaris DOCUMENTATION CD のソフトウェア容量

次の表に、アジア言語版の DOCUMENTATION 2 of 2 CD に含まれている、英語および日本語のドキュメントパッケージとその容量を示します (その他のアジア言語のパッケージは省略)。これらのパッケージのうち * 印がついているパッケージは、デフォルトで /opt にインストールされます。

注 - Solaris 9/05 HW では、Solaris 9/04 DOCUMENTATION CD を使用します。

表 1-3 Solaris 9/04 DOCUMENTATION 2 of 2 CD のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

パッケージ	コレクション名	必要な容量の概算値
SUNWadm *	Solaris 9/04 System Administrator Collection (HTML 版)	29

表 1-3 Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION 2 of 2 CD のソフトウェア容量 (単位:M バイト) (続き)

パッケージ	コレクション名	必要な容量の概算値
SUNWdev *	Solaris 9 9/04 Software Developer Collection (HTML 版)	20
SUNWids *	iPlanet Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition) (HTML 版)	8
SUNWsdocs *	Documentation Navigation for Solaris 9	1
SUNWjaadm *	Solaris 9 9/04 System Administrator Collection - Japanese (HTML 版)	28
SUNWjabe *	Solaris 9 User Collection - Japanese (HTML 版)	15
SUNWjaman *	Solaris 9 9/04 Reference Manual Collection - Japanese (HTML 版) ¹	15
SUNWjdad *	Solaris 9 Common Desktop Environment Developer Collection - Japanese (HTML 版)	9
SUNWjdev *	Solaris 9 9/04 Software Developer Collection - Japanese (HTML 版) ¹	14
SUNWjids*	iPlanet Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese (HTML 版)	8
SUNWjinab *	Solaris 9 9/04 Release and Installation Collection - Japanese (HTML 版)	4
SUNWwnabj *	Solaris 9 9/04 About What's New Collection - Japanese (HTML 版)	1
SUNWjasdc *	Sun ONE Application Server 7 Update 1 Collection (Solaris Edition) - Japanese (HTML 版) ¹	3
SUNWjqdoc *	Sun ONE Message Queue 3.0.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese (HTML 版)	3
SUNWjgndoc *	GNOME 2.0 Desktop 4/04 Collection - Japanese (HTML 版)	4
SUNWpaadm	Solaris 9 9/04 System Administrator Collection (PDF 版)	26
SUNWpdev	Solaris 9 9/04 Software Developer Collection (PDF 版)	20
SUNWpids	iPlanet Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition) (PDF 版)	8
SUNWpjaadm	Solaris 9 9/04 System Administrator Collection - Japanese (PDF 版)	29
SUNWpjabe	Solaris 9 User Collection - Japanese (PDF 版)	15

表 1-3 Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION 2 of 2 CD のソフトウェア容量 (単位: M バイト) (続き)

パッケージ	コレクション名	必要な容量の概算値
SUNWpjaman	Solaris 9 9/04 Reference Manual Collection - Japanese (PDF 版) ¹	16
SUNWpjdad	Solaris 9 Common Desktop Environment Developer Collection - Japanese (PDF 版)	10
SUNWpjdev	Solaris 9 9/04 Software Developer Collection - Japanese (PDF 版) ¹	18
SUNWpjids	iPlanet Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese (PDF 版)	12
SUNWpjina	Solaris 9 9/04 Release and Installation Collection - Japanese (PDF 版)	5
SUNWpwnabj	Solaris 9 9/04 About What's New Collection - Japanese (PDF 版)	2
SUNWpjdoc	Sun ONE Message Queue 3.0.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese (PDF 版)	5
SUNWpjasdc	Sun ONE Application Server 7 Update 1 Collection (Solaris Edition) - Japanese (PDF 版) ¹	4
SUNWpjgndoc	GNOME 2.0 Desktop 4/04 Collection - Japanese (PDF 版)	5

注 1: 一部のみの翻訳となりますので、全情報を参照する場合は、対応する英語のコレクションをご覧ください。

注-*印のついていない PDF 版のパッケージはデフォルトではインストールされません。これらのパッケージをインストールする場合には次の手順を実行してください。

1. DOCUMENTATION 2 of 2 CD のインストーラを起動する。
2. 「インストール形式の選択」画面で、「カスタム」を選択する。
3. 「コンポーネントの選択」画面で、パッケージを選択し、インストールを実行する。

次の表は、英語 + ヨーロッパ言語版の DOCUMENTATION 1 of 2 CD にのみ含まれており、日本語に翻訳されていないマニュアルを含む英語のドキュメントパッケージです。

それらのマニュアルをインストールする場合には、次の手順を実行してください。

1. DOCUMENTATION 1 of 2 CD のインストーラを起動する。
2. 「インストール形式の選択」画面で、「カスタム」を選択する。
3. 「コンポーネントの選択」画面で、該当するパッケージを選択し、インストールを実行する。

パッケージはデフォルトで /opt にインストールされます。

表 1-4 Solaris 9/04 DOCUMENTATION 1 of 2 CD のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

パッケージ	コレクション名	必要な容量の概算値
[英語]		
SUNWaman	Solaris 9/04 Reference Manual Collection (HTML 版)	54
SUNWpaman	Solaris 9/04 Reference Manuall Collection (PDF 版)	29
SUNWakcs	KCMS Collection (HTML 版)	3
SUNWpakcs	KCMS Collection (PDF 版)	4
SUNWadoc	Sun ONE Application Server 7 Update 1 Collection (Solaris Edition) (HTML 版)	14
SUNWpadoc	Sun ONE Application Server 7 Update 1 Collection (Solaris Edition) (PDF 版)	20
SUNWaref	Sun ONE Application Server 7 Reference Manual Collection (HTML 版)	2
SUNWparef	Sun ONE Application Server 7 Reference Manual Collection (PDF 版)	1
SUNWgndoc	GNOME 2.0 Desktop 4/04 Collection (HTML 版)	4
SUNWpgndoc	GNOME 2.0 Desktop 4/04 Collection (PDF 版)	4

日本語環境の選択

Solaris 9/05 HW のインストール中に行うことができる、日本語環境の選択について説明します。日本語環境の選択では、「デフォルトロケール」と「インストールするロケール」の2つを選択します。インストール手順の詳細は、『Solaris 9/04 インストールガイド』を参照してください。

Solaris 9/05 HW は、次に示すように3種類の文字エンコーディングに対応した4つの日本語ロケールをサポートしています。

- EUC をサポートする ja および ja_JP.eucJP ロケール
- PCK (PC 漢字コード) をサポートする ja_JP.PCK ロケール (シフト JIS と同等)
- Unicode の UTF-8 をサポートする ja_JP.UTF-8 ロケール

デフォルトロケールの選択

インストール後のシステムのデフォルトロケールを選択します (具体的には、`/etc/default/init` ファイル内に LANG 環境変数が定義されます)。

日本語環境をインストールする場合に、システムのデフォルトロケールとして日本語ロケールを選択しなければならないわけではありませんが、日本語ロケールを選択するこ

とをお勧めします。システムのデフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていると、たとえば、システムログイン時の LANG の設定を、ユーザーごとに環境設定ファイルで定義しなくても済むようになります。また、dtlogin の言語設定で、デフォルトで日本語ロケールが設定されます。

■ Solaris Web Start 3.0 (CD) インストールの場合

最初にインストール画面の表示言語を選択するプロンプトが表示されるので、日本語環境でインストールするには、「Japanese」を選択してください。システムのデフォルトロケールは、「ja」に設定されます。

■ Solaris suninstall プログラムまたは Solaris Web Start 3.0 (DVD) インストールの場合

最初にインストール画面の表示言語を選択するプロンプトが表示されるので、日本語環境でインストールするには、「Japanese」を選択してください。次に、日本語ロケールとして「Japanese EUC (ja)」、「Japanese PC Kanji (ja_JP.PCK)」、「Japanese UTF-8 (ja_JP.UTF-8)」のいずれかを選択してください。ここで選択したロケールが、システムのデフォルトロケールとして設定されます。

Solaris Web Start 3.0 インストールでは、次の手順を実行することでデフォルトロケールを選択し直すことができます。

(例) ja_JP.PCK ロケールをデフォルトロケールにする場合

1. 「インストールの形式の選択」画面で、「カスタムインストール」を選択する。
2. 「ソフトウェアのロケール選択」画面で、ja_JP.PCK ロケールのチェックボックスを ON にする (ここでチェックされていないロケールは、次の選択画面で表示されません。)
3. 「システムのロケール選択」画面で、ja_JP.PCK ロケールを選択する。

注- いずれのインストール方法を選択した場合でも、ja_JP.eucJP ロケールをデフォルトロケールとして選択することはできません。

- システムのデフォルトロケールを、インストール後に設定または変更する場合には、/etc/default/init ファイルでの LANG 環境変数の設定を次のようにしてから、システムを再起動します。

ja ロケールに設定	LANG=ja
ja_JP.eucJP ロケールに設定	LANG=ja_JP.eucJP
ja_JP.PCK ロケールに設定	LANG=ja_JP.PCK
ja_JP.UTF-8 ロケールに設定	LANG=ja_JP.UTF-8
c ロケールに設定	LANG= の行を削除、または LANG=C

インストール前に、このデフォルトロケールをあらかじめ設定しておくことも可能です。この事前設定をしておくと、GUI インストール時にもロケール設定画面が表示され

ません。この設定は、カスタム JumpStart による自動インストールの場合など、意図的にロケール設定画面を表示させたくない場合に有効です。¹

インストールするロケールの選択

インストールしたいロケールを選択すると、ロケールに依存するソフトウェアパッケージがインストールされます。日本語環境をインストールするには、必ず日本語パッケージをインストールする必要があります。

注-インストールするロケールとして、日本語ロケールを1つだけ選択した場合でも、ほかの日本語ロケールのパッケージもインストールされます。たとえば、ja ロケールのみを選択した場合でも、ja_JP.eucJP、ja_JP.PCK、および ja_JP.UTF-8 ロケールのパッケージもインストールされます。ただし、日本語 BCP パッケージをインストールするには、ja ロケールを選択する必要があります。

■ Solaris suninstall プログラムの場合

「地域の選択」画面で、インストールするロケールを選択します。この画面では、あらかじめ選択したシステムのデフォルトロケールが自動的に選択された状態になっています。たとえば、システムのデフォルトロケールとして ja ロケールを選択した場合、この画面では ja ロケールのみが選択されますが、実際にはほかの日本語ロケールのパッケージもインストールされます。

■ Solaris Web Start 3.0 インストールの場合

「インストール形式の選択」画面にて、「デフォルトインストール」を選択した場合、システムのデフォルトロケールのみが自動的に選択され、ロケールを選択するための画面は表示されません。たとえば、システムのデフォルトロケールとして ja ロケールを選択した場合、ja、ja_JP.eucJP、ja_JP.PCK および ja_JP.UTF-8 ロケールのみがインストールされます。他の言語のロケールをインストールする場合は「カスタムインストール」を選択して、「ソフトウェアのロケール選択」画面で、追加したいロケールを選択してください。

■ カスタム JumpStart インストールの場合

カスタム JumpStart インストールが参照するプロファイルに locale キーワードを追加します。²

日本語ロケール環境をインストールする場合には、locale キーワードの値に ja、ja_JP.eucJP、ja_JP.PCK または ja_JP.UTF-8 のいずれかを指定します。

なお、プロファイル中で locale キーワードを明示的に定義しない場合でも、デフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていれば、ほかの日本語ロケール環境もインストールされます。

1 デフォルトロケールの事前設定を行う方法には、「ネームサービスに事前に定義しておく方法」と「sysidcfg ファイルを使用する方法」の2通りがあります。詳細は、『Solaris 9 9/04 インストールガイド』を参照してください。

2 locale キーワードは、日本語パッケージのインストールに影響しますが、システムのデフォルトロケールを決定するものではありません。

Solaris 9/05 HW ソフトウェアをインストールする前に知っておく必要がある注意事項

Solaris 9/05 HW ソフトウェアをインストールする前に知っておく必要がある注意事項について説明します。

注 - Solaris 9/05 HW リリースは、x86 プラットフォームには対応していません。本書は、Solaris 9/05 ソフトウェアを使用している x86 プラットフォームに適用される情報を含んでいます。

特定の SPARC プラットフォームに必須の Solaris 9/05 HW ソフトウェア

特定の SPARC プラットフォームには Solaris 9/05 HW ソフトウェアが必須です。この種のプラットフォームでは、Solaris 9/05 ソフトウェアは使用できません。ある SPARC システムが Solaris 9/05 HW を使用する必要があるかどうかを判断するには、『Solaris 9/05 Sun ハードウェアマニュアル(補足)』およびハードウェア互換リストを参照してください。

Solaris 9/05 リリースによってサポートされていた SPARC プラットフォームにも、Solaris 9/05 HW ソフトウェアをインストールできます。

Sun StorEdge SAN Foundation Software とマニュアル

Sun StorEdge(TM) SAN Foundation software (SFS) は、ホストがストレージエリアネットワーク (SAN) 上のデータを接続・監視・転送可能にするカーネルドライバや、ユーティリティを含んでいます。Sun StorEdge SAN 4.4 リリース、更新されたファームウェア、およびマニュアルは、Sun Download Center から入手できます。 <http://www.sun.com/storage/san/> にある Download Center の SAN 製品のページにアクセスしてください。

x86: 特定の ATA ハードディスクドライブを搭載したシステムが、Solaris 9 ソフトウェアのインストール後にリブートするとハングアップする

特定の ATA ハードディスクドライブを搭載したシステムに Solaris 9 ソフトウェアをインストールした場合、システムがハングアップします。インストールが完了した後でソフトリブートをしようとする、システムがハングアップします。

この問題は、システムが搭載する ATA ディスクドライブが、T13 の ATA/ATAPI-6 仕様のデフォルト状態に戻す機能を、Ultra DMA モードに関して実装している場合に発生します。

このようなディスクドライブは、ソフトウェアのリセット後、この動作を無効にしないかぎり、Ultra DMA モードから Multiword DMA モードに戻ります。この動作を無効にするには、SET FEATURES / Disable reverting to power-on to defaults コマンドを使用します。

この問題は、システム内の BIOS および ATA ハードディスクドライブの種類によって、次のいずれかの状態で発生する可能性があります。

- BIOS で Ultra DMA モードが有効で、ATA ハードディスクドライブが Ultra DMA モードで動作する場合、インストール後にシステムをソフトリブートしようとする、BIOS 内でシステムがハングアップする可能性があります。エラーメッセージは表示されません。
- BIOS で Ultra DMA モードが無効で、ATA ハードディスクドライブが Ultra DMA モードで動作する場合、インストール後にシステムをソフトリブートしようすると、システムがハングアップする可能性があります。次のような警告メッセージが表示されます。

```
WARNING: /pci@0,0/pci-ide@1f,1/ide@0 (ata0):  
         timeout: abort request, target=0 lun=0  
WARNING: /pci@0,0/pci-ide@1f,1/ide@0 (ata0):  
         timeout: abort device, target=0 lun=0  
WARNING: /pci@0,0/pci-ide@1f,1/ide@0 (ata0):  
         timeout: reset target, target=0 lun=0  
WARNING: /pci@0,0/pci-ide@1f,1/ide@0 (ata0):  
         timeout: reset bus, target=0 lun=0
```

回避方法: この問題を解決するには、次の手順を実行してください。

1. ブート時にシステムがハングアップする場合は、電源を切った後で再度電源を入れ、システムの電源を再投入します。システムは正常にブートします。
2. システムがブートした後で、システムにログインし、スーパーユーザーになります。
3. テキストエディタを使用して、/platform/i86pc/kernel/drv/ata.conf ファイルを編集します。

次の行を追加します。

```
ata-revert-to-defaults=0;
```

ハングアップすることなく、システムがリブートします。

x86: Solaris 9 9/05 HW INSTALLATION CD のパーティションに関する問題

Solaris 9 9/05 HW INSTALLATION CD の Solaris Web Start 3.0 プログラムがシステムで Solaris の fdisk パーティションを検出できない場合は、root ディスクに fdisk パーティションを作成する必要があります。



注意 - 現行の fdisk パーティションサイズを変更すると、パーティション内のデータはすべて自動的に削除されます。Solaris の fdisk パーティションを作成する前に、データをバックアップしてください。

Solaris Web Start 3.0 プログラムでインストールを実行するためには、次の 2 つの fdisk パーティションが必要になります。

- Solaris の fdisk パーティション
標準的な Solaris の fdisk パーティションです。
- x86 ブート fdisk パーティション
10M バイトの fdisk パーティションです。x86 ベースのシステムで新しく作成されたスワップスライスからミニルートを起動できるようにします。そのスワップスライスは Solaris の fdisk パーティション上に置かれます。

注 - Solaris 9 9/05 HW INSTALLATION CD に同梱されているインストールプログラムは、x86 ブートパーティションを作成し、Solaris の fdisk パーティションを 10M バイトだけ削除します。この削除により、既存の fdisk パーティションが変更されることはありません。

このパーティションは手動で作成しないでください。

したがって、Solaris 9 9/05 HW インストール CD を使用して、Solaris 2.6 または 7 リリースから Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアにアップグレードすることはできません。詳細については、44 ページの「アップグレードに関する注意事項」を参照してください。

x86: 起動ディスクのデフォルトパーティションレイアウトの変更

Solaris 9 9/05 HW リリースでは、起動ディスクに対するデフォルトのパーティションレイアウト方式が変更されました。Solaris Web Start および suninstall プログラムを使用して Sun LX50 システムをインストールする際にこの新しい方式を使用すると、既存の Service パーティションが保持されます。

新しいデフォルトの設定には次のパーティションが含まれています。

- 第 1 パーティション - Service パーティション (既存の Service パーティション)

- 第2パーティション-x86 ブートパーティション (約 11M バイト)
- 第3パーティション-Solaris パーティション (起動ディスクの残りの容量)

デフォルトのレイアウトを使用するには、Solaris Web Start または suninstall プログラムから起動ディスクのレイアウト選択を要求されたときに「デフォルト」を選択します。

注-Service パーティションが作成されていないシステムに Solaris 9/05 HW ソフトウェア (x86 版) をインストールすると、Solaris Web Start および suninstall プログラムはデフォルトでは新しい Service パーティションを作成しません。システムに Service パーティションを作成するには、30 ページの「x86: Service パーティションがないシステムでは、デフォルトで Service パーティションが作成されない」を参照してください。

また、fdisk コマンドユーティリティを使用して、手動でディスクパーティションレイアウトを作成することもできます。次の場合、起動ディスクのパーティションを手動で編集します。

- 既存の Sun Linux パーティションを保持する場合
- Solaris パーティションを作成する必要があるが、既存のパーティションをディスクに残す場合

注-システム上にアップグレード対象の Solaris ソフトウェアがすでにインストールされているが x86 ブートパーティションがない場合、Solaris INSTALLATION CD によるアップグレードは実行できません。x86 ブートパーティションが作成されていないシステムを Solaris 9/05 HW リリースにアップグレードするには、Solaris 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD に同梱されている suninstall プログラムを使用してください。

SPARC: デフォルトの Solaris JumpStart プロファイルは小容量ディスクに複数のロケールをインストールしない可能性がある

Solaris 9/05 HW メディアのデフォルトの Solaris JumpStart™ プロファイルを使用して、ディスク容量の小さいシステムに複数のロケールをインストールすると、インストールが失敗することがあります。この問題は、次の状況で発生する可能性があります。

- デフォルトの Solaris JumpStart プロファイルを使用して、2.1 G バイトディスクのシステムに C ロケール以外のロケールをインストールする
- デフォルトの Solaris JumpStart プロファイルを使用して、4 G バイトディスクのシステムに 2 つ以上のロケールをインストールする

x86: Service パーティションがないシステムでは、デフォルトで Service パーティションが作成されない

Service パーティションが存在しないシステムに Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアをインストールすると、インストールプログラムはデフォルトでは Service パーティションを作成しません。Service パーティションを Solaris パーティションと同じディスクに作成するには、Service パーティションを作成しなおしてから、ソフトウェアをインストールする必要があります。

Solaris 8 2/02 ソフトウェアを Sun LX50 システムにインストールする場合、インストールプログラムが Service パーティションを保存しない可能性があります。fdisk ブートパーティションのレイアウトを手動で編集して Service パーティションを保存しないと、インストールプログラムはインストール時に Service パーティションを削除します。

注 - Solaris 8 2/02 ソフトウェアをインストールしたときに Service パーティションを明示的に保存しないと、Service パーティションを作成しなおして、Solaris 9 9/05 HW リリースにアップグレードできません。その場合、ソフトウェアを最初からインストールしなおす必要があります。

回避方法: Solaris パーティションを含むディスク上に Service パーティションがある場合は、次のいずれかを実行してください。

- Solaris Web Start インストールプログラムを使用し、Solaris 9 9/05 HW INSTALLATION CD からインストールするには、次の手順を実行します。

1. ディスクの内容を削除します。
2. インストールを開始する前に、Sun LX50 Diagnostics CD を使用して Service パーティションを作成します。

Service パーティション作成の詳細については、<http://cobalt-knowledge.sun.com> で『Sun LX50 Server User's Manual (英語版)』および Sun LX50 Knowledge Base (英語版) を参照してください。

3. Solaris 9 9/05 HW INSTALLATION CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
4. Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアのインストールを開始します。

インストールプログラムが Service パーティションを検出すると、次のメッセージが表示されます。

デフォルトでは、ブートディスクの空いている領域に、x86 Boot パーティションと Solaris パーティションが配置されます。サービス fdisk パーティションが存在する場合は、デフォルトで保持されます。

継続するには次のいずれかを選択してください:

- 1) デフォルトのディスク配置を使用する

- 2) fdisk を実行し、ディスクを手動で編集する
- 3) 終了する

選択してください: []

5. 1 を入力して、デフォルトレイアウトを選択します。

インストールプログラムにより Service パーティションが保存された後、x86 ブートパーティションと Solaris パーティションが作成されます。

注 - Solaris Web Start インストールプログラムは、Solaris の fdisk パーティションを 10M バイトだけ削除して x86 ブートパーティションを作成します。このユーティリティは、既存の fdisk パーティションが変更されないようにします。このパーティションを手動で作成しないでください。

6. インストールを完了します。

- ネットワーク上のインストールイメージを使用するか、Solaris 9/05 HW DVD を使用してネットワーク上でインストールするには、次の手順を実行します

1. ディスクの内容を削除します。
2. インストールを開始する前に、Sun LX50 Diagnostics CD を使用して Service パーティションを作成します。

Service パーティション作成の詳細については、<http://cobalt-knowledge.sun.com> で『Sun LX50 Server User's Manual (英語版)』および Sun LX50 Knowledge Base (英語版) を参照してください。

3. ネットワーク上でシステムを起動します。
「fdisk パーティションのカスタマイズ」画面が表示されます。
4. 「デフォルト」をクリックし、デフォルトのブートディスクパーティションレイアウトを読み込みます。

インストールプログラムにより Service パーティションが保存された後、x86 ブートパーティションと Solaris パーティションが作成されます。

ネットワーク上でシステムをブートする詳細については、『Solaris 9/04 インストールガイド』を参照してください。

- suninstall プログラムを使用し、Solaris 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD またはブートサーバー上のネットワークインストールイメージでインストールするには、次の手順を実行します。

1. ディスクの内容を削除します。
2. インストールを開始する前に、Sun LX50 Diagnostics CD を使用して Service パーティションを作成します。

Service パーティション作成の詳細については、<http://cobalt-knowledge.sun.com> で『Sun LX50 Server User's Manual (英語版)』および Sun LX50 Knowledge Base (英語版) を参照してください。

3. システムを起動します。

インストールプログラムで、Solaris パーティションの作成方法の選択を促すプロンプトが表示されます。

4. 「残りのディスクを使用して Solaris パーティションを配置します」を選択します。

インストールプログラムにより Service パーティションが保存された後、Solaris パーティションが作成されます。

5. インストールを完了します。

ネットワーク上でシステムをブートする詳細については、『Solaris 9/04 インストールガイド』を参照してください。

x86: Solaris Device Configuration Assistant (デバイス構成用補助) ブート用フロッピーディスクが使用できない

Solaris 9/05 HW リリースでは、Solaris 9 Device Configuration Assistant (デバイス構成用補助) はブート用フロッピーディスクとして配布されていません。Device Configuration Assistant (デバイス構成用補助) をブートするには、次のいずれかの方法を選択してください。

- システムの BIOS が CD からのブートをサポートしている場合は、Solaris 9/05 HW INSTALLATION CD (x86 版)、Solaris 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD (x86 版)、または Solaris 9/05 HW SOFTWARE DVD (x86 版) からブートします。
- システムが CD からのブートをサポートしていない場合は、ブート用ディスクのイメージをフロッピーディスクにコピーできます。ブート用ディスクのイメージは、Solaris 9/05 HW SOFTWARE 2 of 2 CD (x86 版) にあります。
- システムが PXE (Preboot Execution Environment) によるブートをサポートしており、インストールイメージがネットワーク上で使用できる場合は、ネットワークからブートします。

システムの BIOS 設定ツールまたはネットワークアダプタの設定ツールを使用して、PXE の使用を有効にします。

詳細は、『Solaris 9/04 インストールガイド』を参照してください。

x86: BIOS バージョン GG.06.13 の Hewlett-Packard (HP) Vectra XU シリーズのシステムをアップグレードできない

Solaris 9/05 HW ソフトウェアには、サイズが大きいパーティションをインストールできる新しい機能が含まれています。システム BIOS は Logical Block Addressing (LBA) をサポー

トしている必要がありますが、BIOS バージョン GG.06.13 は LBA アクセスをサポートしていません。このような衝突を Solaris ブートプログラムは処理できません。このことは他の HP Vectra システムにも影響します。

このシステムをアップグレードすると、HP システムはブートしなくなります。暗い画面の上に点滅する下線が表示されるだけです。

回避方法:最新の BIOS バージョン GG.06.13 の HP Vectra XU シリーズシステムを Solaris 9 9/05 HW リリースにアップグレードしないでください。Solaris 9 9/05 HW リリースでは、これらのシステムはサポートされていません。

ブートフロッピーディスクまたはブート CD を使用すれば、ブートにハードディスクコードを使用しないので、システムをブートすることができます。ブート可能デバイスとして、ネットワークまたは CD-ROM ドライブではなくハードディスクを選択してください。

Solaris 9 9/05 HWソフトウェアをインストールする前に知っておく必要があるバグ

Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアをインストールする前に知っておく必要があるバグについて説明します。

パスワードに特殊文字が含まれる場合、ftp での DVD GUI 対話式フラッシュ取得が動作しない (6452743)

このフラッシュ取得が失敗するのは、DVD GUI 対話式フラッシュインストールで、パスワードに特殊文字「@」(アットマーク)および「'」(単一引用符)が含まれる場合だけです。その他の特殊文字では、この問題は発生しません。

回避方法:特殊文字「@」または「'」を含まないパスワードを新しく作成してください。

Sun Fire V240 と V440 サーバー、および Sun Blade 2000 ワークステーションで SVM のミラー化を行うと、Solaris 9 9/05 ではパニックが発生し、Solaris 9 9/05 HW ではハングアップする (6456542)

SVM のミラー作成が失敗するか、またはインストールの途中でインストーラがハングアップすることもあります。インストールが成功した場合は、リポート後にパニックが発生します。次のエラーメッセージが表示されます。

Creation of SVM Metadb -- Hangs

— または —

Panic after reboot

回避方法: インストールの完了後に、SVM ボリュームを作成してください。

SPARC: Sun Fire V1280 サーバー上で Sun Net Connect 3.1 Service のインストールが失敗する (6284815)

ExtraValue ディレクトリからの SunSM Net Connect 3.1 のインストールが、Sun FireTM V1280 サーバー上で失敗します。Sun Net Connect インストールプログラムは、Sun Fire V1280 サーバーの機能を現場変換可能ユニット (FRU) として誤って認識します。この結果、インストールは失敗し、全てのインストール済みの Sun Net Connect パッケージは削除されます。次のエラーメッセージが、インストールログに記録されます。

Error: pkgadd failed for SUNWfrunc

回避方法: <https://srsnetconnect3.sun.com> から、最新の SRS Net Connect Service をダウンロードしてください。

x86: Adaptec Ultra-160 SCSI インタフェースを持つシステムで PXE ネットワークインストールがハングアップする (5039573)

Intel の Preboot Execution Environment (PXE) を使用して、Adaptec Ultra-160 SCSI インタフェースを持つシステムにネットワークインストールを実行した場合、インストールがハングアップします。次のようなエラーメッセージが表示されます。

Error: Unable to Find Device Driver
The device driver, cadp160.bef, is missing.

この例では、cadp160.bef ドライバがシステムに見つからないことを示しています。影響を受けるドライバの名前はシステムによって異なります。

このエラーは、システムの BIOS において、Adaptec Ultra-160 インタフェースがシステムのネットワークインタフェースカード (NIC) と同じ割り込み要求 (IRQ) を使用するように設定している場合に発生します。

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- ネットワーク経由でインストールする場合は、Adaptec Ultra-160 SCSI インタフェースを取り外してから、PXE でネットワークインストールを実行します。

- Solaris 9 9/04 の DVD-ROM または CD-ROM ディスクからインストールします。

x86: Sun LX50 サーバーにおいて X サーバーがマウスデバイスを開くことができない (5027771)

Sun LX50 システムにおいて、X サーバーが PS/2 マウスデバイスを開くことができない場合があります。このエラーは、インストール時、あるいは、システムのリブート時に発生します。この問題が発生すると、次のエラーメッセージが表示されます。

```
ddxSUNWmouse: Error opening mouse device '/dev/kdmouse';
/dev/kdmouse: No such device or address
```

結果として、Solaris インストールプログラムはコマンド行インタフェースでしか動作できません。この問題は、インストール後、Solaris 実行時にも残ることがあります。

回避方法: サーバーの PS/2 コネクタに接続されている Y ケーブル上で、PS/2 キーボードとマウス間の接続を切り替えてください。

その後、システムをリブートしても PS/2 マウスが認識されない場合は、LX50 サーバーの Reset ボタンを押してください。あるいは、次のブートプロンプトが表示されたときに、再構成オプション (b -r) を使用してください。

```
Select (b)oot or (i)nterpreter:
```

SPARC: re-preinstall コマンドでカスタム JumpStart ソフトウェアをインストールすると失敗する (5017239)

re-preinstall コマンドでカスタム JumpStart ソフトウェアをインストールすると失敗します。この失敗は、読み取り専用のアクセス権を持つファイルシステムの UFS ログを fsck コマンドが更新できないために発生します。

たとえば、次のコマンドを入力します。

```
# /usr/sbin/install.d/re-preinstall cXtXdXsX
```

システムがリブートした後、次のエラーメッセージが表示されます。

```
fsck of device failed, re-preinstall needs to be re-run.
syncing file systems... done
Program terminated
```

回避方法: 次のいずれかを実行してください。どちらの方法を実行する場合も、スーパーユーザーである必要があります。

- オプション 1: 書き込み可能なネットワークインストールイメージを使用している場合は、次の手順に進んでください。

1. インストールイメージが格納されているサーバー上で、
/usr/sbin/install.d/rcS.stub ファイルを編集して、次の行を削除またはコメントアウトします。

```
# # Make sure the root FS is clean
# # /etc/fscck -F ufs -o p ${RootfsRaw} >/dev/null
# if [ $? -ne 0 ]; then
#   echo "fscck of ${RootfsRaw} failed, re-preinstall needs to be re-run."
#   /usr/sbin/halt
# if
```

2. JumpStart ソフトウェアをインストールしているシステム上で、ネットワークインストールイメージをシングルユーザーモードでブートします。

```
ok boot net -s
```

3. re-preinstall コマンドを通常どおりに実行します。

```
# /usr/sbin/install.d/re-preinstall cXtXdXsX
```

- オプション 2: CD-ROM または DVD-ROM ディスクから直接ブートしている場合は、次の手順に進んでください。

1. CD-ROM または DVD-ROM ディスクからブートします。
2. インストーラを終了します。
3. re-preinstall コマンドを実行します。
4. 手順 3 で作成したデバイスをマウントします。

たとえば、手順 3 で「re-preinstall c0t0d0s0」というコマンドを入力した場合、このファイルシステムを次のようにマウントします。

```
# mount /dev/dsk/c0t0d0s0 /mnt
```

5. マウントしたファイルシステム上で、sbin/rcS スクリプトを編集して、オプション 1 の手順 1 と同じ行を削除またはコメントアウトします。
6. ファイルシステムをアンマウントします。

```
# umount /mnt
```

7. システムをリブートして、JumpStart ソフトウェアのインストールを継続します。

Solaris 2.6 および Solaris 7 ソフトウェアを実行している場合は、Solaris 9 9/05 HW DVD 上のデータにアクセスできない (4511090)

Solaris 2.6 ソフトウェアまたは Solaris 7 ソフトウェアを実行しているシステムでは、Solaris 9 9/05 HW DVD がボリューム管理によって正しくマウントされません。そのため、インストールサーバーを設定したり、Live Upgrade を実行したり、メディア上のデータにアクセスしたりできません。

回避方法: 次のどちらかを実行してください。

- システムに対応したパッチを適用する。

リリース	パッチ ID
Solaris 2.6 (SPARC 版)	107618-03
Solaris 7 (SPARC 版)	107259-03
Solaris 2.6 (x86 版)	107619-03
Solaris 7 (x86 版)	107260-03

- Solaris 9 9/05 HW DVD をマウントする。

ただし、ボリューム管理を使用しないでください。次の手順に従って、手動で DVD をマウントします。

1. スーパーユーザーになります。
2. ボリューム管理を停止します。

```
# /etc/init.d/volmgt stop
```

3. 手動で DVD をマウントします。

```
# mkdir /mnt1
# mount -F hsfs -o ro /dev/dsk/c0t6d0s0 /mnt1
```

4. DVD がマウントされていて、DVD 上のデータにアクセスできることを確認します。

```
# cd /mnt1
# ls
```

DVD が正しくマウントされている場合は、システムから次の情報が返されます。

```
Copyright Solaris_9
```

Solaris Web Start 3.0 に関する注意事項とバグ情報

Solaris Web Start 3.0 を使用したインストールに関する情報と問題について説明します。この節に記載されている問題は、Solaris suninstall プログラムを使用するときには発生しません。

Solaris Web Start 3.0 を使用して英語の Solaris 9 9/04 ドキュメントをインストールする方法

Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION 1 of 2 CD (英語版 + ヨーロッパ言語版) には、英語のドキュメントがすべて含まれています。アジア版の DOCUMENTATION 2 of 2 CD には、一部のアジア言語にだけ翻訳されている、またはまったく翻訳されていない、以下の英語ドキュメントが含まれています。

Solaris 9 9/04 Software Developer Collection

Solaris 9 9/04 System Administrator Collection

iPlanet Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition)

DOCUMENTATION 2 of 2 CD に付属のインストーラでは、これらのドキュメントの HTML 版が、デフォルトでインストールされます。すべての英語ドキュメントをインストールする場合は、DOCUMENTATION 1 of 2 CD からインストールする必要があります。

Solaris 9 9/05 HW INSTALLATION CD から Solaris Web Start 3.0 を使用して Solaris ソフトウェアをインストールする場合、上記の英語版 HTML ドキュメントは DOCUMENTATION 2 of 2 CD からデフォルトでインストールされます。すべての英語ドキュメントをインストールする場合は、Solaris Web Start 3.0 の「製品の選択」画面で「Solaris 9 Documentation European」を選択して、DOCUMENTATION 1 of 2 CD からドキュメントをインストールしてください

インストール全般に関する注意事項とバグ情報

Solaris 9 9/05 HW のインストール全般に関する注意事項とバグ情報を説明します。

フラッシュインストールの実行後に **SUNWcsr** や **SUNWnlsr** で pkgchk エラーが発生する (4692667)

Solaris 9 9/05 HW のフラッシュアーカイブインストールの実行後に、SUNWcsr、SUNWkrbr、および SUNWnlsr パッケージで pkgchk エラーが発生します。

SUNWcsr パッケージの場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

```

ERROR: /etc/default/init
      group name <sys> expected <root> actual
ERROR: /etc/dgroup.tab
      group name <sys> expected <root> actual
ERROR: /etc/format.dat
      group name <sys> expected <root> actual
ERROR: /etc/inet/hosts
      group name <sys> expected <root> actual
ERROR: /etc/inet/netmasks
      group name <sys> expected <root> actual
ERROR: /etc/net/ticlts/hosts
      group name <sys> expected <root> actual
ERROR: /etc/net/ticots/hosts
      group name <sys> expected <root> actual
ERROR: /etc/net/ticotsord/hosts
      group name <sys> expected <root> actual
ERROR: /etc/nsswitch.conf
      group name <sys> expected <root> actual
ERROR: /etc/vfstab
      group name <sys> expected <root> actual

```

SUNWkrbr パッケージの場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

```

ERROR: /etc/krb5/krb5.conf
      pathname does not exist

```

SUNWnizr パッケージの場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

```

ERROR: /var/yp/aliases

```

回避方法: この問題は、フラッシュアーカイブのインストール時にのみ発生するため、代わりに初期インストールを実行してください。

SPARC: JumpStart インストール時に **diag-switch?** =true である場合、インストーラによりユーザー に通知が行われる (6463765)

PROM の `diag-switch` が `true` に設定されていると、インストール中に起動デバイスが変更されていない場合でも、JumpStart インストーラはデフォルトの起動デバイスの変更を求める警告を出します。次のエラーメッセージが表示されます。

```

WARNING: CHANGE DEFAULT BOOT DEVICE
If you want the system to always reboot Solaris from the boot
device that you've specified (c1t0d0s0), you must change the
system's default boot device using the eeprom(1M) command after
installing Solaris software.

```

回避方法: `diag-switch` を `false` に設定してください。

SPARC: Solaris 9 9/05 HW Web Start インストールプログラムは、特定の場​​合のパネルを適切に表示しないことがある (5002175)

Solaris Web Start インストールプログラムを使用して Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアをインストールすると、いくつかの情報および Sun Remote Services (SRS) Net Connect ソフトウェアの終了パネルが適切に表示されないことがあります。

インストールパネルのフレームおよび「取消し」ボタンは表示されますが、インストールパネルの内容が表示されません。

注 - この問題は、Solaris オペレーションシステムリリースに含まれているほかのソフトウェア製品を Solaris Web Start でインストールしている場合にも発生することがあります。

回避方法: 次の手順に従ってください。

1. 空のインストールパネルが表示されたら、「取消し」ボタンをクリックして、SRS Net Connect インストールを省略します。
2. Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアのインストールが完了したあとで、SRS Net Connect ソフトウェアを Solaris DVD または SOFTWARE 2 of 2 CD から手動でインストールします。

最初に Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアインストールを完了したあとで SRS Net Connect ソフトウェアをインストールすると、すべてのパネルが正しく表示されます。

SPARC: インストールまたはアップグレード後、複数のインタフェースを持つシステムがすべてのインタフェースを使用可能と認識する (4640568)

複数のネットワークインタフェースを持つシステムに Solaris 9 9/05 HW リリースをインストールまたはアップグレードした場合、システムはすべてのシステムインタフェースが使用可能であると認識します。つまり、ネットワークに接続されていない、あるいは使用する予定のないインタフェースが `ifconfig -a` コマンドの出力に表示されます。さらに、同じイーサネットアドレスを持つインタフェースに同じ IP アドレスが割り当てられることがあります。その場合、次のエラーメッセージが表示されます。

```
ifconfig: setifflags: SIOCSLIFFLAGS: qfe3: Cannot assign requested address
```

この問題は、`local-mac-address` PROM 変数が `false` に設定されているシステム上でも発生します。この問題が発生するのは、すべてのインタフェースが同じ IP アドレスで構成されるためです。

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- 構成されたインタフェースだけを使用するには、初期ブート後にシステムをリブートする。
- 各ネットワークインタフェースに異なる IP アドレスを割り当てるには、次のいずれかの方法で `local-mac-address` PROM 変数を `true` に設定する。

- `ok` プロンプトで、次のコマンドを入力する。

```
ok setenv local-mac-address? true
```

- スーパーユーザーとして、次のコマンドを端末ウィンドウに入力する。

```
# eeprom local-mac-address?=true
```

スワップ不足によって **Solaris Web Start 2.x** インストールが失敗する (4166394)

同梱されている CD を、その CD に含まれている Solaris Web Start 2.x (installer) を使用して日本語ロケール(日本語表示)でインストールしているときに、スワップ容量の不足のためインストールが失敗することがあります。この場合、コンソールにエラーメッセージが表示されますが、エラーメッセージは次のように文字化けしています。

```
RunCmd Error:java.io.IOException: ??????????????????????
```

回避方法: 同梱されている CD に含まれている Solaris Web Start 2.x は、実行時におよそ 50M バイトのメモリーを消費します。Solaris Web Start 2.x を使用してインストールする場合は、`swap -s` コマンドなどで空きスワップ容量を確認し、不足している場合は、メモリーの消費量が多いアプリケーションを終了するか、スワップファイルを作成してスワップ領域を追加してください。詳細は、`swap(1M)` のマニュアルページを参照してください。

[日本語環境のみ] デフォルトロケールに関係なくインストールログが **EUC** テキストファイルで生成される

選択したデフォルトロケールに関係なく、`install_log`、`upgrade_log` などの Solaris のインストールログファイルは、EUC(ja ロケール)テキストとして生成されます。

回避方法: コードコンバータで変換して参照するか、テキストエディタなどの GUI ツールを ja ロケールで起動して参照してください。

[日本語環境のみ] 日本語キーボード入力

日本語タイプ5キーボードはOpenBoot PROMのバージョンによっては、モニターレベルでタイプ4キーボードとして動作します。そのため、モニターレベルでは、キーボード上の印字と実際の入力が一部異なります。次の表を参照してください。その他の注意事項は、U.S.タイプ5キーボードと同じです。『Sunタイプ5キーボードプロダクトノート』を参照してください。

表 1-5 日本語キーボード上の印字と実際の入力文字

日本語タイプ5キーボード上の印字	実際の入力文字
“	@
&	^
,	&
(*
)	(
Shift-0)
=	-
~	+
^	=
¥	\
@	[
‘	{
[]
{	}
+	:
:	,
*	“
]	‘
}	~
-	LF
\	LF

Solaris 9 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD からのインストールに関する注意事項とバグ情報

Solaris 9 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD からインストールする場合の注意事項と問題について説明します。

ファイルシステムの作成時に警告メッセージが出力されることがある (4189127)

インストール中、ファイルシステムの作成時に、次のどちらかの警告メッセージが出力される可能性があります。

```
Warning: inode blocks/cyl group (87) >= data blocks (63) in last cylinder group. This implies 1008 sector(s) cannot be allocated.
```

または

```
Warning: 1 sector(s) in last cylinder unallocated
```

この警告メッセージは、作成中のファイルシステムのサイズと使用しているディスク上の容量が等しくない場合に表示されます。この場合、ディスク上に、作成中のファイルシステムには取り込まれない未使用の領域ができます。この未使用のディスク領域は、他のファイルシステムに割り当ててはできません。

回避方法: 警告メッセージは無視してください。警告メッセージが表示されても問題は発生しません。

[日本語環境のみ] CD からのインストールで「コアシステムサポート」をインストールする場合の注意事項

CD からのインストールにおいて、ソフトウェアグループとして「コアシステムサポート」を選択した場合、インストールするロケールとして日本語ロケールを選択しても、LANGUAGES CD に含まれる日本語パッケージはインストールされません。これは、SOFTWARE 1 of 2 CD のインストールが完了し、システムがリブートした後、コアシステムの環境で LANGUAGES CD のインストールを起動できないためです。

回避方法: インストール終了後、次のように `pkgadd(1M)` コマンドを使用して LANGUAGES CD に含まれる必要な日本語パッケージをインストールしてください。

```
# cd /cdrom/sol_9_904_lang_sparc/components/Japanese/sparc/Packages
# pkgadd -d . SUNWjfpref SUNWjfpue SUNWjos SUNWjws2
```

LANGUAGES CD のイメージを含むインストールサーバーを使用して Solaris suninstall プログラムによるインストールを行う場合や、Solaris Web Start 3.0 でインストールする場合は、この問題は起こりません。

アップグレードに関する注意事項

Solaris 9/05 HW リリースにアップグレードする場合の注意事項について説明します。

Solaris Live Upgrade を実行するには、追加パッチが必要

Solaris Live Upgrade を正しく操作するためには、使用する OS バージョンに特定のパッチリビジョンのセットをインストールする必要があります。

Live Upgrade をインストールする、または実行する前に、特定のパッチリビジョンのセットをインストールする必要があります。<http://sunsolve.sun.com> を参照して、最新のパッチリストを使用しているかどうか確認してください。さらに詳しい情報は、SunSolve の Web サイトで、info Doc 72099 を参照してください。

Solaris Live Upgrade パッケージをインストールするときの制限

Solaris 2.6、Solaris 7、または Solaris 8 リリースを実行している場合、Solaris Live Upgrade インストールプログラムを実行できない可能性があります。これらのリリースには、Java™ 2 実行環境を実行するのに必要なパッチセットが含まれていません。

これにより発生する失敗で一番多いのは、Java の例外エラーです。次のメッセージが表示される場合があります。

```
InvocationTargetException in ArchiveReader constructornull
  java.lang.reflect.InvocationTargetException
    at install.instantiateArchiveReader(Compiled Code)
    at install.<init>(Compiled Code)
    at install.main(Compiled Code)
```

Solaris Live Upgrade インストールプログラムを実行してパッケージをインストールするためには、Java 2 実行環境の推奨パッチクラスタが必要です。

回避方法: 次の回避方法を完了してください。

- pkgadd コマンドを使用して、Solaris Live Upgrade パッケージをインストールします。詳細な手順については、『Solaris 9/04 インストールガイド』の第 35 章「Solaris Live Upgrade によるブート環境の作成 (作業)」の「Solaris Live Upgrade によるブート環境の作成」を参照してください。

- Java 2 実行環境の推奨パッチクラスタをインストールします。パッチクラスタは、<http://sunsolve.sun.com> で入手できます。その後、Solaris Live Upgrade インストールプログラムを使用してパッケージをインストールできます。

Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアに、SUNWsan がインストールされていると Storage Area Network (SAN) にアクセスできない

使用している Solaris 8 システムが、Storage Area Network (SAN) に接続されている場合、Solaris 9 9/05 HW リリースにアップグレードする前にサポートエンジニアに確認してください。SUNWsan がインストールされている Solaris 8 システムを、Solaris 9 9/05 HW リリースにアップグレードするには特別な手順が必要なことがあります。システムに SUNWsan パッケージがインストールされているかどうかを確認するには、端末ウィンドウで次のコマンドを入力します。

```
# pkginfo SUNWsan
```

SUNWsan パッケージがインストールされていると、次の情報が表示されます。

```
system      SUNWsan      SAN Foundation Kit
```

Solaris suninstall プログラムによるアップグレードでのロケール選択

Solaris 8 から、インストールするロケールを選択する機構が変更されました。このため、Solaris suninstall プログラムを使用して Solaris 8 より前のシステムを Solaris 9 9/05 HW へアップグレードすると、既存システムのインストール時に明示的にインストールしなかったロケールが「地域の選択」画面で自動的に選択されます。これは、既存システムのインストール時に明示的に指定していないロケールのソフトウェアが、暗黙のうちにインストールされていたためです。

既存システムのインストール時にインストールするロケールとして明示的に指定しなかったロケールが含まれている地域を、「地域の選択」画面で選択解除することができます。余分なロケールをそのまま選択解除せずにアップグレードを行っても問題はありません。アップグレードしたシステムには、アップグレード前と同じレベルのロケール環境がサポートされます。ただし、既存のシステムに明示的にインストールしたロケールは、「地域の選択」画面で削除することはできません。

x86: Solaris 9 9/05 HW INSTALLATION CD (x86 版) を使用して Solaris 2.6 ソフトウェアまたは Solaris 7 ソフトウェアを実行する x86 システムをアップグレードできない

Solaris 9 9/05 HW INSTALLATION CD (x86 版) を使用して、Solaris 2.6 ソフトウェアまたは Solaris 7 ソフトウェアを実行する x86 システムを Solaris 9 9/05 HW リリースへアップグレードすることはできません。アップグレードができないのは、x86 ブートパーティションに関する制限事項のためです。

回避方法:x86 システムでは、Solaris 9 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD (x86 版) を使用して、Solaris 2.6 または Solaris 7 ソフトウェアから Solaris 9 9/05 HW リリースへのアップグレードを行なってください。

旧バージョンの Solaris Management Console ソフトウェアは Solaris 管理コンソール (Management Console) 2.1 ソフトウェアと互換性がない

Solaris 管理コンソール (Management Console) 2.1 ソフトウェアは、旧バージョンの Solaris Management Console 1.0、1.0.1、1.0.2 ソフトウェアと互換性がありません。Solaris Management Console™ 1.0、1.0.1、1.0.2 のいずれかのソフトウェアがインストールされた状態で Solaris 9 9/05 HW リリースおよびその互換バージョンにアップグレードしたい場合は、Solaris Management Console ソフトウェアをアンインストールする必要があります。システムに SEAS 2.0、SEAS 3.0、Solaris 8 Admin Pack のいずれかがインストールされていると、Solaris Management Console ソフトウェアが終了することがあります。

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- アップグレードする前に `/usr/bin/prodreg` コマンドを実行して、Solaris Management Console ソフトウェアのフルアンインストールを行います。
- Solaris 9 9/05 HW リリースへのアップグレード前に Solaris Management Console ソフトウェア 1.0、1.0.1、1.0.2 をアンインストールしていなかった場合は、Solaris Management Console ソフトウェア 1.0、1.0.1、1.0.2 のすべてのパッケージを削除する必要があります。パッケージの削除には `prodreg` コマンドではなく、`pkgrm` コマンドを使用します。必ず、手順に記載された順番どおりに削除してください。以下の手順に従います。
 1. スーパーユーザーになります。
 2. 次のコマンドを実行します。

```
# pkginfo |grep "Solaris Management Console"  
# pkginfo |grep "Solaris Management Applications"  
# pkginfo |grep "Solaris Diskless Client Management Application"
```

上記の出力結果で、パッケージ名の説明文の先頭に「Solaris Management Console 2.1」という文字列がない場合、そのパッケージは Solaris Management Console 1.0 ソフトウェアのパッケージです。

3. `pkgrm` を使用して、Solaris Management Console 1.0 ソフトウェアパッケージのすべてのインスタンスを次の順序で削除します。

注 - 説明文に「Solaris Management Console 2.1」という文字列が含まれているパッケージは削除しないでください。たとえば、`SUNWmc.2` は Solaris 管理コンソール 2.1 ソフトウェアのパッケージです。

`pkginfo` の出力に、複数のバージョンの Solaris Management Console 1.0 ソフトウェアパッケージが含まれている場合は、`pkgrm` を使用して、すべてのバージョンを削除してください。このとき、パッケージ名の末尾に番号が付いていないものを先に削除します。その後で、末尾に番号が付いているものを削除してください。たとえば、`pkginfo` の出力に `SUNWmcman` と `SUNWmcman.2` が含まれている場合、最初に `SUNWmcman` を削除して、次に `SUNWmcman.2` を削除します。`prodreg` は使用しないでください。

```
# pkgrm SUNWmcman
# pkgrm SUNWmcapp
# pkgrm SUNWmcsvr
# pkgrm SUNWmcsvu
# pkgrm SUNWmc
# pkgrm SUNWmcc
# pkgrm SUNWmcsws
```

4. 端末エミュレータで次のコマンドを実行します。

```
# rm -rf /var/sadm/pkg/SUNWmcapp
```

これで Solaris 管理コンソール 2.1 ソフトウェアが正しく機能するようになります。将来 Solaris 管理コンソール 2.1 ソフトウェアの保守を行う際は、または、Solaris 管理コンソール 2.1 ソフトウェアが正しく機能しない場合は、Solaris 管理コンソール 2.1 ソフトウェアをいったん削除します。次の手順で再インストールしてください。

1. `pkgrm` を使用して、Solaris 管理コンソール 2.1 ソフトウェアパッケージのすべてのインスタンスを次の順序で削除します。

注 - `SUNWmc` と `SUNWmc.2` のように、ある Solaris 管理コンソール 2.1 ソフトウェアパッケージに対して複数のインスタンスがシステム上に存在する場合は、最初に `SUNWmc` を削除して、次に `SUNWmc.2` を削除してください。`prodreg` は使用しないでください。

```
# pkgrm SUNWjadcl
# pkgrm SUNWjrmui
# pkgrm SUNWjlvmg
```

```
# pkgrm SUNWjmga
# pkgrm SUNWjsmc
# pkgrm SUNWpmgr
# pkgrm SUNWrmui
# pkgrm SUNWlvmg
# pkgrm SUNWlvma
# pkgrm SUNWlvmr
# pkgrm SUNWdc1nt
# pkgrm SUNWmga
# pkgrm SUNWmgapp
# pkgrm SUNWmcdev
# pkgrm SUNWmcex
# pkgrm SUNWwbmc
# pkgrm SUNWmc
# pkgrm SUNWmcc
# pkgrm SUNWmccom
```

2. Solaris 9 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、端末エミュレータで次のコマンドを実行します。

```
# cd /cdrom/sol_9_904_sparc/s0/Solaris_9/Product
# pkgadd -d . SUNWmgapp
```

3. CD を取り出して、Solaris 9 9/05 HW SOFTWARE 2 of 2 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、端末エミュレータで次のコマンドを実行します。

```
# cd /cdrom/sol_9_904_sparc_2/s0/Solaris_9/Product
# pkgadd -d . SUNWmccom SUNWmcc SUNWmc SUNWwbmc SUNWmcex SUNWmcdev SUNWmga SUNWdc1nt
```

4. CD を取り出して、Solaris 9 4/04 LANGUAGES CD を CD-ROM ドライブに挿入し、端末エミュレータで次のコマンドを実行します。

```
# cd /cdrom/sol_9_904_lang_sparc/s0/components/Japanese/sparc/Packages
# pkgadd -d . SUNWjsmc SUNWjmga SUMWjadcl SUNWjlvmg SUNWjrmui
```

これによって、すべての旧バージョンの Solaris Management Console ソフトウェアが削除され、Solaris 管理コンソール 2.1 ソフトウェアが正しく機能するようになります。

アップグレード時に発生するバグ情報

Solaris 9 9/05 HW リリースへのアップグレード時に発生するバグ情報について説明します。

Solaris Live Upgrade の使用時にインストールプログラムが表示するテキストに関する問題 (4736488)

Solaris Live Upgrade で `luupgrade(1M)` コマンドに `-i` オプションを指定して、アクティブでないブート環境をアップグレードした場合、言語によってはインストールプログラムが表示するテキストが判読不能になります。これは、現在のブート環境にはあるが古いリリースには存在しないフォントを、インストールプログラムが要求した場合に発生します。

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- SOFTWARE 1 of 2 CD、2 of 2 CD、および LANGUAGES CD を統合したネットワークインストールイメージを使用してインストールします。
- システムの環境変数を設定し、C ロケールを有効にします。
 - Bourne シェルまたは Korn シェルを使用している場合は、次の手順を実行します。
 1. C ロケールを設定します。

```
# LANG=C; export LANG
```

2. インストールを開始します。

- C シェルを使用している場合は、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを入力します。

```
# csh
```

2. C ロケールを設定します。

```
# setenv LANG C
```

3. インストールを開始します。

SPARC: アップグレードの際に、SUNWjxcft パッケージの削除でエラーが記録される (4525236)

Solaris 8 ソフトウェアから Solaris 9 またはそれ以降のリリースへのアップグレードの際、SUNWjxcft パッケージが削除されるときに、次のようなエラーメッセージが `upgrade_log` ファイルに記録されます。

```
Removing package SUNWjxcft:
```

```
Can't open /a/usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TTbitmaps/fonts.upr
```

```
Can't open /a/usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TTbitmaps/fonts.scale
```

```
Can't open /a/usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TTbitmaps/fonts.alias
Can't open /a/usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TT/fonts.upr
Can't open /a/usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TT/fonts.scale
Can't open /a/usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TT/fonts.alias
Removal of <SUNWjxcft> was successful
```

回避方法: このエラーメッセージは無視してください。アップグレード後の環境で問題は発生しません。

Solaris 9 9/05 HW リリースにアップグレードすると既存の Secure Shell デーモン (sshd) が使用できなくなることもある (4626093)

/etc/init.d/sshd デーモンから他社の Secure Shell (OpenSSH など) を実行しているシステムの場合、Solaris 9 9/05 HW リリースにアップグレードすると、既存の Secure Shell デーモンが使用できなくなります。アップグレード時に、Solaris 9 9/05 HW のソフトウェアが、Solaris 9 9/05 HW の sshd で /etc/init.d/sshd の内容を上書きし、既存の sshd が失われます。

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- システムに Secure Shell プロトコルサーバープログラムが不要な場合は、アップグレード時に SUNWsshdr パッケージと SUNWsshdu パッケージをインストールしない。
- システムに Secure Shell プロトコルサーバープログラムもクライアントプログラムもどちらも不要な場合は、アップグレード時に Secure Shell Cluster (SUNWCssh) をインストールしない。

/export ディレクトリが満杯に近いシステムのアップグレードが失敗する (4409601)

/export ディレクトリの空き容量がゼロに近い状態で、システムを Solaris 9 9/05 HW リリースにアップグレードしようとする、/export ディレクトリ容量の必要条件の計算に誤りが発生し、アップグレードに失敗します。この問題は、ディスクレスクライアントがインストールされている場合によく発生します。または、/export ディレクトリに他社製のソフトウェアがインストールされている場合にも発生します。次のエラーメッセージが表示されます。

```
WARNING: Insufficient space for the upgrade.
```

回避方法: アップグレードの前に、次のいずれかを実行してください。

- アップグレードが完了するまで、一時的に /export ディレクトリの名前を変更する
- アップグレードが完了するまで、/etc/vfstab ファイル内の /export の行を一時的にコメントアウトする

- `/export` が別のファイルシステムである場合は、アップグレードを実行する前に `/export` のマウントを解除する

ディスクレスサーバーおよびディスクレスクライアントのアップグレード (4363078)

現在のシステムが、Solstice AdminSuite™ 2.3 の Diskless Client ツールによってインストールされたディスクレスクライアントをサポートしている場合、2つの手順を実行する必要があります。

1. 既存のディスクレスクライアントのうち、サーバーと同じ Solaris バージョンで同じアーキテクチャのものをすべて削除します。
2. Solaris 9 9/05 HW リリースをインストールするか、または Solaris 9 9/05 HW リリースにアップグレードします。

具体的な手順については、『Solaris のシステム管理 (基本編)』を参照してください。

ディスクレスクライアントを削除せずに Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアをインストールしようとする、次のようなエラーメッセージが表示されます。

スライス <xxxxxxx> 上の Solaris のバージョン (*version-number*) がアップグレードできません。ディスク上にインストールされたソフトウェア構成に未知の問題があります。

このエラーメッセージの *version-number* は、現在、システムで稼働している Solaris のバージョンを表します。<xxxxxxx> は、このバージョンの Solaris ソフトウェアを実行しているスライスです。

アップグレード後に発生するバグ情報

Solaris 9 9/05 HW リリースへのアップグレード後に発生するバグ情報について説明します。

Solaris Live Upgrade を使用して、以前の Solaris リリースをアップグレードした場合に、廃止されたアンインストーラーは削除されない (6198380)

Solaris Live Upgrade を使用して、次のリリースから Solaris 9 9/05 HW に更新した場合には、廃止されたアンインストールプログラムは、削除されません。

- Solaris 8 OS
- Solaris 9 9/05 HW OS より以前の Solaris 9

/var/sadm/prod ディレクトリに過去の OS のアンインストールプログラムが残ります。

次の廃止されたアンインストーラーは削除されません。

- uninstall_Alternate_Pathing_2_3_1.class
- uninstall_CDRW_1_1.class
- uninstall_CDRW_1_0.class
- uninstall_Java3D_1_3.class
- uninstall_Java3D_1_2_1_04.class
- uninstall_Java3D_1_2_1_03.class
- uninstall_Man_Page_Supplement.class
- uninstall_OpenGL_1_2_3.class
- uninstall_Netscape_6_2_3.class
- uninstall_Netscape_6_2_1_Beta.class
- uninstall_PC_launcher_1_0_2.class
- uninstall_PC_launcher_1_0_1_PCfileviewer_1_0_1.class
- uninstall_RSC_2_2_2.class
- uninstall_RSC_2_2_1.class
- uninstall_RSC_2_2.class
- uninstall_ShowMeTV_1_3.class
- uninstall_Sun_Hardware_AnswerBook.class
- uninstall_SunATM_5_0.class
- uninstall_SunFDDI_PCI_3_0.class
- uninstall_SunFDDI_SBus_7_0.class
- uninstall_Sun_Fire_880_FC-AL_Backplane_Firmware_1_0.class
- uninstall_SunForum_3_1.class
- uninstall_SunVTS_5_1_PS6.class
- uninstall_SunVTS_5_1_PS5.class
- uninstall_SunVTS_5_1_PS4.class
- uninstall_SunVTS_5_1_PS3.class
- uninstall_SunVTS_5_1_PS2.class
- uninstall_SunVTS_5_1_PS1.class
- uninstall_SunVTS_5_0.class
- uninstall_System_Management_Services_1_4.class
- uninstall_System_Management_Services_1_3.class
- uninstall_System_Management_Services_1_2.class
- uninstall_WBEM_DR_1_0.class
- uninstall_Web_Start_Wizards_SDK_3_0_1.class
- uninstall_Web_Start_Wizards_SDK.class

回避方法: システムをアップグレードした後に /var/sadm/prod ディレクトリから、廃止されたアンインストーラーを手動で削除してください。

SPARC: 推奨パッチのアップグレードまたは適用後、SAM-FS/QFS に関連する問題が発生する (5003346)

次のいずれかの操作を実行すると、SAM-FS/QFS デーモンが起動せず、ファイルシステムがマウントできない状態になります。

- Solaris 9 4/04 リリースにアップグレードする。
- Solaris 9 推奨パッチ群 (Solaris 9 パッチ ID 112233-11) を適用する。

このエラーは、デーモンが通常使用するシステムコール 181 を、異なるモジュールが使用しているために発生します。これらのモジュールは、上記操作で適用したパッチによって導入されます。次のエラーメッセージが /var/adm/messages に記録されます。

```
/var/adm/messages
Jan  5 13:28:46 host genunix: [ID 147998 kern.warning] WARNING: system
call entry 181 is already in use
Jan  5 13:28:46 host samfs: [ID 798779 kern.warning] WARNING: SAM-FS:
modload(samsys) failed.
```

さらに、次のエラーメッセージも /var/adm/sam-log に記録されます。

```
/var/adm/sam-log
Jan  5 13:30:08 host sam-fsd[355]: [ID 617651 local4.alert] Fatal error -
samsys module not loaded
Jan  5 13:30:08 host sam-fsd[355]: [ID 765074 local4.alert] Correct
problem and 'kill -HUP 355'
```

次の手順を実行してください。

1. スーパーユーザーになります。
2. modinfo の出力に grep 181 を実行して、システムコール 181 がほかのモジュールによって使用されているかどうかを判断します。

```
# modinfo | grep 181
   8 1181aa0 38c4  1  1 TS (time sharing sched class)
  15 11b1092 181a 12  1 sad (STREAMS Administrative Driver ')
  43 1295cd8  ce9 181  1 ssc050 (SSC050 i2c device driver: v1.4)
158 7813a87f 181c 95  1 cpc (cpc sampling driver v1.10)
158 7813a87f 181c 179 1 cpc (cpc sampling system call)
158 7813a87f 181c 179 1 cpc (32-bit cpc sampling system call)
```

この例では、システムコール 181 がほかのモジュールによって使用されています。したがって、ほかの未使用のシステムコール値を使用するように samsys を構成します。

3. /etc/name_to_sysnum を編集して、samsys が使用するシステムコール値を 182 またはほかの未使用の値 (0 ~ 255) に変更します。

```
samsys          182
```

4. システムをブートして、samsys を再構成します。

```
# shutdown -y -g0 -i0
```

```
OK> boot -r
```

5. /var/adm/messages にエラーメッセージがなく、すべての SAM-FS ファイルシステムがマウント可能であることを確認します。

SPARC: アップグレード後にパッチを削除すると WBEM リポジトリが破壊されることがある (4820614)

次のような手順で操作した場合、WBEM リポジトリの Common Information Model (CIM) データベースが破壊される可能性があります。

- Solaris 9 ソフトウェアを実行しているシステムに Solaris 9 リリースのパッチ 112945 のリビジョンを適用します。
- 上の手順で適用したパッチを削除します。

WBEM リポジトリが破壊された場合、Solaris 管理コンソールのログビューアに次のエラーメッセージが表示されます。

```
CIM_ERR_FAILED:
/usr/sadm/lib/wbem/../../../../var/sadm/wbem/logr/
preReg/PATCH113829install/Solaris_Application.mof,18,ERR_SEM,
ERR_EXC_SET_CLASS,CIM_ERR_FAILED:Other Exception:
java.io.StreamCorruptedException: invalid stream header
```

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- WBEM リポジトリの破壊を防ぐには、次の手順を実行します。
 1. スーパーユーザーになります。
 2. パッチを適用する前に、WBEM リポジトリのバックアップを作成します。

```
# cp -r /var/sadm/wbem/logr path/logr
```

path には、バックアップ用 WBEM リポジトリのパスを指定します。

3. パッチのバックアウト後、WBEM リポジトリが破壊されたら、WBEM サーバーを停止します。

```
# /etc/init.d/init.wbem stop
```

4. バックアップ用 WBEM リポジトリを復元します。

```
# cp -rf path/logr /var/sadm/wbem/logr
```

5. WBEM サーバーを再起動します。

```
# /etc/init.d/init.wbem start
```

- 次の手順で、新しい WBEM リポジトリを作成します。

注-この方法では、すでに破壊された WBEM リポジトリのデータを回復することはできません。インストール時にリポジトリに追加されたデータはすべて失われます。

1. スーパーユーザーになります。
2. WBEM サーバーを停止します。

```
# /etc/init.d/init.wbem stop
```

3. /logr ディレクトリからファイルを削除します。

```
# rm /var/sadm/wbem/logr/*
```

4. /notFirstTime ディレクトリを削除します。

```
# rmdir notFirstTime
```

5. WBEM サーバーを起動します。

```
# /etc/init.d/init.wbem start
```

6. 独自の Managed Object Format (MOF) ファイルを手動でコンパイルします。

```
# /usr/sadm/bin/mofcomp MOF-filename
```

アップグレードを行うと、システムのデフォルトロケールが正しく設定されない(バグ ID: 4233535)

Solaris 9 9/05 HW へのアップグレードを行うと、アップグレード時に設定したデフォルトロケールがシステムのデフォルトロケールに正しく設定されない場合があります。

Solaris 9 9/05 HW SOFTWARE 1 of 2 CD を使用したアップグレードの場合、SOFTWARE 1 of 2 CD のインストールの終了後、自動ブートしたシステムが英語環境で起動し、SOFTWARE 2 of 2 CD および LANGUAGES CD のインストール画面が英語で表示されることがあります。

回避方法: アップグレード終了後、システムのデフォルトロケールを /etc/default/init ファイルの LANG 環境変数に設定してください。

日本語フォントディレクトリに、古いフォント設定ファイルが残ってしまう (4677463)

Solaris 8 および Solaris 8 アップデートリリースから Solaris 9/05 HW へアップグレードを行うと、古いフォント設定ファイル(ファイル末尾に :8 が付く)が残ります。

回避方法: 古いフォント設定ファイルは削除してください。

```
# rm /usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TTbitmaps/fonts.upr:8
# rm /usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TTbitmaps/fonts.scale:8
# rm /usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TTbitmaps/fonts.alias:8
# rm /usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TT/fonts.upr:8
# rm /usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TT/fonts.scale:8
# rm /usr/openwin/lib/locale/ja/X11/fonts/TT/fonts.alias:8
```

64 ビット Solaris に関する注意事項とバグ情報

64 ビット Solaris をインストールする場合の、注意事項とバグ情報について説明します。

SPARC: 一部の Sun UltraSPARC システム (sun4U) では、ブート Flash PROM をアップデートする必要がある

注 - システムがすでに 64 ビット対応のファームウェアを実行している場合、Flash PROM のアップデートは不要です。

UltraSPARC™ システム上で 64 ビット Solaris ソフトウェアを実行する場合、システムの Flash PROM ファームウェアのアップデートが必要な場合があります。Solaris 9/05 HW インストールプログラムには、64 ビットサポートを追加する選択肢があります。UltraSPARC システムにインストールする場合は、この 64 ビットサポートがデフォルトで選択されます。64 ビットシステムは、200MHz 以上の CPU 速度を持つ場合のみ、デフォルトで 64 ビットでブートします。

注 - Sun システムまたは UltraSPARC システムで 32 ビット Solaris ソフトウェアを実行する場合は、Flash PROM のアップデートは不要です。

次の表に、UltraSPARC (sun4U™) システムと必要な最小限のファームウェアバージョンを示します。システムタイプは、`uname -i` コマンドを実行して確認できます。実行中のファームウェアバージョンは、`prtconf -v` コマンドを実行して確認できます。

表 1-6 UltraSPARC システム上で 64 ビット Solaris ソフトウェアを実行するために必要な
ファームウェアバージョン
ファームウェアバージョン (続き)

システムタイプ (uname -i で出力される)	必要最小限のファームウェアバージョン (prtconf -v で出力される)
SUNW,Ultra-1-Engine	3.10.0
SUNW,Ultra-1	3.11.1
SUNW,Ultra-2	3.11.2
SUNW,Ultra-4	3.7.107
SUNW,Ultra-Enterprise	3.2.16

注 - この表に記載されていないシステムでは、Flash PROM をアップデートする必要はありません。

Solaris CD を使用して Flash PROM をアップデートする方法については、Solaris 9 on Sun Hardware Collection のマニュアルをご覧ください。このコレクション中のマニュアルは、<http://docs.sun.com> で参照できます。

DOCUMENTATION CD に関する注意事項

Solaris 9/05 HW リリースの DOCUMENTATION CD に関する注意事項について説明します。

Solaris 2.6、7、および 8 ソフトウェアが稼働している文書サーバーに 9 文字より長い名前のドキュメントパッケージをインストールできない

翻訳された PDF 形式の文書コレクションの中には、パッケージ名が 9 文字を超えるものがあります。Solaris 7 または 8 ソフトウェアが稼働しているサーバーに、このような PDF コレクションをインストールする場合は、先にパッチを 2 つインストールしておく必要があります。

注 - このリリースの時点では、Solaris 2.6 サーバー用のパッチはありません。

回避方法: これらのパッチのインストール手順については、ドキュメントメディア、Solaris 9/04 Documentation CD 1 of 2、2 of 2、または DVD にある Solaris Documentation Important Information ファイルを参照してください。ファイルは次のディレクトリにあります。

`mount-point/README/locale/install_locale.html`

たとえば、Solaris 9 9/04 Documentation CD 1 of 2 の英文ファイルは次のディレクトリにあります。

`sol_9_doc_1of2/README/C/install_C.html`

DOCUMENTATION CD のインストールに関するバグ情報

Solaris 9 9/05 HW リリースの DOCUMENTATION CD のインストールに関するバグ情報について説明します。

Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD の uninstaller ユーティリティの Uninstall が適切に機能しない (4675797、4627776)

Solaris 9 Product Registry から立ち上げる Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD の uninstaller で「全体」を選択した場合、uninstaller はデフォルトでインストールされるマニュアルパッケージしか削除しません。

回避方法: uninstaller のアンインストール形式の選択で「部分」を選択して、アンインストールしたいパッケージを選択します。

コマンド行インタフェースモードでは DOCUMENTATION CD の確認画面が表示されない (4520352)

-nodisplay オプションを指定して Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD のインストールプログラムを使用すると、確認画面が正しく表示されないことがあります。

回避方法: Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD のインストールプログラムを使用するときに、-nodisplay オプションを指定しないでください。Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD をインストールするときには、グラフィカルユーザーインタフェース (GUI) モードを使用してください。

インストール時のローカライズに関する注意事項

Solaris 9/05 HW ソフトウェアのインストール時のローカライズに関する注意事項について説明します。

選択したロケール以外のロケールもインストールされることがある

Solaris 9/05 HW リリースでは、インストールするロケールを選択した場合、関連するほかのロケールもインストールされることがあります。これは、すべての完全ロケール(メッセージが翻訳されている)とアジアおよび日本語の部分ロケールが、言語単位でパッケージ化し直されたためです。ほかの部分ロケールは従来通りに地理上の分類(中央ヨーロッパなど)に基づいて、パッケージ化されてインストールされます。

インストール時のローカライズに関するバグ情報

Solaris 9/05 HW リリースのインストール時のローカライズに関するバグ情報について説明します。

Solaris Live Upgrade を使用すると、**LANGUAGE CD** からデフォルトですべての言語がインストールされる (**4898832**)

Solaris 9/05 HW リリースをインストールするのに複数の CD を使用する Solaris Live Upgrade で行うと、LANGUAGE CD からデフォルトですべての言語がインストールされます。

インストール後、インストール時に選択したロケール以外のロケールでシステムにログインすると、判読できない文字が表示される可能性があります。

回避方法: インストール時に、カスタムインストールオプションを選択します。LANGUAGE CD インストール時にインストールする必要のない言語のチェックをすべて解除します。

タイ語、ロシア語、ポーランド語、カタロニア語を完全にサポートする **Solaris 8** ソフトウェアを実行しているシステムをアップグレードすると、無効なパッケージがシステムに残る (4650059)

Solaris 8 Language Supplement CD がインストールされている Solaris 8 ソフトウェアを実行しているシステムを Solaris 9/05 HW リリースにアップグレードする場合、いくつかの無効なパッケージがあります。タイ語、ロシア語、ポーランド語、およびカタロニア語のロケールパッケージがシステムに残ります。これらのロケールパッケージでは ARCH=sparc64 が設定されているので、Solaris 9/05 HW リリースへのアップグレード時に削除されません。

回避方法: Solaris 9/05 HW リリースにアップグレードする前に、Solaris Product Registry アプリケーションを使用して Solaris 8 Languages Supplement CD パッケージを削除してください。

実行時の注意事項とバグ情報

この章では、問題として認識されている実行時の問題について説明します。

注 - Solaris 9/05 HW リリースは、x86 プラットフォームには対応していません。本書は、Solaris 9/05 ソフトウェアを使用している x86 プラットフォームに適用される情報を含んでいます。

64 ビット Solaris のバグ

SPARC: luxadm -e の port がデバイスパスを切り詰める (5028518)

Seattle (V215 および V245)、Boston (V445)、および Chicago (U45) の新しいハードウェアプラットフォーム上で、Solaris 5.9 の SAN Kit 4.4.11 によって提供される luxadm ユーティリティに -e オプションを指定して使用すると、ポートの出力が切り詰められます。このユーティリティは、FC 物理パスを 65 文字に切り詰めます。しかし、前述のプラットフォームでは、物理デバイスの文字列の長さが 65 文字を超えます。この切り詰めが起こると、NBU、EBS、VXSF などの他社製アプリケーションを実行しているすべての fc hba で障害を引き起こします。

この問題は 113043-13 パッチによって修正されるため、これらのプラットフォームのユーザーはこのパッチをインストールする必要があります。このパッチは、SUNWluxop パッケージで構成され、SAN Kit 4.4.11 のインストール後にインストールする必要があります。このパッチに一覧されているバイナリ (付録 A の SPARC パッチの一覧を参照) は、Solaris 5.9 用 SAN Kit 4.4.11 の SUNWluxop パッケージ内の既存バイナリを置き換えます。

次のエラーメッセージが表示されます。

```
luxadm -e port is truncated to 65 characters.
```

回避方法:

1. Solaris 9/05 HW リリースをインストールします。
2. SAN Kit 4.4.11 をインストールします。
3. パッチ 113043-13 をインストールします。

システムパニックの問題

SPARC: ql_task_thread+0x660 で qlc パニックが発生する (6390862)

タイミングによって、さまざまな状況でシステムパニックが発生します。

回避方法: Sun Download Center から入手できる、最新の Sun StorEdge SAN 4.4.11 (またはそれ以降のバージョン) をインストールしてください。

rlogin の問題

SPARC: バグ 5104883 の修正適用後にコンソール上で rlogin からログアウトすると、壊れた出力が生成される (6403830)

この問題が発生するとき、実際にエラーメッセージが表示されるわけではありません。ただし、プロセスが rlogin セッションから出るときに、通常のメッセージ「Connection closed ...」が壊れることがあります。

回避方法: 実行可能な操作や回避方法はなく、また必要ありません。

理論上は、これが原因でコンソールがハングアップすることがありえます。ただし、いかなるテストによってもこの動作が発生したことはなく、顧客による報告もありません。これまでにあった事例すべての中で検出された異常は、壊れた「Connection closed ...」メッセージだけです。極端な場合には、シリアルコンソールがハングアップして、以降の接続ができなくなる可能性があります。問題のマシンには telnet、ssh、またはほかのリモートアクセスプロトコルを使って引き続きアクセスできるはずですが、ただし、シリアルコンソールは、リブートするまでハングアップしたままになります。

ハードウェア関連の注意事項とバグ情報

Solaris 9 9/05 HW リリースのハードウェア関連の注意事項とバグ情報について説明します。

サポートされる USB デバイスと対応するハブの構成

このリリースの Solaris は、USB 1.1 と USB 2.0 の両方のデバイスをサポートします。次の表は、特定の構成で動作する USB デバイスをまとめたものです。接続の種類は、コンピュータに直接接続しても、USB ハブ経由で接続してもかまいません。USB 1.1 デバイスとハブは低速または全速であり、USB 2.0 デバイスは高速であることに注意してください。ポートと動作速度の詳細については、『Solaris のシステム管理 (デバイスとファイルシステム)』を参照してください。

表 2-1 USB デバイスと構成

USB デバイス	接続の種類
USB 2.0 ストレージデバイス	直接、USB 1.1 ハブ、USB 2.0 ハブ
USB 1.1 デバイス (オーディオデバイスを除く)	直接、USB 1.1 ハブ、USB 2.0 ハブ
USB 1.1 オーディオデバイス	直接、USB 1.1 ハブ
USB 2.0 オーディオデバイス	サポートされません。

SPARC: PGX32 ハードウェアで拡張表示識別データが遅延する (6272648)

PGX32™ フレームバッファ上の拡張表示識別データ (Extended Display Identification Data: EDID) が、モニターが電源管理状態から切り替わった際には、即座に表示されないことがあります。モニターは、すでに電源管理状態ではありません。しかしながら、`fbconfig -prconf` コマンドで生成される出力は EDID データ領域を「使用不可能」として示します。数秒の遅延の後このコマンドを再入力すると、このデータ領域は「使用可能」になります。

回避方法: 無し

USB 2.0 ホストコントローラを持つシステムがハングアップまたはパニックすることがある (5030842)

USB 2.0 ホストコントローラを持つシステムは、このリリースの Solaris を実行していると、頻繁にハングアップまたはパニックすることがあります。これらの問題は、NEC 製チップセットを搭載していない USB 2.0 デバイスに起因します。これらの問題が発生した場合、Enhanced Host Controller Interface (EHCI) に関連するエラーメッセージが生成されます。

回避方法: システムのハードウェア構成によって、次のいずれかを実行してください。

- USB 2.0 ホストコントローラハードウェアを NEC 製チップセットを搭載したハードウェアと交換します。NEC 製チップセットを搭載した USB 2.0 ハードウェアは Solaris OS で正しく動作することが確認されています。
- USB 2.0 ホストコントローラがマザーボード上に組み込まれているシステムでは、空いている PCI スロットを利用して、次の手順を実行します。
 1. NEC 製チップセットを搭載した USB 2.0 PCI カードを追加します。
 2. スーパーユーザーになります。
 3. マザーボード上の USB 2.0 サポートを無効にして、PCI カード上の USB 2.0 サポートだけを有効にします。次のコマンドを実行します。

```
# update_drv -d -i '"pciclass,0c0320"' usba10_ehci
# update_drv -a -i '"pci1033,e0"' usba10_ehci
# reboot
```

4. 速度が求められる USB 2.0 デバイスについては、マザーボード上の USB ポートではなく、PCI カード上の USB ポートに接続します。
- 新規に USB ハードウェアをシステムに追加できない場合でも、システムの EHCI を無効にできます。この場合は、次の手順を実行します。
 1. スーパーユーザーになります。
 2. 次のコマンドを実行します。

```
# update_drv -d -i '"pciclass,0c0320"' usba10_ehci
# reboot
```

注 - USB 2.0 ポートは2つのハードウェア構成要素で動作します。

- 高速の場合は、EHCI で動作します。
- 低速と全速の場合は、Open Host Controller Interface (OHCI) または Universal Host Controller Interface (UHCI) で動作します。

x86 ベースのシステムには、OHCI 用のドライバと UHCI 用のドライバが存在します。SPARC ベースのシステムには、OHCI 用のドライバが存在します。したがって、SPARC ベースのシステムの場合、EHCI を無効にしても、OHCI を持つ USB PCI カードは動作します。また、x86 ベースのシステムの場合、EHCI を無効にしても、OHCI または UHCI を持つ USB PCI カードは動作します。どちらの場合も、EHCI を無効にしたポートに接続されている USB 2.0 デバイスは、USB 1.1 デバイスの速度で動作します。

自分の SPARC ベースのシステムで EHCI と OHCI が存在するかどうかを確認するには、次のコマンドを入力します。

```
# prtconf -D
```

次の例のように、EHCI エントリは1つまたは複数の OHCI エントリの後に出力されません。

```
pci, instance #0 (driver name: pci_pci)
usb, instance #0 (driver name: usba10_ohci)
usb, instance #1 (driver name: usba10_ohci)
usb, instance #0 (driver name: usba10_ehci)
```

スマートカードのバグ情報

Solaris 9/05 HW オペレーションシステムのスマートカードのバグ情報について説明します。

スマートカードに対してシステムが反応しない (4415094)

ocfserv が終了し、ディスプレイがロックされている場合は、スマートカードを挿入しても取り出しても、システムはロックされたままになります。

回避方法: 次の手順を実行してシステムのロックを解除してください。

1. ocfserv プロセスが終了したマシンにリモートログインして接続します。
2. スーパーユーザーになります。
3. 端末ウィンドウで次のように入力して、dtsession プロセスを終了させます。

```
# pkill dtsession
```

ocfserv プロセスが再起動し、スマートカードのログインおよびその他の機能が復元されます。

スマートカード **Console** の「構成ファイルを編集」メニュー項目が使用できない (4447632)

スマートカード Console の「構成ファイルを編集」メニュー項目を使用して、`/etc/smartcard/opencard.properties` にあるスマートカードの構成ファイルを編集することができません。メニュー項目を選択すると、テクニカルサポートを受けないと編集を継続できないことを示す警告メッセージが表示されます。

回避方法: スマートカード Console の「構成ファイルを編集」メニュー項目は使用しないでください。スマートカードの設定に関する情報は、『Solaris スマートカードの管理』を参照してください。

共通デスクトップ環境 (CDE) に関する注意事項とバグ情報

Solaris 共通デスクトップ環境 (CDE) の実行時に発生するバグの情報および注意事項について説明します。

共通デスクトップ環境 (CDE) に関する注意事項

Solaris 9 では、文字集合 JIS X 0212:1990 に対するフォントが、「HeiseiMin-W3H」から、「HG-GothicB-Sun」と「HG-MinchoL-Sun」に変更になりました (今までの平成明朝体も引き続きインストールされますが、利用するにはシステム側の変更が必要となります)。

また、文字集合 JIS X 0213:2000 に関しては UTF-8 ロケール上で利用可能ですが、UNICODE3.1 で定義された文字集合が対象となります (ただし、Java および DPS からの利用はできません)。

SPARC: 共通デスクトップ環境のログインサービスにおいて、いくつかの UTF-8 ロケールが利用できない (5042573)

ログインサーバーが起動し、共通デスクトップ環境 (CDE) ログインサービスが起動したとき、次の UTF-8 ロケールが利用できません。

- ar_SA.UTF-8

- el_GR.UTF-8
- nl_BE.UTF-8
- nl_NL.UTF-8
- pt_PT.UTF-8

回避方法: これらのロケールを使用するには、まず、これら以外の UTF-8 ロケールにログインします。その後、コマンド行で LC_ALL 変数を設定します。次に例を示します。

```
export LC_ALL=ar_SA.UTF-8
```

注 - この回避方法は SPARC ベースのシステムだけに適用されます。これらのロケールは、x86 ベースのシステムでは利用できません。

CDE のリムーバブルメディア自動実行機能が削除されている (バグ ID: 4634260)

CDE デスクトップ環境のリムーバブルメディア自動実行機能は、Solaris 9/05 HW ソフトウェアから一時的に削除されています。

回避方法: CD-ROM などのリムーバブルメディアの自動実行機能を使用するには、次のいずれかを実行する必要があります。

- リムーバブルメディアのファイルシステムに移動し、最上位のディレクトリで volstart プログラムを実行します。
- CD に記載されている指示に従って、CDE 以外の環境からリムーバブルメディアにアクセスします。

SPARC: FontList オプションが指定されている場合、コマンド行から起動した dtmail がクラッシュする (4677329)

dtmail をコマンド行から起動した場合、FontList オプションが指定されていると、IMAP サーバーに接続した後で dtmail がクラッシュします。次の例を参照してください。

```
/usr/dt/bin/dtmail -xrm "Dtmail*FontList: *-r-normal-*:"
```

次のエラーメッセージが表示されます。

```
Segmentation Fault
```

この問題は、c および ja ロケールの両方で発生します。

回避方法: dtmail をコマンド行から起動するときは、FontList オプションを指定しないでください。

行数の多い電子メールの表示中に **CDE** がハングアップしたようになる (4418793)

Solaris 9 9/05 HW Unicode または UTF-8 ロケールで、行数の多い電子メールメッセージを読むと、CDE Mailer (dtmail) がハングアップしたようになり、メッセージがすぐには表示されません。

回避方法: 次のどちらかを実行してください。

- 132 桁が表示されるように、dtmail メールボックスウィンドウを拡大する。
- 次の手順で、Complex Text Layout 機能を使用不可にする。
 1. スーパーユーザーになります。
 2. 使用システムのロケールディレクトリに切り替えます。

```
# cd /usr/lib/locale/locale-name
```

上の例では、*locale-name* はシステムの Solaris 9 9/05 HW Unicode ロケール名または UTF-8 ロケール名です。

3. ロケールレイアウトエンジンのカテゴリ名を変更します。

```
# mv LO_LTYPE LO_LTYPE-
```

注-パッチを適用する場合は、ロケールレイアウトエンジンのカテゴリ名を元の名前 (LO_LTYPE) に戻してから、ロケールレイアウトエンジンにパッチを適用してください。

Solaris PDA Sync がデスクトップ上の最後のエント リを削除できない (4260435)

デスクトップから最後のエントリーを削除した後に、PDA デバイスに対して同期処理を実行すると、最後のエントリーが PDA デバイスからデスクトップに復元されてしまいます。たとえば、カレンダーの最後のアポイントメントやアドレス帳の最後のアドレスが、削除した後に復元されてしまいます。

回避方法: 同期処理を実行する前に、PDA デバイスから最後のエントリーを手動で削除してください。

Solaris PDASync が PDA デバイスとの国際化された複数バイトのデータ交換をサポートしていない (4263814)

PDA と Solaris 共通デスクトップ環境の間で複数バイトのデータを交換すると、その両方の環境でデータが壊れることがある。

回避方法: Solaris™ PDASync を実行する前に、パソコン上で PDA のバックアップ機能を使用してデータのバックアップを取ります。誤って複数バイトのデータを交換したためにデータが壊れた場合は、バックアップからデータを復元してください。

Solaris PDA Sync のロケールとはコードセットが異なる PDA デバイスとデータを交換する場合の注意事項 (4851847)

Solaris PDA Sync で日本語などの複数バイト文字を扱えるようになりましたが、PDA デバイスではコードセット Shift_JIS、Solaris 環境では ja または ja_JP.eucJP ロケール (コードセット eucJP) のように、PDA デバイスと Solaris 環境で異なるコードセットを利用する環境でデータを交換すると、両方の環境において、交換した複数バイト文字データが壊れる可能性があります。

回避方法: PDA Sync を実行する前に必ず、PDA デバイスに付属しているバックアップ機能やバックアップユーティリティを使用して、PC などにデータの完全なバックアップをとってください。間違えてデータ交換をしてしまった場合には、バックアップデータからデータを復旧させてください。

dtmail で不在返信メッセージを作成すると、dtmail を起動したロケールと同じエンコーディングで不在返信メッセージが保存される (4394110)

不在返信メッセージを作成する場合、dtmail はその内容を (日本語のメールの場合) ISO-2022-JP エンコーディングではなく、dtmail を起動したエンコーディングで保存します。このため、不在返信メールを受信した際に、メールの内容が文字化けすることがあります。

回避方法: 不在返信メッセージが保存されている .vacation.msg ファイルを、次のように入力して (日本語のメールの場合) ISO-2022-JP エンコーディングに変更し、保存し直します。

```
% /usr/bin/iconv -f org_locale -t ISO-2022-JP $HOME/.vacation.msg \  
> $HOME/.vacation.msg_tmp  
% /usr/bin/cp $HOME/.vacation.msg_tmp $HOME/.vacation.msg
```

上記の `org_locale` には、`iconv` で使用されるコードセット (`dtmail` で作成した `.vacation.msg` ファイルのエンコーディングに対応) を指定します。日本語環境では、次の3つのいずれかです。

eucJP (ja ロケールの場合)
PCK (ja_JP.PCK ロケールの場合)
UTF-8 (ja_JP.UTF-8 ロケールの場合)

[日本語環境のみ] ja_JP.PCK ロケールおよび ja_JP.UTF-8 ロケールに関する注意事項

- ポリウムマネージャのメッセージを表示するためのダイアログウィンドウは XView™ アプリケーションなので、ja_JP.PCK ロケールおよび ja_JP.UTF-8 ロケールでは英語表示で起動されます。
- ja ロケールで登録したカレンダーは、ja_JP.PCK ロケールおよび ja_JP.UTF-8 ロケールで起動されたカレンダー・マネージャで見ることができません (ja_JP.PCK ロケールまたは ja_JP.UTF-8 ロケールで作成した場合も同様です)。

[日本語環境のみ] 移動メニューの設定で追加したメールボックス名が文字化けする (4066565)

Solaris CDE 1.2 より前のメールプログラムで、オプションメニューの「移動メニューの設定」で登録したメールボックス名に日本語文字列が含まれている場合、Solaris CDE 1.2 以降のメールプログラムではそれらのメールボックス名が文字化けすることがあります。

回避方法: Solaris CDE 1.2 あるいは Solaris CDE 1.3 のメールプログラムで、再度登録してください。

GNOME 2.0 に関する注意事項とバグ情報

以下は、GNOME 2.0 デスクトップに関する情報です。

GNOME 2.0 のマニュアル

GNOME 2.0 デスクトップに関するリリースノートおよび問題の解決に関する情報は、<http://docs.sun.com> で次のマニュアルを参照してください。

- 『GNOME 2.0 ご使用にあたって (Solaris 版)』
- 『GNOME 2.0 問題の解決方法 (Solaris 版)』

日本語入力方式が **GTK+2** アプリケーションより先にキーイベントを取得できない (**5013233**)

GTK+2 アプリケーションと日本語入力方式で同じキーをそれぞれの処理に割り当てている場合、GTK+2 アプリケーションが日本語入力方式より先にキーイベントを取得します。たとえば、`gnome-terminal` 上で ATOK12 を利用しているとき、F10 キーを入力しても ATOK12 の文字入力モードが変更せず、`gnome-terminal` のメニューバーのファイルが表示されます。

回避方法: 重複するキーがある場合は、日本語入力方式のキーバインドを変更してください。

システム管理に関するバグ情報

Solaris 9/05 HW リリースにおけるシステム管理に関するバグ情報について説明します。

Solaris 8、6/00、10/00 の OS サービスにはパッチが必要 (4384092)

Solaris 8、Solaris 8 6/00、Solaris 8 10/00 のディスクレスクライアントを日本語環境で構成する場合は、OS サービスを追加した後、OS サービスにパッチ 110416-02 を適用する必要があります。

このパッチを適用しないと日本語入力システム ATOK12 が正しく動作せず、CDE 上でアプリケーションが正しく起動できないなどの問題が発生することがあります。

パッチを OS サービスに追加する方法については、『Solaris のシステム管理 (基本編)』を参照してください。

Solaris 2.6 3/98 または 5/98 の Sun4U OS サービスにはパッチが必要 (4150243、4388885)

Solaris 2.6 3/98 または 5/98 の Sun4U ディスクレスクライアントを構成する場合は、OS サービスを追加した後、OS サービスにパッチ 105654-03 を適用する必要があります。

このパッチを適用しないと Sun4U ディスクレスクライアントがブート中にハングアップすることがあります。

パッチを OS サービスに追加する方法については、『Solaris のシステム管理 (基本編)』を参照してください。

新しい構成ファイルを作成すると localeadm が個々の CDROM からの地域追加機能に失敗する (6350486)

メディア CD やネット CD イメージを使用すると、localeadm ユーティリティーによって ceu と nam 地域が適切にインストールされません。エラーメッセージは表示されません。

回避方法: CD イメージではなく、DVD Solaris イメージを使用してください。

一部のパッチで patchadd が失敗することがある (6460360)

root でログインしていない状態で、su コマンドを実行して root になった場合、一部のパッチで patchadd が失敗することがあります。

次のエラーメッセージが表示されます。

```
patch has not been installed
```

回避方法: root でのログインが無効になっている場合は、一時的に root でのログインを有効にして、root でログインしてください。パッチをインストールして、root でのログインを無効にします。

SPARC: 保存停止・復元再開サイクル中にパニックが発生すると、システムがハングアップすることがある (5062026)

保存停止・復元再開 (cpr) サイクル中にパニックが発生すると、システムがハングアップすることがあります。この問題は、XVR-1000 グラフィックスアクセラレータをインストールした Sun Blade™ 2000 ワークステーションで多く発生します。まれに、ほかの SPARC ベースのシステムでも、パニックが発生したときに同様なハングアップが発生することがあります。パニックが発生した時、コアダンプは保存されず、コンソールにプロンプトが表示されなくなります。この問題は、カーネルデバッガ (kadb) をアクティブにしていると発生しやすくなります。

回避方法: OBP バージョン 4.17 以降にアップグレードしてください。

SPARC: キーボードシーケンスを使用してシステムを停止すると、システムがパニックすることがある (5061679)

Stop-A や L1-A などのキーボードシーケンスを使用してシステムを停止しようとする、システムがパニックすることがあります。この場合、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
panic[cpu2]/thread=2a100337d40: pcisch2 (pci@9,700000):  
consistent dma sync timeout
```

回避方法: OpenBoot™ PROM に入るときには、キーボードシーケンスを使用しないでください。

x86: 新しいフレームワークを読み込んだ後のみ、Universal Serial Bus Architecture モジュラーデバッグが自動的に構成されない (4982529)

Universal Serial Bus Architecture (USB A) モジュラーデバッグ (mdb) コマンドは、いくつかの x86 システム上では自動的に構成されないことがあります。

回避方法: USB A の mdb コマンドにアクセスするには、mdb を開始した後で次のコマンドを実行して usba mdb モジュールを手動で読み込みます。

```
> ::load usba
```

usba mdb モジュールを読み込んだ後で、次のコマンドを実行すると、すべての USB コマンドのリストを取得できます。

```
> ::dcmds ! grep usb
```

x86: BIOS のブート時に F4 キーを押すと Service パーティションのブートに失敗する (4782757、5051157)

これは、Solaris 9 9/05 HW (x86 版) ソフトウェアがインストールされた、Service パーティションを保持する Sun LX50 のブート時に発生します。F4 ファンクションキーを押すことで Service パーティションのブートを選択できますが、オプションを選択すると画面が空白になります。システムは Service パーティションのブートに失敗します。

回避方法: BIOS ブート画面の表示時に、F4 キーを押さないでください。タイムアウト後に「Current Disk Partition Information」画面が表示されます。type=DIAGNOSTIC に対応する「Part#」列の番号を選択します。続いて Return キーを押します。Service パーティションがブートします。

Solaris WBEM Services 2.5 デーモンは com.sun アプリケーションプログラミングインタフェースプロバイダを検出できない (4619576)

Solaris WBEM Services 2.5 デーモンは、com.sun.wbem.provider インタフェースまたは com.sun.wbem.provider20 インタフェースに書き込まれたプロバイダを検出できません。これらのインタフェースに書き込まれたプロバイダ用に Solaris_ProviderPath インスタンスを作成した場合でも、Solaris WBEM Services 2.5 デーモンはプロバイダを検出しません。

回避方法: デーモンがこのようなプロバイダを検出できるようにするには、Solaris WBEM Services 2.5 デーモンをいったん停止してから再起動します。

```
# /etc/init.d/init.wbem stop
```

```
# /etc/init.d/init.wbem start
```

注-javax API を使用してプロバイダを作成した場合は、Solaris WBEM Services 2.5 デーモンを停止してから再起動する必要はありません。Solaris WBEM Services 2.5 デーモンが javax プロバイダを動的に認識します。

XML/HTTP トランスポートプロトコル環境では com.sun アプリケーションプログラミングインタフェースメソッド呼び出しが失敗することがある (4497393、4497399、4497406、4497411)

javax アプリケーションプログラミングインタフェースではなく、com.sun アプリケーションプログラミングインタフェースを使用して WBEM ソフトウェアを開発する場合、全面的にサポートされるのは、Common Information Model (CIM) リモートメソッド呼び出し (RMI) だけです。XML/HTTP など、他のプロトコルについては、com.sun アプリケーションプログラミングインタフェースで完全に機能するという保証はありません。

次の表に、RMI では正常に実行され、XML/HTTP では失敗する呼び出しの例を示します。

メソッド呼び出し	エラーメッセージ
<code>CIMClient.close()</code>	<code>NullPointerException</code>
<code>CIMClient.executeQuery()</code>	<code>CIM_ERR_QUERY_LANGUAGE_NOT_SUPPORTED</code>
<code>CIMClient.getInstance()</code>	<code>CIM_ERR_FAILED</code>
<code>CIMClient.invokeMethod()</code>	<code>XMLERROR: ClassCastException</code>

Solaris 管理コンソール (Management Console) の Mounts and Shares ツールでファイルシステムのマウント属性を変更できない (4466829)

Solaris 管理コンソール (Management Console) の Mounts and Shares ツールでは、ルート (/)、/usr、/var などのシステムに必須なファイルシステム上のマウントオプションを変更できません。

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- `mount` コマンドとともに `remount` オプションを使用する。

```
# mount -F file-system-type -o remount,additional-mount-options \
device-to-mount mount-point
```

注 --remount オプションを指定した `mount` コマンドで行なったマウント属性の変更は、一時的なものです。また、上記のコマンドの `additional-mount-options` の部分で指定しなかったマウントオプションのすべてがシステムによって指定されたデフォルト値を継承するわけではありません。詳細は、マニュアルページの `mount_ufs(1M)` を参照してください。

- `/etc/vfstab` ファイル内の適切なエントリを編集することによって、ファイルシステムのマウントプロパティを変更し、システムを再起動する。

[日本語環境のみ] Sun ONE Directory Server (旧 iPlanet Directory Server) の Sun ONE Console で GUI 上のレイアウトの問題がある (4644430)

Sun ONE Console の「証明書の管理」ダイアログ等でボタンが重なって表示されたり、欠けて表示されたりという問題が発生する場合があります。

回避方法: ウィンドウの幅を広げることでこの問題を回避できます。

admintool を使用してユーザーを作成する場合の注意事項

admintool 上でログインシェルを sh または ksh に指定してユーザーを作成した場合、ホームディレクトリに自動生成される .profile には以下の 1 行が記述されています。

```
stty istrip
```

この行は、入力文字を 7 ビットにストリップすることを意味していますので、このままの設定ではそのユーザーが端末上で日本語入力を行うと、文字が化けてしまいます。

回避方法: 上記の 1 行をコメントにするか、もしくは削除してください。

Solaris ボリュームマネージャの問題

Solaris 99/05 HW リリースの Solaris ボリュームマネージャの問題について説明します。

Solaris ボリュームマネージャの metattach コマンドが失敗することがある

シリンダ 0 から始まっていないルート (/) ファイルシステムをミラー化する場合には、接続されるすべてのサブミラーにシリンダ 0 から始まるものを含めることはできません。

シリンダ 0 から始まるサブミラーを元のサブミラーにあるミラーに接続しようとする、シリンダ 0 から始まるサブミラーは使用できず、次のエラーメッセージが表示されます。

```
can't attach labeled submirror to an unlabeled mirror
```

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- ルートファイルシステムとほかのサブミラー用のボリュームの両方がシリンダ 0 から始まるようにする。
- ルートファイルシステムとほかのサブミラー用のボリュームの両方がシリンダ 0 から始まらないようにする。

注 - JumpStart インストールのデフォルトでは、swap パーティションがシリンダ 0 から始まっていて、ルートファイルシステム / はディスク上の他の場所から始まっています。システム管理者は通常、スライス 0 をシリンダ 0 から始めようとしています。デフォルトの JumpStart インストールにおいてスライス 0 上にあり、シリンダ 0 から始まってないルートパーティションを、別のディスクのシリンダ 0 から始まるスライス 0 にミラー化しようとする問題が発生する場合があります。その結果、ミラーを追加しようとする際に、エラーメッセージが出力されます。Solaris インストールプログラムのデフォルト動作の詳細については、『Solaris 9 9/04 インストールガイド』を参照してください。

Solaris ボリュームマネージャに関するバグ情報

Solaris 9 9/05 HW リリースの Solaris ボリュームマネージャに関するバグ情報について説明します。

英語以外のロケールで **Solaris** ボリュームマネージャ `metassist` コマンドが失敗する (5067097)

英語以外のロケールでは、Solaris ボリュームマネージャ `metassist` コマンドでボリュームを生成できません。たとえば、LANG が `ja` (日本語) に設定されていると、以下のエラーメッセージが表示されます。

```
xmlEncodeEntitiesReentrant : input not UTF-8
Syntax of value for attribute read on mirror is not valid
Value "XXXXXX"(unknown word) for attribute read on mirror is not among the
enumerated set
Syntax of value for attribute write on mirror is not valid
Value "XXXXXX"(Parallel in Japanese) for attribute write on mirror is not
among the enumerated set
metassist: XXXXXX(invalid in Japanese) volume-config
```

回避方法: スーパーユーザーになって LANG 変数を LANG=C と設定します。

Bourne、Korn、および Bash シェルでは、以下のコマンドを使用します。

```
# export LANG=C
```

C シェルでは、以下のコマンドを使用します。

```
# setenv LANG C
```

Solaris ボリュームマネージャ RAID-1(ミラー)または RAID-5 ボリュームがソフトパーティション上に構築されたディスクセット内に作成されると、ホットスペアが正しく動作しない(4981358)

Solaris ボリュームマネージャ RAID-1(ミラー)または RAID-5 ボリュームをソフトパーティションの上に構築されたディスクセットに作成すると、ホットスペアデバイスが正しく動作しません。

次の問題が発生する可能性があります、ほかの問題が発生することもあります。

- ホットスペアデバイスがアクティブになっていない可能性がある。
- ホットスペアデバイスの状態が変わった、つまりデバイスが壊れている可能性がある。
- ホットスペアデバイスが使用されているが、不適切なドライブと再同期処理されている。
- 使用中のホットスペアデバイスに障害が生じたが、破壊された状態が報告されていない。

回避方法: この構成では、ディスクセットに Solaris ボリュームマネージャ RAID-1 または RAID-5 ボリュームを作成しないでください。

論理デバイス名がすでに存在しない場合、Solaris ボリュームマネージャの metadevadm コマンドが失敗する(4645721)

障害が発生したドライブは Solaris ボリュームマネージャソフトウェアで構成されたドライブに交換できません。交換するドライブは Solaris ボリュームマネージャソフトウェアにとって新しいドライブである必要があります。Sun StorEdge™ A5x00 上のあるスロットから別のスロットにディスクを物理的に移動した場合、metadevadm コマンドが失敗することがあります。この問題が発生するのは、スライスの論理デバイス名がすでに存在しないのに、ディスクのデバイス ID がメタデバイス複製に存在しているためです。次のメッセージが表示されます。

```
Unnamed device detected. Please run 'devfsadm && metadevadm -r to resolve.
```

注-このとき、新しい場所にあるディスクにはアクセスできますが、スライスにアクセスするためには、古い論理デバイス名を使用する必要があります。

回避方法: ドライブを物理的に元のスロットに戻してください。

Solaris ボリュームマネージャの `metarecover` コマンドが `metadb` 名前空間の更新に失敗する (4645776)

システムからディスクを物理的に取り外して交換して、`metarecover -p -d` コマンドを使用して適切なソフトパーティションの特定の情報をディスクに書き込むと、オープンエラーが発生します。このコマンドはメタデバイスデータベースの名前空間を更新せず、ディスクデバイス識別情報の変更を反映しません。この状態になると、ディスクの一番上に構築された各ソフトパーティションでオープンエラーが発生し、次のエラーメッセージが表示されます。

Open Error

回避方法: `metarecover` コマンドを実行してソフトパーティションを回復するのではなく、新しいディスクにソフトパーティションを作成してください。

注-ソフトパーティションがミラーまたは RAID5 の一部である場合、次の `metareplace` コマンドを `-e` オプションをつけずに使用して、古いソフトパーティションを新しいソフトパーティションに交換します。

```
# metareplace dx mirror または RAID5 old_soft_partition new_soft_partition
```

ネットワーク接続に関するバグ情報

Solaris 9.9/05 HW リリースのネットワーク接続に関するバグ情報について説明します。

SPARC: 組み込み `bge` インタフェースの「`per-instance`」(インスタンスごとの) 固有プロパティを `bge.conf` ファイルによって設定できない (6463210)

`bge.conf` ファイル内で「`per-instance`」パラメータを設定すると、システムパニックが発生します。次のエラーメッセージが表示されます。

```
ifconfig: trap type = 0x31
          addr=0x10
```

回避方法: ブート後に `ndd` を使って、`bge` ドライバの「`per-instance`」パラメータを設定してください。

フィルタリングが有効な2つのIPノード間に複数のトンネルを設定するとパケットが失われることがある(4152864)

2つのIPノード間に複数のIPトンネルを設定し、`ip_strict_dst_multihoming` または他のIPフィルタを有効にした場合、パケットが失われることがあります。

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- まず、2つのIPノード間にIPトンネルを1つだけ設定する。それから、`-addif` オプションを指定した `ifconfig` コマンドによって、トンネルにアドレスを追加する。
- 2つのIPノード間のトンネルでは `ip_strict_dst_multihoming` を有効にしない。

DOCUMENTATION CD に関する注意事項

Solaris 9/05 HW リリースの DOCUMENTATION CD に関する注意事項について説明します。

iPlanet Directory Server 5.1 の文書リンクが適切に機能しない

iPlanet™ Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese において、「DocHome」というタイトルのリンクが機能しません。また、異なるブック間のリンクが機能しません。これらのリンクを選択した場合、Not Found エラーがブラウザに表示されます。

回避方法: 当該システム上で iPlanet Directory Server 5.1 のドキュメント間を移動するには、<http://docs.sun.com> で iPlanet Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese ページに移動します。そこから表示したい文書へのリンクをクリックします。

他のドキュメントパッケージを削除するのに必要な SUNWsdocs パッケージ

SUNWsdocs パッケージが削除されている場合、他のドキュメントパッケージを削除しようとしても失敗します。この状況が発生するのは、SUNWsdocs が他のコレクションとともにインストールされ、ブラウザのエントリーポイントを提供しているためです。

回避方法: SUNWsdocs パッケージを削除している場合は、ドキュメントメディアから SUNWsdocs パッケージをもう一度インストールし、そのあとで他のドキュメントパッケージを削除してください。

DOCUMENTATION CD に関するバグ情報

Solaris 9 9/05 HW リリースの DOCUMENTATION CD に関するバグ情報について説明します。

ヨーロッパロケールの PDF 文書は C ロケールでしか利用できない (4674475)

Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアと UNIX ベースのほかのシステムにおいて、次のヨーロッパロケールでは、Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD 1 of 2 の PDF 文書の表示ができません。

- de (ドイツ語)
- es (スペイン語)
- fr (フランス語)
- it (イタリア語)
- sv (スウェーデン語)

この問題が発生するのは、Adobe Acrobat Reader の制限のためです。この問題の詳細については、<http://www.adobe.com:80/support/techdocs/294de.htm> にある Adobe Technote サイトを参照してください。

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアと UNIX ベースのほかのシステムでは、環境変数 LC_ALL を c に設定する。たとえば、C シェルでは、次のコマンドを端末ウィンドウに入力する。

```
% env LC_ALL=C acroread
```
- UNIX ベースではないシステムの場合は、Adobe Acrobat Reader 5.0 またはそれ以降のバージョンにアップグレードする。

Solaris 9 9/05 HW ドキュメントパッケージを削除すると、いくつかの Solaris 9 9/05 HW の文書コレクションが予期せずアンインストールされる (4641961)

次の場合、いくつかの Solaris 9 9/05 HW 文書コレクションが予期せずシステムから削除されます。

1. Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD の 1 of 2 と 2 of 2 を両方ともシステムにインストールした。

2. 1 の後、`prodreg` ユーティリティまたは Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD のインストールプログラムを使用して、あるドキュメントパッケージを削除した。

Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD の 1 of 2 と 2 of 2 には共通のコレクションが 3 つあります。このようなコレクションが含まれるパッケージを Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD の 1 of 2 または 2 of 2 のどちらかのインストールから削除すると、このパッケージはシステムから削除されます。

次の表に、予期せず削除されることがあるパッケージの一覧を示します。

表 2-2 両方の Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD に含まれる ドキュメントパッケージ

HTML パッケージ名	PDF パッケージ名	コレクション名
SUNWadm	SUNWpaadm	Solaris 9 System Administrator Collection
SUNWdev	SUNWpdev	Solaris 9 Software Developer Collection
SUNWids	SUNWpids	iPlanet Directory Server 5.1 Collection

回避方法: 次のいずれかを実行してください。

- アンインストールプロセスによって上記ドキュメントパッケージが予期せず削除されたが、これらのパッケージをシステムに置いておきたい場合、これらのパッケージを Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD の 1 of 2 または 2 of 2 からインストールし直す。
- この問題を回避するには、`prodreg` ユーティリティを使用せず、`pkgrm` ユーティリティを使用して、削除したいパッケージをシステムから削除する。

ローカライズに関する注意事項

Solaris 9 9/05 HW リリースのローカライズに関する注意事項について説明します。

ja_JP.eucJP ロケールに関する注意事項

Solaris 8 では、`ja_JP.eucJP` ロケールは `ja` ロケールと同等のロケールとして定義されていましたが、Solaris 9 からは「UI-OSF 日本語環境実装規約 Version 1.1」を基準に定義されています。よって、`ja` ロケールは従来の Solaris の `ja` ロケールと同じ動作が必要な場合、`ja_JP.eucJP` ロケールは他の UNIX ベンダーと同じ動作が必要な場合に使用するのが適しています。詳細は『日本語環境ユーザズガイド』を参照してください

エストニア語タイプ6キーボード、フランス語(カナダ)タイプ6キーボード、プログラマ向けポーランド語タイプ5キーボードのハードウェアがサポートされない

このリリース用に、エストニア語タイプ6キーボード、フランス語(カナダ)タイプ6キーボード、プログラマ向けポーランド語タイプ5キーボードの3つのソフトウェアサポートが追加されました。

エストニア、カナダ、およびポーランドのユーザーは、必要に応じて標準 U.S. キーボード配列を変更できます。このため、柔軟性の高いキーボード入力が可能になります。

現時点では、この3つのキーボードタイプに適合するハードウェアは入手できません。

回避方法: この新しいキーボードソフトウェアを有効利用するには、次のいずれかの方法で `/usr/openwin/share/etc/keytables/keytable.map` ファイルを編集します。

- エストニア語タイプ6キーボードの場合、次の変更を行います。

1. `/usr/openwin/share/etc/keytables/keytable.map` ファイル内の `US6.kt` エントリを `Estonia6.kt` に変更します。たとえば、次のように変更します。

6	0	Estonia6.kt
---	---	-------------

2. `/usr/openwin/lib/locale/iso8859-15/Compose` ファイルに次のエントリを追加します。

<scaron>	: "/xa8"	scaron
<scaron>	: "/xa6"	scaron
<scaron>	: "/270"	scaron
<scaron>	: "/264"	scaron

3. システムを再起動すると、変更内容が有効になります。

- `/usr/openwin/share/etc/keytables/keytable.map` ファイル内の `US6.kt` エントリを `Canada6.kt` に変更します。たとえば、次のように変更します。

1. `/usr/openwin/share/etc/keytables/keytable.map` ファイル内の `US6.kt` エントリを `Canada6.kt` に変更します。たとえば、次のように変更します。

6	0	Canada6.kt
---	---	------------

2. システムを再起動すると、変更内容が有効になります。

- 通常のポーランド語タイプ5キーボードを使用している場合、次の変更を行います。

1. /usr/openwin/share/etc/keytables/keytable.map ファイル内の Poland5.kt エントリを Poland5_pr.kt に変更します。たとえば、次のように変更します。

4	52	Poland5_pr.kt
---	----	---------------

注-ディップスイッチの付いたキーボードを使用している場合は、システムをリブートする前に、スイッチがポーランド語のキーテーブルエントリとして正しいバイナリ値(バイナリ 52)に設定されていることを確認してください。

2. U.S. タイプ 5 キーボードを使用している場合は、/usr/openwin/share/etc/keytables/keytable.map ファイル内の US5.kt エントリを Poland5_pr.kt に変更します。たとえば、次のように変更します。

4	33	Poland5_pr.kt
---	----	---------------

3. システムを再起動すると、変更内容が有効になります。

ローカライズに関するバグ情報

Solaris 9/05 HW リリースのローカライズに関するバグ情報について説明します。

ヨーロッパ言語の **UTF-8** ロケールで、ソート機能が正しく動作しない (4307314)

ヨーロッパ言語の UTF-8 ロケールでソート機能を実行すると、予期しない結果が発生します。

回避方法: フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、スウェーデン語の UTF-8 ロケールでソートを行う前に、LC_COLLATE 変数をその言語の ISO8859-1 ロケールに設定してください。

```
# echo $LC_COLLATE
> es_ES.UTF-8
# LC_COLLATE=es_ES.IS08859-1
# export LC_COLLATE
```

上記のように LC_COLLATE 変数を設定後、ソートを行なってください。

Netscape Communicator 4.78 (日本語版) に関するバグ情報

Netscape Communicator 4.78 (日本語版) に関する注意事項とバグ情報について説明します。

[日本語環境のみ] ページ情報ダイアログ内の日本語が正しく表示されない場合がある (4269123)

Netscape Communicator 4.78 を ja_JP.PCK ロケールまたは ja_JP.UTF-8 ロケールで使用する場合、ページ情報ダイアログ内の日本語の一部が文字化けしたり、ダイアログのタイトルが表示されないことがあります。ja ロケールで使用している場合は、この問題は起こりません。

[日本語環境のみ] CDE アプリケーションから日本語文字列をコピー & ペーストできない (バグ ID: 4197428)

キーボードの Copy キー、Paste キー、編集メニューの「コピー」、「ペースト」を使用して、端末エミュレータやテキストエディタなどの CDE アプリケーションから Netscape Communicator に日本語文字列をコピー & ペーストできません。

回避方法: マウスの左ボタンでコピーしたい文字をハイライト表示し、マウスの中ボタン (2 ボタンマウスの場合は右ボタン) を使って、Netscape Communicator 上にペーストしてください。

注- マウスボタンのマッピングを左利き用に設定している場合は、左ボタンと右ボタンの機能が逆になります。

Netscape Communicator 4.78 の使用許諾契約書の内容が途中で切れている (4170571)

Netscape Communicator 4.78 を最初に起動した際に、使用許諾契約書を表示するダイアログが表示されますが、契約書の内容が途中で切れています。

回避方法: 以下の場所にある license ファイルを直接参照してください。

```
/usr/dt/appconfig/netscape/lib/locale/<locale>/netscape/license
```

Netscape 7.0 に関する注意事項

Solaris 版の Netscape 7.0 は、使用中のデスクトップのロケールに対応する言語環境が自動的に選択されて起動します。たとえば、ja ロケールでデスクトップを使用している場合、Netscape は常に日本語環境で起動します。したがって、Netscape 7.0 の「表示」メニューの「言語/エリアを設定」メニューから言語を切り替えたり、「設定」ダイアログの「コンテンツバック」から言語またはエリアを切り替えたりしても、その操作は無効です。

また、「設定」ダイアログの「さらにダウンロード」および「表示」メニューの「追加ダウンロード」も機能しません。

Sun ONE Application Server のバグ

Solaris 9/05 HW リリースの Sun ONE Application Server のバグについて説明します。

デフォルトのブラウザが Sun ONE Application Server 7 と互換性がない (4741123)

Solaris 9/05 HW ソフトウェアのデフォルトブラウザで、Sun ONE Application Server 管理インタフェースを使用しようとする、次のエラーメッセージが表示されます。

Unsupported Browser: Netscape 4.78

It is recommended that you upgrade your browser to Netscape 4.79 or Netscape 6.2 (or later) to run the Sun One Application Server Administrative UI. Those who choose to continue and not upgrade may notice degraded performance or unexpected behavior.

注 - Solaris 9/05 HW リリースに含まれているバージョンの Sun ONE Application Server 管理インタフェースを実行している場合は、Netscape 4.79 または Netscape 7.0 ソフトウェアを使用してください。

回避方法: /usr/dt/bin/netscape の代わりに /usr/dt/appconfig/SUNWns/netscape を使用してください。

Sun ONE Directory Server (旧 iPlanet Directory Server) の問題

Sun ONE Directory Server に関する設定および問題について説明します。

設定の問題

インストール時、識別名 (DN、Distinguished Name) を入力するときには UTF-8 文字セットエンコーディングを使用します。ほかのエンコーディングはサポートされていません。インストール操作では、データはローカル文字セットエンコーディングから UTF-8 文字セットエンコーディングに変換されません。データをインポートするために使用される LDIF (Lightweight Directory Interchange Format) ファイルも UTF-8 文字セットエンコーディングを使用する必要があります。インポート操作では、データはローカル文字セットエンコーディングから UTF-8 文字セットエンコーディングに変換されません。

スキーマの問題

Sun Open Net Environment (Sun ONE) Directory Server (旧 iPlanet Directory Server) 5.1 が提供するスキーマは、RFC 2256 において `groupOfNames` オブジェクトクラスと `groupOfUniqueNames` オブジェクトクラスに指定されているスキーマとは異なります。Sun ONE Directory Server 5.1 が提供するスキーマでは、`member` 属性タイプと `uniquemember` 属性タイプはオプションで選択します。RFC 2256 では、これらのタイプにはオブジェクトクラスごとに少なくとも1つの値が存在する必要があると指定されています。

`aci` 属性は操作属性です。明示的に要求しない限り、検索結果は返されません。

レプリケーションの問題

現在、広域ネットワーク (WAN、Wide Area Network) 上のマルチマスターレプリケーションはサポートされません。

サーバープラグインの問題

Sun ONE Directory Server 5.1 はユーザー ID 番号 (UID) 一意性検査 (Uniqueness) プラグインを提供します。デフォルトでは、このプラグインは起動されません。特定の属性について属性の一意性を確実にするには、属性ごとに属性の一意性検査 (Attribute Uniqueness) プラグインの新しいインスタンスを作成します。属性の一意性検査 (Attribute Uniqueness) プラグインの詳細については、<http://docs.sun.com> の『iPlanet Directory Server 5.1 管理者ガイド』を参照してください。

現在、参照整合性検査 (Referential Integrity) プラグインはデフォルトでオフです。衝突解決ループを回避するために、参照整合性検査 (Referential Integrity) プラグインは、マルチマスターレプリケーション環境でも1つのマスターレプリカだけで有効にする必要があ

ります。連鎖要求を発行するサーバーで参照整合性検査 (Referential Integrity) プラグインを有効にする前に、パフォーマンス資源、時間、および完全性のニーズを解析します。完全性チェックはメモリー資源と CPU 資源を大量に消費する可能性があります。

サービスのロールとクラスの問題

nsRoleDN 属性はロールを定義するのに使用します。この属性は、ユーザーのエントリにおけるロールメンバーシップを評価するには使用しないでください。ロールメンバーシップを評価するときには、nsrole 属性を調べます。

インデックスの問題

複数のデータベースを持つ場合、仮想リストビュー (VLV、Virtual List View) インデックスは正しく機能しません。

Sun ONE Directory Server に関するバグ情報

Solaris 9/05 HW リリースの Sun ONE Directory Server に関するバグ情報について説明します。

Console を使用してユーザーを無効にできない (4521017)

Sun ONE Directory Server 5.1 Console を起動し、新しいユーザーまたはロールを「アクティブでない」として作成した場合、新たに作成したユーザーまたはロールがアクティブになります。Console を使用した場合、ユーザーとロールは「アクティブでない」として作成できません。

回避方法: ユーザーまたはロールを「アクティブでない」として作成するには、次の手順に従います。

1. 新しいユーザーまたはロールを作成します。
2. 新たに作成したユーザーまたはロールをダブルクリックします。あるいは新たに作成したユーザーまたはロールを選択します。「オブジェクト」メニューから「プロパティ」項目をクリックします。
3. 「アカウント」タブをクリックします。
4. 「無効」ボタンをクリックします。
5. 「OK」をクリックします。

新たに作成したユーザーまたはロールが無効になります。

ルート接尾辞に空白文字が含まれるディレクトリは構成できない (4526501)

Sun ONE Directory Server 5.1 構成時にユーザーが空白文字が含まれるベース DN を指定した場合 (たとえば、「`o=U.S. Government, C=US`」)、結果として DN は切り詰められます (たとえば、「`Government, C=US`」)。構成時に DN を指定するときには、空白文字を使用せずに入力する必要があります (たとえば、「`o=U.S.%20Government, C=US`」)。

回避方法: ベース DN エントリを修正するには、次の手順に従います。

1. Console の「サーバとアプリケーション」タブの左側にあるナビゲーション区画において、一番上のディレクトリエントリを選択します。
2. User ディレクトリサブツリーフィールドにおいて、接尾辞を編集します。
3. 「OK」をクリックします。

ユーザーパスワードを変更した後もアカウントロックアウトが有効なまま残る (4527623)

アカウントロックアウトが有効である場合、ユーザーパスワードを変更しても、アカウントロックアウトは有効なまま残ります。

回避方法: ロックアウト属性 `accountUnlockTime`、`passwordRetryCount`、および `retryCountResetTime` をリセットして、アカウントのロックを解除します。

インストール直後に実行された Console バックアップが失敗する (4531022)

Sun ONE Directory Server 5.1 をインストールして、コンソールを起動し、ディレクトリを LDIF ファイルで初期化し、サーバーをバックアップした場合、Console はバックアップが成功したと報告しますが、実際にはバックアップは失敗しています。

回避方法: データベースを初期化した後、Console から次の作業を行います。

1. サーバーを停止します。
2. サーバーを起動し直します。
3. バックアップを実行します。

DN 属性を正規化するとき、サーバーが大文字と小文字を区別する構文を無視する (4630941、4933500)

LDAP ネーミングサービスを使用して、大文字小文字の区別以外は同じである自動マウントパス名を複数作成することはできません。大文字と小文字の区別以外は同じ名前のエントリがすでに存在する場合、ネーミング属性が大文字と小文字を区別する構文で定義されるエントリは作成できません (ディレクトリサーバーが許可しません)。

たとえば、`/home/foo` と `/home/Foo` の両方のパスを作成することはできません。

エントリ `attr=foo,dc=mycompany,dc=com` が存在する場合、エントリ `attr=Foo,dc=mycompany,dc=com` は作成できません (ディレクトリサーバーが許可しません)。つまり、LDAP ネーミングサービスを使用する場合、自動マウントパス名は大文字と小文字の区別に関わらず一意である必要があります。

回避方法: ありません。

Export、Backup、Restore の実行中または索引の作成中にサーバーを停止すると、そのサーバーがクラッシュする (4678334)

Export、Backup、Restore の実行中、または索引の作成中にサーバーを停止すると、そのサーバーがクラッシュします。

回避方法: 上記操作中にはサーバーを停止しないでください。

レプリケーションが自己署名証明書を使用できない (4679442)

ユーザーが証明書ベースの認証による SSL レプリケーションを構成しようとするとき、次のいずれかの場合、レプリケーションは機能しません。

- サプライヤの証明書が自己署名である場合
- サプライヤの証明書が SSL ハンドシェイク時にクライアントのロールを果たせず、SSL サーバー証明書としてのロールしか果たせない場合

回避方法: ありません。

セキュリティに関する注意事項

Solaris 9/05 HW リリースのセキュリティに関する注意事項について説明します。

pam_ldap を有効にしておく、パスワードなしのログインが失敗する

LDAP用のアカウント管理PAMモジュール (`pam_ldap`) を有効にした後、ユーザーはシステムにログインするときにパスワードを指定する必要があります。結果として、パスワードなしのログインは失敗します。これには、次のようなツールを使用したログインが含まれます。

- リモートシェル (`rsh`)
- リモートログイン (`rlogin`)
- セキュアシェル (`ssh`)

回避方法: ありません。

その他

バンドルされたフリーウェアのソフトウェアが国際化対応でない

いくつかのフリーウェアのソフトウェアが Solaris SOFTWARE CD にバンドルされていますが、多くのものは国際化および各国語対応されていません。

サポート中止に関する情報

この章では、製品のサポート中止情報について説明します。

Solaris 9 でサポートを中止した製品

この節では、Solaris 9 オペレーティングシステムに適用される、ソフトウェアのサポート中止情報について説明します。

adb マップ修飾子とウォッチポイント構文

adb ユーティリティは、このリリースにおいて、新しい mdb ユーティリティへのリンクとして実装されています。

mdb(1) のマニュアルページでは、adb(1) との互換モードなど、新しいデバッグ機能について説明されています。この互換モードにおいても、adb と mdb の間には違いがあります。たとえば、次のような違いがあります。

- mdb では、一部のサブコマンドのテキスト出力形式が異なります。マクロファイルの形式は adb と同じ規則に従っていますが、他のサブコマンドの出力に依存するスク립トは、変更しなければならない場合があります。
- ウォッチポイントの長さを指定する構文が、mdb と adb とで異なります。adb のウォッチポイントコマンド `:w`、`:a`、`:p` では、整数の長さをバイト単位で指定してコロンとコマンド文字の間に挿入することができます。mdb(1) では、繰り返し回数として、数値を初期アドレスの後に指定する必要があります。
 - adb コマンドの場合
`123:456w`
 - mdb コマンドの場合
`123,456:w`
- mdb では、`/m`、`/*m`、`?m`、`?*m` 書式指示子はサポートされていないため認識されません。

AnswerBook2 文書サーバー

AnswerBook2™ 文書サーバーは、このリリースには含まれていません。従来の AnswerBook2 文書サーバーは Solaris 9 ソフトウェアで使用できます。Solaris のマニュアルは Solaris DOCUMENTATION CD によってオンライン形式でご利用いただけます。また、<http://docs.sun.com> で、Solaris の全マニュアルをいつでもご利用いただけます。

aspppd ユーティリティ

aspppd ユーティリティは、このリリースではサポートがされません。Solaris 9 ソフトウェアに含まれている Solaris PPP 4.0 の `pppd(1M)` を使用してください。

ATOK8 日本語入力方式

ATOK8 日本語入力方式は、このリリースでサポートが中止されました。Solaris 9 ソフトウェアに組み込まれている ATOK12 日本語入力方式によって、いくつかの拡張機能とともに、ATOK8 と同様の機能が得られます。

crash ユーティリティ

crash ユーティリティは、このリリースではサポートされません。Solaris 9 ソフトウェアでは、crash ユーティリティに近い機能が `mdb(1)` ユーティリティで提供されます。`mdb` ユーティリティもシステムがクラッシュしたときのダンプファイルを調べます。crash ユーティリティのインタフェースは、Solaris ソフトウェアの実装に関係のない細部の実装(スロットなど)の周辺に構成されてきました。

crash から `mdb` への移行については、『Solaris モジューラデバグ』で説明されています。

Solaris `ipcs` コマンドのシステムクラッシュ時のダンプ用オプション

システムクラッシュ時のダンプに、コマンド行で `-c` オプションと `-N` オプションを指定して `ipcs(1)` コマンドを適用する機能は、このリリースではサポートされません。これと同等の機能は、`mdb(1)::ipcs` デバグコマンドで提供されます。

cs00 日本語入力方式

cs00 日本語入力方式は、Solaris 9 ソフトウェアでのサポートが中止されました。xci インタフェースなどの関連インタフェース、Japanese Feature Package (JFP) の `libmle API`、および `mle` コマンドも Solaris 9 ソフトウェアではサポートされません。

旧リリースから Solaris 9 ソフトウェアにアップグレードすると、従来の公共ユーザー辞書 /var/mle/ja/cs00/cs00_u.dic が削除されます。

Solaris 9 ソフトウェアでサポートされる日本語入力方式は、ATOK12 と Wnn6 の 2 種類です。ATOK12 と Wnn6 の入力方式に関しては、『国際化対応言語環境の利用ガイド』を参照してください。

x86: devconfig コマンド

devconfig コマンドは、このリリースではサポートが中止されました。

x86: デバイスとドライバソフトウェアのサポート

次の表に、このリリースでサポートが中止されたデバイスとドライバソフトウェアを示します。

表 3-1 デバイスとドライバソフトウェアのサポート

物理デバイス名	ドライバ名	カードの種類
Mylex/Buslogic FlashPoint Ultra PCI SCSI	flashpt	SCSI HBA
Madge Token Ring Smart 16/4, Madge Token Ring Smart 16/4 PCI BM Mk2, Madge Token Ring Smart 16/4 PCI BM Mk1, および Madge Token Ring PCI Presto	mtok	ネットワーク
Compaq Integrated NetFlex-3 10/100 T PCI, Compaq NetFlex-3/P, Compaq NetFlex-3 DualPort 10/100 TX PCI, Compaq Netelligent 10 T PCI, および Compaq Netelligent 10/100 TX PCI	cnft	ネットワーク

アーリーアクセス (EA) ディレクトリ

Solaris 9 ソフトウェアでは、EA ディレクトリの名前は ExtraValue に変更されました。

ESDI ドライブ用 Emulex MD21 ディスクコントローラ

ESDI ドライブ用の MD21 ディスクコントローラは、Solaris 9 ソフトウェアでサポートが中止されました。

enable_mixed_bcp チューニング可能パラメタ

enable_mixed_bcp は、このサポートが中止されました。Solaris 9 以前のリリースでは、`/etc/system` の変数 `enable_mixed_bcp` を `0` に設定すると、部分的に静的にリンクされた、SunOS™ 4.0 と互換性のある実行可能ファイルの動的なリンクを無効にすることができます。設定がない場合、システムは、これらの実行可能ファイルに対して動的リンクを使用します。Solaris 9 ソフトウェアでは動的リンクが常に使用され、enable_mixed_bcp チューニング可能パラメタがシステムから削除されました。この変更による、SunOS 4.0 と互換性のある実行可能ファイルに対する、バイナリ互換性への影響はありません。

x86: Intel 486 システム

Intel 486 システムにおける Solaris ソフトウェアのサポートは、このリリースで中止されました。

japanese ロケール

Solaris 1.x リリースからの移行のために ja (EUC) ロケールの別名として提供されてきた japanese ロケールは提供されなくなりました。ja または ja_JP.eucJP ロケールを使用してください。ただし、BCP (JLE) アプリケーションは引き続きサポートされます。

Java Software Developer's Kit (SDK) 1.2.2

Java™ SDK バージョン 1.2.2 は、Solaris 9 ソフトウェアには組み込まれていません。ほぼ同等の機能が Java 2 Standard Edition バージョン 1.4 およびその互換バージョンでサポートされています。JDK および JRE (Java Runtime Environment) の新旧のバージョンは、<http://java.sun.com> からダウンロードできます。

JDK 1.1.8 および JRE 1.1.8

JDK version 1.1.8 および JRE version 1.1.8 は、このリリースでサポートが中止されました。その代わりに、ほぼ同等の機能が Java 2 Standard Edition version 1.4 およびその互換バージョンでサポートされています。JDK および JRE の新旧を含むすべてのバージョンは、<http://java.sun.com> からダウンロードできます。

libjapanese.a

日本語専用ライブラリ libjapanese.a およびそれに関連する次のヘッダーファイルは、提供されなくなりました。

- `/usr/include/jcode.h`

- /usr/include/ibmjcode.h
- /usr/include/jctype.h
- /usr/include/ja/xctype.h
- /usr/include/wstring.h

libjapanese.a を使用しているアプリケーションプログラムは、XPG4.2 などの標準関数を使用して書き換えることをお勧めします。

また、Solaris 7 および Solaris 8 で提供していた、libjapanese.a を使用しているアプリケーションプログラムのソース互換性を保つための代替関数およびマクロのソースファイル (SUNWjlibj) も、提供されなくなりました。

Kerberos バージョン 4 クライアント

Kerberos バージョン 4 クライアントは Solaris 8 リリースから削除されました。このクライアントには、kdestroy、kerbd、kinit、klist、ksrvtgt、mount_nfs、および share コマンドの Kerberos バージョン 4 サポートが含まれています。Kerberos バージョン 4 クライアントには kerberos (3KRB) ライブラリ、および ONC RPC プログラミング API (kerberos_rpc (3KRB)) のサポートも含まれています。

詳細については、kdestroy(1)、kinit(1)、klist(1)、mount_nfs(1M)、および share(1M) のマニュアルページを参照してください。

OpenWindows 開発ツールキット

OpenWindows™ XView™ および OLIT ツールキットでの開発は、このリリースでサポートが中止されました。開発者は Motif ツールキットへの移行を検討してください。OpenWindows XView および OLIT ツールキットを使用して開発されたアプリケーションは、Solaris 9 ソフトウェアでも実行できます。

OpenWindows ユーザー環境

OpenWindows 環境は、このリリースでサポートが中止されました。共通デスクトップ環境 (CDE) が Solaris 9 ソフトウェアのデフォルトのデスクトップ環境です。OpenWindows XView および OLIT ツールキットを使用するアプリケーションは、Solaris 9 ソフトウェアの CDE でも実行できます。

プライオリティページングおよび関連カーネル調整可能パラメタ(priority_paging/cachefree)

priority_paging および cachefree という調整可能なパラメタは、Solaris 9 リリースではサポートされません。これらのパラメタの代わりに、拡張ファイルシステム キャッシュアーキテクチャがプライオリティページングと同様のページングポリシーを実装します。これは常時、使用可能です。/etc/system ファイルにこれらのパラメタを設定しようとする、ブート時に次のような警告が出力されます。

```
sorry, variable 'priority_paging' is not defined in the 'kernel'  
sorry, variable 'cachefree' is not defined in the 'kernel'
```

Solaris 9 リリースに移行するか、または pkgadd で SUNWcsr パッケージを追加し、/etc/system ファイルに priority_paging パラメタまたは cachefree パラメタが含まれている場合、次のように処理されます。

1. /etc/system ファイルに priority_paging パラメタまたは cachefree パラメタが設定されていると、次のメッセージが表示されます。

NOTE: /etc/system は、調整可能パラメタの参照が含まれていたため変更されました。
変更されたファイルを確認してください。

2. /etc/system ファイルの、priority_paging または cachefree を設定する行の前に、コメントが挿入されます。たとえば、priority_paging が 1 に設定されている場合、その行が以下の行に置き換えられます。

```
* NOTE: As of Solaris 9, priority paging is unnecessary and  
* has been removed. Since references to priority paging-related tunables  
* will now result in boot-time warnings, the assignment below has been  
* commented out. For more details, see the Solaris 9 Release Notes, or  
* the "Solaris Tunable Parameters Reference Manual".
```

```
* set priority_paging=1
```

s5fs ファイルシステム

s5fs ファイルシステムは、このリリースでサポートが中止されました。s5fs ファイルシステムは、Interactive UNIX アプリケーションのインストールをサポートするためのものでした。しかし Solaris ソフトウェアは、Interactive UNIX アプリケーションをサポートしていません。

sdtudc_extract_ps

sdtudc_extract_ps が廃止され、その機能は sdtudc_extract に統合されました。

sendmail ユーティリティ機能

sendmail ユーティリティの一部は、このリリースにサポートされません。サポートが中止される機能は、標準機能に対して Sun が独自に修正を加えた部分です。たとえば、V1/Sun 構成ファイル用の特殊な構文や意味解釈、リモートモード機能、Auto Rebuild Aliases オプション、Sun 固有の 3 つの逆別名機能などがこれに当たります。

これらの機能および移行方法の詳細については、<http://www.sendmail.org/vendor/sun/solaris9.html> を参照してください。

Solaris Maintenance Updates

Solaris Maintenance Update (MU) は、それぞれの Solaris リリースといっしょに提供される個別のパッチをまとめたものですが、このリリースでサポートが中止されました。

SUNwebnfs パッケージ

SUNwebnfs パッケージは、Solaris ソフトウェアのメディアには含まれません。

ライブラリと関連マニュアルについては、<http://www.sun.com/webnfs> からダウンロードできます。

sun4d ベースのサーバー

sun4d アーキテクチャベースの以下のサーバーは、このリリースでサポートが中止されました。

- SPARCserver™ 1000
- SPARCcenter 2000

sun4d アーキテクチャに依存するハードウェアオプションは、このリリースでサポートが中止されました。

SUNwrdm パッケージ

Solaris SOFTWARE CD に含まれており、Solaris ソフトウェアをインストールする前に必要な情報やリリース直前に明らかになった問題点が記載されていましたが、このパッケージはこのリリースでは提供されません。

最新情報については、Solaris Documentation CD の『ご使用にあたって』、印刷物の『ご使用にあたって』、または <http://docs.sun.com> にある最新の『ご使用にあたって』を参照してください。

将来のリリースでサポートを中止する予定の製品

この節では、Solaris オペレーティングシステムの将来のリリースに適用される、ソフトウェアのサポート中止情報について説明します。

注- これらの機能の一部は、Solaris 10 OS ソフトウェアからすでに削除されています。

add_drv システムコマンドの *device_driver* へのパス名指定サポート

add_drv コマンドでは、*device_driver* パラメータにパス名を指定できます。この機能は、Solaris ソフトウェアの将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

Solaris 9 ソフトウェアではパス名を指定すると、次の警告メッセージが STDERR に書き込まれます。

```
Warning: pathname support will be discontinued in future
releases of add_drv.
```

パス名を指定したことにより生成される警告メッセージは、インストール実行時に `install_log` ファイルに書き込まれるようになります。

詳細については、`add_drv(1M)` のマニュアルページを参照してください。

AdminTool コマンド

`swmtool` を含む AdminTool (`admintool`) は、将来のリリースでサポートが中止される予定です。

アジアの短縮 dtlogin 名

次にリストするアジアの短縮ロケール名は、将来のリリースでは `dtlogin` 言語リストに含まれない可能性があります。

- zh
- zh.GBK
- zh.UTF-8
- ko
- ko.UTF-8
- zh_TW

Solaris 8、Solaris 9 および Solaris 9 9/05 HW リリースでは、下記を含む新しい ISO 標準ロケール名を提供しています。

- zh_CN.EUC
- zh_CN.GBK
- zh_CN.UTF-8
- ko_KR.EUC
- ko_KR.UTF-8
- zh_TW.EUC

asystem() インタフェースおよび system() インタフェース

libadm(3Lib) からエクスポートされる `asystem()` インタフェースおよび `system()` インタフェースは、将来のリリースではサポートが中止される可能性があります。これら2つは旧式のインタフェースです。アプリケーション開発者は、代わりに `sysconf(3C)` ライブラリ関数を使用してください。

詳細については、`sysconf(3C)` のマニュアルページを参照してください。

監査デーモンインタフェース

Solaris 監査デーモンが使用する次のインタフェースは、将来のリリースではサポートが中止される可能性があります。

- `auditsvc(2)`
- `audit-data(4)`

基本セキュリティモジュールのデバイス割り当てインタフェース

基本セキュリティモジュールのデバイス割り当てメカニズムに含まれる次のコンポーネントは、Solaris ソフトウェアの将来のリリースには含まれない可能性があります。

- `mkdevalloc(1M)`
- `mkdevmaps(1M)`
- `/etc/security/dev`

廃止されるデバイスドライバインタフェース (DDI)

将来のリリースでは、一部のデバイスドライバインタフェース (Device Driver Interfaces、DDI) がサポートされなくなります。

次の表は、好ましい代替 DDI インターフェースのサポートにともなって、今後廃止されるかもしれない DDI インターフェースを示します。

廃止されるインタフェース	好ましいインタフェース
mmap	devmap
identify	set to nulldev を指定する
copyin	ddi_copyin
copyout	ddi_copyout
ddi_dma_addr_setup	ddi_dma_addr_bind_handle
ddi_dma_buf_setup(9F)	ddi_dma_buf_bind_handle
ddi_dma_curwin	ddi_dma_getwin
ddi_dma_free	ddi_dma_free_handle
ddi_dma_htoc	ddi_dma_addr[buf]_bind-handle
ddi_dma_movwin	ddi_dma_getwin
ddi_dma_nextseg	ddi_dma_nextcookie
ddi_dma_nextwin	ddi_dma_nextcookie
ddi_dma_segtocookie	ddi_dma_nextcookie
ddi_dma_setup	ddi_dma *_handle
ddi_dmae_getlim	ddi_dmae_getattr
ddi_getimminor	getminor
ddi_getlongprop	ddi_prop_lookup
ddi_getlongprop_buf	ddi_prop_lookup
ddi_getprop	ddi_prop_get_in
ddi_getproplen	ddi_prop_lookup
ddi_iopb_alloc	ddi_dma_mem_alloc
ddi_iopb_free	ddi_dma_mem_free
ddi_mem_alloc	ddi_dma_mem_alloc
ddi_mem_free	ddi_dma_mem_free
ddi_map_regs	ddi_regs_map_setup
ddi_mapdev	devmap_setup
ddi_mapdev_intercept	devmap_load
ddi_mapdev_nointercept	devmap_unload

廃止されるインタフェース	好ましいインタフェース
<code>ddi_prop_create</code>	<code>ddi_prop_update</code>
<code>ddi_prop_modify</code>	<code>ddi_prop_update</code>
<code>ddi_segmap</code>	<code>devmap</code> を参照
<code>ddi_segmap_setup</code>	<code>devmap_setup</code>
<code>ddi_unmap_regs</code>	<code>ddi_regs_map_free</code>
<code>free_pktiopb</code>	<code>scsi_free_consistent_buf</code>
<code>get_pktiopb</code>	<code>scsi_alloc_consistent_buf</code>
<code>makecom_g0</code>	<code>scsi_setup_cdb</code>
<code>makecom_g0_s</code>	<code>scsi_setup_cdb</code>
<code>makecom_g1</code>	<code>scsi_setup_cdb</code>
<code>makecom_g5</code>	<code>scsi_setup_cdb</code>
<code>scsi_dmafree</code>	<code>scsi_destroy_pkt</code>
<code>scsi_dmaget</code>	<code>scsi_init_pkt</code>
<code>scsi_pktalloc</code>	<code>scsi_init_pkt</code>
<code>scsi_pktfree</code>	<code>scsi_destroy_pkt</code>
<code>scsi_realloc</code>	<code>scsi_init_pkt</code>
<code>scsi_resfree</code>	<code>scsi_destroy_pkt</code>
<code>scsi_slave</code>	<code>scsi_probe</code>
<code>scsi_unslave</code>	<code>scsi_unprobe</code>
<code>ddi_peek{c,s,l,d}</code>	<code>ddi_peek{8,16,32,64}</code>
<code>ddi_poke{c,s,l,d}</code>	<code>ddi_poke{8,16,32,64}</code>
<code>in{b,w,l}</code>	<code>ddi_get{8,16,32}</code>
<code>out{b,w,l}</code>	<code>ddi_put{8,16,32}</code>
<code>repins{b,w,l}</code>	<code>ddi_rep_get{8,16,32}</code>
<code>repouts{b,w,l}</code>	<code>ddi_rep_put{8,16,32}</code>
<code>GLOBAL_DEV</code>	<code>0</code> を指定
<code>NODEBOUND_DEV</code>	<code>0</code> を指定
<code>NODESPECIFIC_DEV</code>	<code>0</code> を指定

廃止されるインタフェース	好ましいインタフェース
ENUMERATED_DEV	0 を指定
DDI_IDENTIFIED	不要
DDI_NOTIDENTIFIED	不要

power.conf の Device Management エントリ

power.conf の Device Management エントリは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。Solaris 9 ソフトウェアでは、Automatic Device Power Management エントリによって同様の機能が得られます。

詳細は、power.conf (4) のマニュアルページを参照してください。

デバイスとドライバソフトウェアのサポート

次の表に、将来のリリースでサポートが中止される予定のデバイスとドライバソフトウェアを示します。

表 3-2 デバイスとドライバソフトウェア

物理デバイス名	ドライバ名	カードの種類
AMI MegaRAID host bus adapter, first generation	mega	SCSI RAID
Compaq 53C8x5 PCI SCSI および Compaq 53C876 PCI SCSI	cpqncr	SCSI HBA
Compaq SMART-2/P Array Controller および Compaq SMART-2SL Array Controller	smartii	SCSI RAID コントローラ

Alt キーおよびメタキーを使用した Euro 文字入力シーケンス

将来のリリースでは、Solaris UTF-8 (Unicode) ロケールで、Euro 文字の次の非標準入力キーシーケンスはサポートが中止される可能性があります。

- Alt-E
- Alt-4
- Alt-5
- Meta-E
- Meta-4
- Meta-5

注- キーシーケンスを表わす場合、ハイフンはキーを同時に押すことを示します。+ 記号は、キーを連続して押すことを示します。

推奨される標準の入力キーシーケンスは、次のとおりです。

- Alt Graph-E
- Compose+C+=

キーボードに Alt Graph キーまたは Compose キーがない場合は、次のキーシーケンスを使用します。

- Ctrl-Shift-T+C+=

フェデレーテッドネーミングサービス XFN のライブラリとコマンド

X/Open XFN 標準に基づくフェデレーテッドネーミングサービス (FNS) は、将来のリリースでサポートを中止する予定です。

fork() 関数

-lpthread ライブラリにリンクされていない場合の fork() の動作は将来のリリースで変更される可能性があります。この動作の変更により、Solaris スレッドは POSIX (Portable Operating System Interface) スレッドに一致します。

fork() 関数は、fork1() と同じ動作をするように再定義される可能性があります。その結果、fork() は子プロセスに呼び出しスレッドだけを複製します。この再定義の結果は、どちらかが -lpthread とリンクした場合の現在の fork1() および fork() の動作と一致します。

fork() の replicate-all の動作を必要とするアプリケーションのサポートは、引き続き提供されません。

汎用 LAN ドライバのバージョン 0 インタフェース

汎用 LAN ドライバのバージョン 0 インタフェースは、将来のリリースでサポートされなくなる可能性があります。バージョン 0 インタフェースについては、『Solaris 2.1 Device Driver Writer's Guide for x86』を参照してください。これからのドライバには、『Writing Device Drivers』に記載されているバージョン 2 インタフェースを使用する必要があります。

GMT zoneinfo タイムゾーン

`/usr/share/lib/zoneinfo/GMT[+-]*` タイムゾーンは、将来のリリースでサポートが中止される予定です。これらのタイムゾーンのファイルは、`/usr/share/lib/zoneinfo` ディレクトリから削除されます。削除されたファイルの代わりに、対応する `Etc/GMT[-+]*` ファイルを使用してください。

詳細については、`zoneinfo(4)` および `environ(5)` のマニュアルページを参照してください。

SPARC: グラフィックドライバのサポート

以下のグラフィックデバイスのソフトウェアサポートが、将来のリリースで提供されなくなる可能性があります。

デバイス	ドライバ
MG1, MG2	bwtwo
CG3	cgthree
SX/CG14	sx, cgfourteen
TC	cgeight
TCX	tcx

Java Runtime Environment 1.2.2

Java Runtime Environment (JRE) のバージョン 1.2.2 は、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。ほぼ同等の機能が Java 2 Standard Edition バージョン 1.4 およびその互換バージョンでサポートされています。JRE の新旧のバージョンは、<http://java.sun.com> からダウンロードできます。

Kodak Color Management System

Kodak Color Management System (KCMS™) は、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

Korean CID フォント

Korean CID フォントは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。Solaris ソフトウェアには、Korean CID フォントに代わるものとして Korean TrueType フォントが組み込まれているので、そちらを使用してください。

Lance Ethernet Drivers

le ネットワークドライバは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

libXinput ライブラリ

libXinput.so.0 ライブラリは、Solaris ソフトウェアの将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。libXinput.so.0 ライブラリには、Solaris 2.1 および Solaris 2.2 の標準 X 入力 API を使用して構築された X11R4 アプリケーションとの下位互換性が提供されています。X11 標準 X 入力拡張ライブラリである libXi は、Solaris 2.3 で統合されました。

libXinput API に依存するすべてのアプリケーションは、将来の互換性および標準化のために、libXi 共有ライブラリを使用して構築する必要があります。

LDAP クライアントライブラリ

LDAP (軽量ディレクトリアクセスプロトコル、Lightweight Directory Access Protocol) クライアントライブラリ libldap.so.3 は、将来のリリースでサポートが中止される予定です。このライブラリの新しいバージョンである libldap.so.5 は、IETF (Internet Engineering Task Force) の ldap-c-api ドラフトの draft-ietf-ldapext-ldap-c-api-05.txt 版に準拠しています。

廃止される軽量プロセス (LWP) インタフェース

次の軽量プロセス (LWP) インタフェースは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

- `_lwp_create`
- `_lwp_detach`
- `_lwp_exit`
- `_lwp_getprivate`
- `_lwp_makecontext`
- `_lwp_setprivate`
- `_lwp_wait`

これらのインタフェースは、デフォルトでマルチスレッドが有効になる一般モデルに含まれていません。これらのインタフェースは、libthread をリンクしていないアプリケーション内で使用する場合にかぎり、期待どおり機能していました。

詳細については、`_lwp_create(2)`、`_lwp_detach(2)`、`_lwp_exit(2)`、`_lwp_getprivate(2)`、`_lwp_makecontext(2)`、`_lwp_setprivate(2)`、および `_lwp_wait(2)` のマニュアルページを参照してください。

匿名インタフェースグループ機能

`ndd /dev/ip ip_enable_group_ifs` で有効になる匿名インタフェースグループ機能は、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。同様の働きを持つ、サポート対象の IP ネットワークマルチパス機能を使用してください。IP マルチパスグループは、`ifconfig(1M)` コマンドのグループキーワードを使って作成できます。

詳細は、`ndd(1M)` および `ifconfig(1M)` のマニュアルページを参照してください。

netstat の -k オプション

`netstat` の `-k` というサポートされていないオプション (実行中の OS インスタンス上のすべての名前付きカーネル統計情報について報告するオプション) は、将来のリリースで削除される可能性があります。代わりに、サポートされている `kstat(1M)` コマンド (同じ機能を提供している) を使用してください。 `kstat` コマンドは、Solaris 8 ソフトウェアで導入されたものです。

詳細は、`kstat(1M)` のマニュアルページを参照してください。

NIS+ (ネットワーク情報サービスプラス) のネームサービスの種類

NIS+ は、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。Solaris 9 ソフトウェアには、NIS+ から LDAP への移行ツールが用意されています。詳細は、<http://www.sun.com/directory/nisplus/transition.html> を参照してください。

pam_unix モジュール

`pam_unix` モジュールは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。`pam_authtok_check`、`pam_authtok_get`、`pam_authtok_store`、`pam_dhkeys`、`pam_passwd_auth`、`pam_unix_account`、`pam_unix_auth`、および `pam_unix_session` が同様の機能を提供します。

詳細については、`pam_unix(5)`、`pam_authtok_check(5)`、`pam_authtok_get(5)`、`pam_authtok_store(5)`、`pam_dhkeys(5)`、`pam_passwd_auth(5)`、`pam_unix_account(5)`、`pam_unix_auth(5)`、および `pam_unix_session(5)` のマニュアルページを参照してください。

Perl バージョン 5.005_03

将来 Perl バージョン 5.005_03 は、サポートが中止される可能性があります。Solaris 9 リリースでは、Perl のデフォルトバージョンが前のバージョン (5.005_03) とバイナリ互換でないバージョンに変更されました (ただし、現在はまだ互換可能です)。サイトで独自に

インストールしたモジュールは、新しいバージョンに対応させるために、再構築および再インストールする必要があります。バージョン 5.005_03 を使用する必要があるスクリプトは、デフォルトバージョン (/bin/perl、/usr/bin/perl または /usr/perl5/bin/perl) の代わりに、バージョン 5.005_03 のインタプリタ (/usr/perl5/5.005_03/bin/perl) を明示的に使用するように変更してください。

電源管理入出力制御コマンド

次の電源管理入出力制御コマンド (ioctl_s) は、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

- PM_DISABLE_AUTOPM
- PM_REENABLE_AUTOPM
- PM_SET_CUR_PWR
- PM_GET_CUR_PWR
- PM_GET_NORM_PWR

Solaris 9/05 HW リリースでは、次の ioctl_s が代わりにサポートされています。

- PM_DIRECT_PM
- PM_RELEASE_DIRECT_PM
- PM_GET_CURRENT_POWER
- PM_SET_CURRENT_POWER
- PM_GET_FULL_POWER

ioctl_s の詳細については、ioctl(2) のマニュアルページを参照してください。

64 ビット SPARC: libc の ptrace インタフェース

libc に含まれていた 64 ビット版の ptrace インタフェースは、将来のリリースでサポートされなくなる可能性があります。proc インタフェースによってその機能が置き換えられます。

詳細については、proc(4) のマニュアルページを参照してください。

sendmailvars と Lsendmail.cf コマンドまたは Gsendmail.cf コマンド

nsswitch.conf(4) に含まれている sendmailvars データベースは、将来のリリースでサポートされなくなる可能性があります。Lsendmail.cf または Gsendmail.cf コマンドを使用せずに、この機能を有効にすることはできませんでした。この変更により、Sun バージョンの sendmail は、sendmail.org バージョンにより厳密に準拠するようになります。

SPARC:64 ビットパッケージ

Solaris ソフトウェアは現在、32 ビットコンポーネントと 64 ビットコンポーネントで別々のパッケージで配布されています。64 ビットパッケージは Solaris 7 リリースで導入されたもので、Solaris ソフトウェアの 64 ビットコンポーネントを配布します。一般的に、64 ビットパッケージの名前の末尾は「x」です。たとえば、SUNWcsl は Solaris コアライブラリの 32 ビットバージョンを、SUNWcslx は 64 ビットバージョンを配布するものです。

Solaris の将来のリリースでは、32 ビットコンポーネントおよび 64 ビットコンポーネントは単一の基本パッケージでいっしょに配布される可能性があります。両方が同梱されるパッケージの名前は、元の 32 ビットパッケージの名前になり、64 ビットパッケージの名前ではもう配布されません。たとえば /usr/lib/sparcv9/libc.so.1 は、現在 SUNWcslx として配布されていますが、将来は SUNWcsl として配布され、SUNWcslx はもう配布されなくなる予定です。

注-パッケージによっては、64 ビットコンポーネントだけが配布され、対応する 32 ビットパッケージが存在しないものがあります。このような場合、パッケージの名前が変更され、末尾の「x」が削除されます。たとえば SUNW1394x は SUNW1394 となります。

sdtjmplay Desktop Java Media Player

Desktop Java Media Player (/usr/dt/bin/sdtjmplay) は Java Media Framework 1.1 に基づいていますが、将来のリリースで提供されなくなる可能性があります。ユーザーは、新しい Java Media Framework 2.1.1 リリースに基づいた Java Media Player (/usr/bin/jmplay) に移行する必要があります。

jmplay Java Media Player は Solaris 9 8/03 およびそれ以降のリリースに含まれています。jmplay は Solaris 8 および前期の Solaris 9 リリースでも GNOME 2.0 デスクトップ環境として使用できます。

GNOME 2.0 デスクトップ環境は、<http://www.sun.com/gnome/>からダウンロードして使用可能です。

SPC ドライバ

SPC ドライバは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります

Solaris 32 ビット Sun4U カーネル

Solaris 7、8、および 9 ソフトウェアの多くのインストールでは、デフォルトの 64 ビットカーネルを使って 32 ビットおよび 64 ビットのアプリケーションをサポートします。UltraSPARC システム上で 32 ビットのカーネルを使用するカスタマは、この注意事項をお読みください。

Solaris 7、8、および9リリースでは、UltraSPARC I および UltraSPARC II プロセッサをベースにしたすべてのシステムにおいて、32 ビットカーネルと 64 ビットカーネルのどちらをブートするかを管理者が選択できます。UltraSPARC III 以降のシステムでは、64 ビットカーネルだけがサポートされます。

Solaris ソフトウェアの将来のリリースでは、UltraSPARC I および UltraSPARC II システムについても、32 ビットカーネルを利用できなくなる可能性があります。

この変更からもっとも影響を受けるのは、サードパーティの 32 ビットカーネルモジュール (たとえば、ファイアウォール、カーネル常駐ドライバ、置換ファイルシステムなど) に依存しているシステムです。こうしたシステムは、これらのモジュールの 64 ビットバージョンを使用するようにアップデートしなければなりません。

この変更のもう 1 つの影響は、200MHz 以下のクロック周波数の UltraSPARC I プロセッサを搭載した UltraSPARC システムが、将来のリリースではサポートされなくなる可能性があるという点です。

システムのカーネルタイプを識別するには、`isainfo(1)` コマンドを使用します

```
% isainfo -kv
```

システムのプロセッサクロックレートを識別するには、`psrinfo(1M)` コマンドを使用します。

```
% psrinfo -v | grep MHz
```

Solaris スタティックシステムライブラリ

この告知は、32 ビット版のスタティックシステムライブラリおよび静的にリンクしたユーティリティだけに該当します。64 ビット版のスタティックシステムライブラリとユーティリティは提供されていません。

32 ビット版の Solaris スタティックシステムライブラリおよび静的にリンクしたユーティリティは、将来のリリースではサポートされなくなります。特に、スタティック C ライブラリ (`/usr/lib/libc.a`) は、将来のリリースでサポートされなくなります。

既存のスタティックシステムライブラリにリンクしたアプリケーションは、将来のリリースでは動作しない可能性があります。ABI (Solaris Application Binary Interface) を提供するシステムライブラリに動的にリンクするアプリケーションの互換性だけが将来的に確保されます。

システムトラップの動作に依存するアプリケーションは、将来のリリースでは動作しない可能性があります。また、システムトラップの動作に依存するライブラリ (一般的には、ABI 機能を代替的に提供するライブラリ) にリンクされたアプリケーションも将来のリリースでは動作しない可能性があります。

Solaris ボリュームマネージャのトランザクション ボリューム

Solaris ボリュームマネージャのトランザクションボリューム (trans メタデバイス) は、Solaris 機能セットの冗長性を軽減するために将来のリリースでサポートされなくなる可能性があります。同等の機能が Solaris 8 ソフトウェアおよびその互換バージョンに含まれる UFS ロギングにより提供されます。

Solstice Enterprise Agents

Solstice Enterprise Agents™ は、将来のリリースでサポートが中止される予定です。

スタンドアロンのルーター検出

IPv4 ICMP ルーター発見プロトコルの `/usr/sbin/in.rdisc` 実装は、Solaris ソフトウェアの将来のリリースではサポートされなくなる可能性があります。このプロトコルとほぼ同等のバージョンが、`/usr/sbin/in.routed` のコンポーネントとして実装されており、拡張された管理インタフェースをサポートしています。`/usr/sbin/in.routed` コンポーネントは、RIP (経路制御情報プロトコル、Routing Information Protocol) バージョン 2 の実装をサポートします。`/usr/sbin/in.routed` コンポーネントには、モバイル IP 通知をルーター発見メッセージと区別する機能もあります。

記憶装置インタフェース

デバイスドライバプロパティに使用される次のインタフェースは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

- 高速書き込み (pln ドライバプロパティ)
- 優先予約 (pln ドライバプロパティ)

次のデバイスドライバは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

- `/kernel/drv/pln`
- `/kernel/drv/pln.conf`
- `/kernel/drv/sparcv9/pln`
- `/kernel/drv/soc`
- `/kernel/drv/sparcv9/soc`

次のユーティリティは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

- `/usr/sbin/ssaadm`

sun4m ハードウェア

sun4m ハードウェアは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

Sun Java System Application Server Platform Edition 7.0 (旧 Sun ONE Application Server 7.0)

Sun Java System Application Server Platform Edition のバージョン 7.0 は、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。同様の機能は、Sun Java System Application Server Platform Edition 8 およびその互換バージョンでサポートされています。

ほとんどの Java 2 Platform, Enterprise Edition (J2EE) アプリケーションは、Sun Java System Application Server Platform Edition 8 上で変わりなく動作します。専用の固定 API を使用するアプリケーションは修正が必要です。

Sun StorEdge A3000、Sun StorEdge A3500、および Sun StorEdge A3500FC システム

次の記憶装置向けのソフトウェアサポートは、Solaris ソフトウェアの将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

- Sun StorEdge™ A3000 システム
- Sun StorEdge A3500 システム
- Sun StorEdge A3500FC システム

テープデバイス

次のテープデバイスは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。

- Sun StorEdge DLT4700 テープ・オートローダ
- Sun StorEdge L140 テープライブラリ
- Sun StorEdge L280 テープ・オートローダ
- Sun StorEdge L400 テープライブラリ
- Sun StorEdge L1800 テープライブラリ
- Sun StorEdge L3500 テープライブラリ
- Sun StorEdge L11000 テープライブラリ

Ultra AX および SPARCengine Ultra AXmp グラフィックスカード

Ultra™ AX および SPARCengine Ultra AXmp グラフィックスカードのサポートは、Solaris ソフトウェアの将来のリリースで提供されなくなる可能性があります。

32 ビット:X11 スタティックライブラリ

`/usr/openwin/lib`にあるスタティックライブラリは、Solaris ソフトウェアの将来のリリースではサポートが中止される可能性があります。`/usr/openwin/lib`にある 32 ビット版のスタティックライブラリ、およびこれらのライブラリに静的にリンクされるプログラムは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。64 ビット版のスタティックライブラリは、これまで提供されたことはありません。

`/usr/openwin/lib`にある既存のスタティックライブラリとリンクしているアプリケーションは、将来のリリースで動作しなくなる可能性があります。Solaris Application Binary Interface (ABI) を提供する共有ライブラリと動的にリンクするアプリケーションだけが、将来のリリースと互換性を持つように設計されています。

XIL インタフェース

XIL™ インタフェースは、将来のリリースでサポートが中止される予定です。XIL を使用するアプリケーションを使用すると、次のような警告メッセージが表示されます。

```
WARNING: XIL OBSOLESCENCE
```

```
This application uses the Solaris XIL interface  
which has been declared obsolete and may not be  
present in version of Solaris beyond Solaris 9.  
Please notify your application supplier.
```

```
The message can be suppressed by setting the environment variable  
" _XIL_SUPPRESS_OBSOLETE_MSG.
```

xetops ユーティリティ

xetops ユーティリティは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。xetops ユーティリティは、アジア言語のテキストファイルを PostScript ファイルに変換します。この変換により、アジア文字をその組み込みフォントを持たない PostScript プリンタでも印刷できるようになります。

同様の機能は、`mp` コマンドで提供されています。ネイティブなアジア言語のすべてのエンコーディングについて、オプションおよび機能が追加され、サポートが拡張されています。

xutops プリントフィルタ

xutops プリントフィルタは、将来のリリースでサポートが中止される可能性があります。Solaris 9/9/05 HW リリースの `mp` プリントフィルタで同様の機能が提供されています。

詳細については、`mp(1)` のマニュアルページを参照してください。

◆ ◆ ◆ 第 4 章

マニュアルに関する情報

この章では、ドキュメントについて知られている問題を説明します。

Solaris 9 9/05 HW メディアに含まれるドキュメントコレクションには、以前の Solaris 9 リリースの情報が記述されています。Solaris 9 9/05 HW リリースの最新のドキュメントは、<http://docs.sun.com> で参照してください。

Solaris 9 9/05 HW に適用されるドキュメントを次に示します。

- GNOME 2.0 Desktop 9/04 Collection - Japanese
- iPlanet Directory Server 5.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese
- Solaris 9 9/04 About What's New Collection - Japanese
- Solaris 9 9/04 Reference Manual Collection - Japanese
- Solaris 9 9/04 Software Developer Collection - Japanese
- Solaris 9 9/04 System Administrator Collection - Japanese
- Solaris 9 9/05 on Sun Hardware Collection
- Solaris 9 9/05 HW Release and Installation Collection - Japanese
- Solaris 9 Common Desktop Environment Developer Collection - Japanese
- Solaris 9 KCMS Collection
- Solaris 9 User Collection - Japanese
- Sun ONE Application Server 7 Reference Manual Collection
- Sun ONE Application Server 7, Update 3 - Japanese
- Sun ONE Message Queue 3.0.1 Collection (Solaris Edition) - Japanese

マニュアルの訂正・補足: **SUNWespgs** 内のリファレンスマニュアルページ

次に一覧する ESP Ghostscript 関連のマニュアルページは、内容が古くなっています。SUNWespgs パッケージ内のリンク切れは無視してください。

```
/usr/sfw/esp/man/man1/eps2eps.1=ps2ps.1  
/usr/sfw/esp/man/man1/gsbj.1=gslp.1  
/usr/sfw/esp/man/man1/gsdj.1=gslp.1
```

```
/usr/sfw/esp/man/man1/gsdj500.1=gslp.1  
/usr/sfw/esp/man/man1/gslj.1=gslp.1  
/usr/sfw/esp/man/man1/ps2pdf12.1=ps2pdf.1  
/usr/sfw/esp/man/man1/ps2pdf13.1=ps2pdf.1
```

マニュアルの訂正・補足: SunScreen 3.2 Configuration Examples Manual (英語版)

「Using High Availability (HA)」という章の Section 1b (72 ページ) および Section 4b (73 ページ) は、次のように訂正してください。

- **Section 1b:**

If it does not already exist, configure the HA heartbeat interface.

For bos -screen1 in this example, use the following command:

```
# echo "10.0.4.1" > /etc/hostname.hme3
```

- **Section 4b:**

If it does not already exist, configure the HA heartbeat interface.

For bos -screen2 in this example, use the following command:

```
# echo "10.0.4.2" > /etc/hostname.hme3
```

影響を受けるドキュメント: 『Solaris のシステム管理 (ネーミングとディレクトリサービス: DNS、NIS、LDAP 編)』

『Solaris のシステム管理 (ネーミングとディレクトリサービス: DNS、NIS、LDAP 編)』内の複数の箇所に適用される注意事項について説明します。

ネームサービススイッチ (概要)

「スイッチファイルとパスワード情報」節の終わりには、次のテキストを追加する必要があります。

1 人のユーザーに複数のリポジトリを割り当てることは避けるべきです。1 人のユーザーに単一のリポジトリを割り当て、パスワードを集中管理することによって、混乱と間違いの可能性を減らすことができます。1 人のユーザーに複数のリポジトリを割り当てることを選択した場合、パスワード情報を更新するには、次の `passwd -r` コマンドを使用します。

`passwd -r repository`

-r オプションにリポジトリを指定しない場合、passwd は `nsswitch.conf` 内にあるリポジトリを逆順に更新します。

LDAP ネームサービスの設定と管理

「LDAP ネームサービスの設定と管理」節では、`ldapclient` コマンドオプションの使い方のリファレンスが間違っています。Solaris 9 のすべてのリリースにおいて、このコマンドの構文は次のように変更する必要があります。

間違ったリファレンス	正しいリファレンス
<code>ldapclient -l</code>	<code>ldapclient list</code>
<code>ldapclient -p</code>	<code>ldapclient init [-a attribute name]</code>
<code>ldapclient -m</code>	<code>ldapclient mod</code>

詳細については、`ldapclient(1M)` のマニュアルページを参照してください。

NIS から LDAP への移行(概要と手順)

「NIS から LDAP への移行(概要と手順)」章の「表 15-2 N2L のコマンド、ファイル、およびマップの説明」には、次の情報を追加する必要があります。

表 4-1 「表 15-2 N2L のコマンド、ファイル、およびマップの説明」

コマンドまたはファイル	説明
<code>ageing.byname</code>	NIS - LDAP 切替が実装されているとき、 <code>yppasswdd</code> が DIT のパスワードエージング情報を読み書きするのに使用するマッピング。

ネットワーク情報サービス (NIS) (概要)

「ネットワーク情報サービス (NIS) (概要)」の「ネットワーク情報サービス (NIS) (概要)」には、次の NIS マップを追加する必要があります。

表 4-2 「表 4-3 NIS マップに関する説明」

マップ名	対応する NIS 管理ファイル	説明
<code>auth.attr</code>	<code>auth.attr</code>	承認の名前と説明

表 4-2 「表 4-3 NIS マップに関する説明」 (続き)

マップ名	対応する NIS 管理ファイル	説明
exec.attr	exec.attr	プロファイルの実行属性
prof.attr	prof.attr	実行プロファイル用の属性
user.attr	user.attr	ユーザーおよび役割用の拡張属性
audit.user	audit.user	ユーザー監査用の選択済みデータ

マニュアルの訂正・補足: 『Solaris のシステム管理 (IP サービス)』 の「DHCP の管理 (手順)」

「Solaris インストールパラメータ用の DHCP オプションとマクロの作成」という節には、DHCP ベンダーオプションのサイズ制限に関する下記の情報を含める必要があります。

マクロのすべてのオプションに割り当てられている値の全合計は、オプションのコードおよび長さの情報を含めて 255 バイトを超えてはならないことに注意してください。この制限は、DHCP プロトコルで指定されています。

一般に、必要な最小限のベンダー情報を渡す必要があります。パス名を必要とするオプションには短いパス名を使用する必要があります。長いパスについてはシンボリックリンクを作成すると、短いリンク名を渡すことができます。

マニュアルの訂正・補足: 『Solaris WBEM 開発ガイド』 の「CIM オブジェクトマネージャの使用」

いくつかのパッチは、パッチの適用後、CIM オブジェクトマネージャを手動で起動する必要があります。そのパッチを以下に示します。

SPARC	x86
112943-08	114192-04
114503-03	114504-03
112945-20	114193-13
114711-02	114712-02

CIM オブジェクトマネージャを再起動するには、次の手順に従ってください

```
# /etc/init.d/init.wbem stop
```

```
# /etc/init.d/init.wbem start
```

CIM オブジェクトマネージャの停止および再起動について詳細は、『Solaris WBEM 開発ガイド』の「CIM オブジェクトマネージャの停止と再起動」を参照してください。

マニュアルの訂正・補足: 『Solaris ボリュームマネージャの管理』の「ルート(/)のミラー化に関する特殊な考慮事項」

「ルート(/)のミラー化に関する特殊な考慮事項」では、ルート(/)をミラー化する場合に必要な代替起動デバイスへのパスを記録する例を記載しています。SPARC 版の例で、一部の新しい Sun ハードウェアでは、/devices ディレクトリ名を sd@ や dad@ から disk@ に変更する必要があります。

[日本語環境のみ] マニュアルの訂正・補足: X Window System 関係の日本語翻訳マニュアルページが古い

一部の X Window System 関係の日本語翻訳マニュアルページは、内容が最新ではありません。

回避方法: 日本語マニュアルページは参考とし、最新の情報は英語版マニュアルページを参照してください。(例: `% env LANG=C man XtAddCallback`)

Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD に関する注意事項

ナビゲーションファイルに関する注意事項

Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD には、各言語のコレクションへのリンクなどを集めたナビゲーション用の html ファイル群が用意されています。CD 上からは、これらのナビゲーション用ファイルを参照または使用することができます。

Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION CD をインストールした場合には、インストールされた各コレクションへのリンクを持つナビゲーション用の html ファイルが生成されます。生成されるファイル名は、/var/opt/sun_docs/sundocs.html です。このファイルから Netscape などのブラウザにより各コレクションをたどることができます。

『Sun ONE Application Server 7 Update 3 Collection (Solaris Edition) - Japanese』の日本語版マニュアルについて

Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION 2 of 2 CD には『Sun ONE Application Server 7 Update 3 Collection (Solaris Edition) - Japanese』が含まれています。ここでは、Solaris 9 9/04 DOCUMENTATION 1 of 2 CD の『Sun ONE Application Server 7 Update 3 Collection (Solaris Edition)』に含まれる英語版マニュアルのうち一部のみ翻訳されています。日本語版のないマニュアルについては、上記英文コレクションをご覧ください。

Solaris 9 9/05 HW オペレーティングシステムのパッチについて

この付録で示すパッチは、次のいずれかの方法で、すでに Solaris 9 9/05 HW オペレーティングシステムに適用されています。

- SolStart
この方法で適用されたパッチは、インストールされたシステムの `/var/sadm/patch` ディレクトリにあります。
- Freshbits テクノロジ
この方法で適用されたパッチは、Solaris 9 9/05 HW オペレーティングシステムが作成されたときに適用されたものです。そのため、`/var/sadm/patch` ディレクトリにはありません。

`showrev -p` コマンドを実行すると、インストールしたシステムに適用されているすべてのパッチの一覧が、その適用方法に関わらず表示されます。The Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアには、既知の検査済みのパッチが含まれています。これらのパッチは Solaris 9 9/05 HW リリースからバックアウトすることはできません。

注 - Solaris 9 9/05 HW ソフトウェアには、Solaris リリースのインストールイメージに特有のタスクを実行するパッチが含まれています。これらのパッチはそれぞれの Solaris ソフトウェアリリースに固有であるため、Solaris ソフトウェアのほかのシステム、またはほかのリリースには適用されません。これらのパッチを Solaris オペレーティングシステムのほかのシステムにダウンロードまたはインストールしようとしてはなりません。

Solaris 9 9/05 HW リリースは、SPARC プラットフォームだけに対応しています。この付録には、SPARC パッチの一覧だけが含まれています。Solaris 9 9/05 リリースがインストールされた x86 プラットフォームに関しては、『Solaris 9 9/05 ご使用にあたって』の x86 パッチの一覧を参照してください。

SPARC パッチの一覧

- **111703-04 – SunOS 5.9: /usr/ccs/bin/sccs and /usr/ccs/bin/make patch**

4654328 4222874 4514485 4483221 4504348 4631517 4654957 5037057

- **111711-15 – SunOS 5.9: 32-bit Shared library patch for C++**

4618537 4619221 4660290 4668167 4679619 4680478 4686364 4709155 4710815 4302954 4698028
 4699194 4704604 4708982 4745600 4747931 4749398 4749628 4750936 4756106 4794587 4797953
 4806782 4820555 4851358 4825898 4828443 4853946 4856138 4861853 4886310 4884516 4894898
 4918858 4876793 4919536 4864189 4949404 4951789 4953582 4953639 4965215 4945288 4967333
 5019613 4957415 4678395 4962360 4997504 4859928 5019752 5032521 5037790 4980736 5034760
 5039540 5001937 5041951 5109951 6242459 6244128 6244223 6253345 6300352 6319635 6283644
 6244286 6274396 6304703 6326163 6339010

- **111711-15 – SunOS 5.9: 32-bit Shared library patch for C++**

4618537 4619221 4660290 4668167 4679619 4680478 4686364 4709155 4710815 4302954 4698028
 4699194 4704604 4708982 4745600 4747931 4749398 4749628 4750936 4756106 4794587 4797953
 4806782 4820555 4851358 4825898 4828443 4853946 4856138 4861853 4886310 4884516 4894898
 4918858 4876793 4919536 4864189 4949404 4951789 4953582 4953639 4965215 4945288 4967333
 5019613 4957415 4678395 4962360 4997504 4859928 5019752 5032521 5037790 4980736 5034760
 5039540 5001937 5041951 5109951 6242459 6244128 6244223 6253345 6300352 6319635 6283644
 6244286 6274396 6304703 6326163 6339010

- **111712-15 – SunOS 5.9: 64-Bit Shared library patch for C++**

4618537 4660290 4668167 4679619 4680478 4686364 4709155 4710815 4302954 4698028 4699194
 4704604 4708982 4745600 4747931 4749398 4749628 4750936 4756106 4794587 4797953 4806782
 4820555 4851358 4825898 4828443 4853946 4856138 4861853 4886310 4884516 4894898 4918858
 4876793 4919536 4864189 4949404 4951789 4953582 4953639 4965215 4945288 4967333 5019613
 4957415 4678395 4962360 4997504 4859928 5019752 5032521 5037790 4980736 5034760 5039540
 5001937 5041951 5109951 6242459 6244128 6244223 6253345 6300352 6319635 6283644 6244286
 6274396 6304703 6326163 6339010

- **111722-04 – SunOS 5.9: Math Library (libm) patch**

4652341 4664522 4810765 4817713 4820770

- **112233-12 – SunOS 5.9: Kernel Patch**

1101554 4114317 4115610 4201022 4203748 4254013 4259149 4336082 4352265 4354427 4357217
 4360843 4371826 4375052 4382913 4390777 4396697 4401262 4407972 4409244 4412320 4416645
 4417647 4419540 4425786 4462509 4466085 4466741 4466818 4469395 4473583 4479794 4484338
 4487572 4488694 4490164 4491038 4495650 4496935 4498831 4500536 4502640 4504686 4507281
 4509659 4511634 4512855 4519289 4520669 4520798 4521521 4521525 4522402 4524005 4524236
 4525533 4527648 4532512 4533078 4533108 4533270 4533712 4592876 4613988 4614574 4617247
 4618812 4619267 4619870 4622581 4623395 4625392 4627510 4627620 4629396 4629569 4630273
 4630754 4631275 4631903 4633008 4633015 4633655 4634031 4634907 4636049 4636186 4637031

4316968 4494062 4497748 4514222 4515693 4617170 4624812 4645735 4649811 4650501 4651919
4652111 4652804 4654897 4655393 4659006 4663042 4663732 4664981 4668373 4675933 4691212
4697564 4698167 4703423 4720843 4731406 4733511 4744109 4770590 4773187 4773758 4796686
4799602 4800990 4807363 4811078 4819025 4821124 4827925 4829271 4834826 4834943 4835610
4838855 4841559 4842523 4849515 4855275 4855696 4859777 4860483 4860499 4878341 4890601
4891694 4892346 4904242 4904716 4915313 4916475 4916476 4916477 4916480 4916484 4919418
4924725 4925736 4927661 4938131 4992339 4994767 5014029 4961263 6278448 6297322 6239859
6266390 6319759

■ **112565-23 – SunOS 5.9: XVR-1000 GFB Graphics Patch**

4587680 4629777 4635704 4636225 4636721 4636748 4636788 4636846 4636866 4637546 4637796
4638125 4639155 4640002 4641167 4641177 4643375 4643767 4649442 4652512 4664996 4668381
4669035 4669039 4670095 4671387 4674533 4674551 4675252 4676118 4679353 4679830 4685579
4699753 4703545 4708069 4717529 4730199 4734313 4739840 4745719 4758471 4759742 4766223
4768264 4771302 4772027 4772063 4772398 4772798 4775646 4781933 4783131 4790859 4792390
4793154 4796917 4804999 4805014 4805898 4810194 4811518 4815925 4824880 4827925 4841960
4857379 4857396 4890323 4897108 4898864 4907857 4914546 4925658 4940639 4949497 4959146
4982117 4988586 4992946 5013917 5034134 5001029

■ **112601-10 – SunOS 5.9: PGX32 Graphics**

4502887 4633850 4688024 4728662 4740340 4800057 4776309 4715825 4897594 4897600 4802284
4898192 4863629 6179624

■ **112613-06 – SunScreen 3.2 miscellaneous fixes for Solaris 9 SPARC**

4389132 4433735 4458205 4474065 4475718 4475976 4484731 4494052 4498719 4504550 4504560
4504562 4530873 4531796 4546483 4599245 4621944 4623384 4627419 4632254 4636508 4636511
4636514 4641757 4641855 4650187 4658497 4693028 4701439 4708402 4710480 4710493 4713896
4729278 4731099 4760976 4762492 4764370 4764373 4767244 4770205 4786105 4790511 4801062
4833684 4821206 4861572 4913304 4926941 4959989 4960160 4961375 4974853 4987066 4987247
4987254 4987260 5046348 5092554 6179081 6243867

■ **112617-02 – CDE 1.5: rpc.cmsd patch**

4641721 4687131

■ **112620-10 – SunOS 5.9: Elite3D AFB Graphics Patch**

4651358 4714683 4747203 4750896 4685879 4790842 4825115 4898180 4894194 4888713 4923277
4944261

■ **112621-12 – SunOS 5.9: Creator and Creator3D: FFB Graphics Patch**

4649465 4651358 4663332 4685879 4714683 4747203 4750896 4779687 4790842 4798233 4798967
4885577 4894194 4898178 4923277 6240103

■ **112622-19 – SunOS 5.9: M64 Graphics Patch**

4452851 4531901 4632595 4633941 4668719 4672129 4682681 4684877 4692693 4692955 4735033
4737335 4749353 4769331 4788379 4809395 4810073 4823882 4850359 4884504 4892535 4910182

4916240 4930077 4941630 4986097 5013232 5026499 5079625 4950414 6269998

- **112625-01 – SunOS 5.9: Dcam1394 patch**

4699746 4827215

- **112627-01 – SunOS 5.9: TCX Graphics Patch**

4349827

- **112661-10 – SunOS 5.9: IIIM and X Input & Output Method patch**

4412147 4471922 4496770 4515546 4593130 4604634 4617691 4617694 4629783 4643078 4645171
 4650804 4664772 4686165 4691871 4691874 4721656 4721661 4726723 4742096 4770994 4772485
 4774826 4776987 4777933 4803378 4805181 4805730 4823672 4901772 5046466 6175370 6212427
 6243397 6319906 6373635 6380740 6388754 6389513

- **112764-09 – SunOS 5.9: Sun Quad FastEthernet qfe driver**

4292608 4367043 4411205 4451757 4645631 4655451 4664588 4681502 4704689 4717401 4719739
 4727494 4738051 4760845 4772916 4779492 4790953 4792488 4792493 4794828 4807151 4838454
 4876420 4911012 6238254 6267267 6268767 6293226 6297366

- **112771-32 – Motif 1.2.7 and 2.1.1: Runtime library patch for Solaris 9**

4512887 4663311 4664492 4679034 4615922 4661767 4699202 4741124 4757112 4743372 4712265
 4750419 4717502 4787387 4756028 4764309 4782506 4839891 4887144 4891948 4475248 4816308
 4930029 4852622 4942777 4953649 4762150 4946432 4939108 4991793 4973890 4923648 5051929
 5058156 5086486 5086488 5099395 6205878 6209386 6196758 6255303 6241938 6262671 6360671
 6382405 6416269

- **112785-54 – X11 6.6.1: Xsun patch**

4649617 4651949 4642632 4644622 4531892 4692623 4700844 4712590 4710958 4710402 4703884
 4638864 4729267 4675755 4677235 4729905 4763009 4707069 4709009 4760672 4734353 4762797
 4740125 4732113 4676222 4753720 4736505 4780894 4633549 4798375 4742744 4682788 4787692
 4809081 4818111 4784311 4809776 4716007 4838617 4828474 4785372 4422011 4805863 4787416
 4755776 4847054 4868692 4748474 4707057 4721898 4846090 4743878 4843234 4858548 4866506
 4880222 4701451 4709918 4785959 4834460 4863536 4894855 4845579 4847731 4248632 4680913
 4790284 4889121 4750598 4889164 4781056 4913527 4886190 4780425 4839220 4874319 4889565
 4922200 4961781 4957436 4810740 4907034 4989547 4991847 4930353 4970756 4985837 4995611
 4771300 4963084 5007488 4185550 4522529 4787667 5002007 4856208 4636452 4657934 5023755
 5016583 4962001 4982339 5039004 5042212 5028901 5028657 4992287 4707141 5037725 5032391
 5048853 5067275 5046466 5104863 6219932 6219947 5016163 6228875 6255133 6269938 6226717
 6265045 5031770 6316436 6216985 6379034 4749332 4770510 4750162 4737595 4684184 4689365
 4762091 6416523

- **112787-01 – X11 6.6.1: twm patch**

4659947

- **112804-02 – CDE 1.5: sdtname patch**

4666081 5033417

- **112805-01 – CDE 1.5: Help volume patch**

4666089

- **112806-01 – CDE 1.5: sdtaudiocontrol patch**

4666089

- **112807-17 – CDE 1.5: dtlogin patch**

4667119 4648724 4750889 4761698 4807292 4720523 4768118 4687193 4864597 4840141 5022437
4849776 4697287 4962013 4980138 4986079 4973189 5006986 5100451 6209544 6215729 6254951

- **112808-09 – CDE1.5: Tooltalk patch**

4722127 4741187 4744289 4784893 4668701 4707187 4713445 4865325 4871091 4915560 6206423
6235250 6328571

- **112809-02 – CDE:1.5 Media Player (sdtjplay) patch**

4663628 4731319

- **112810-06 – CDE 1.5: dtmail patch**

4712584 4715670 4786715 4714769 4715322 4862205 4877306 5038601

- **112811-02 – OpenWindows 3.7.0: Xview Patch**

4690979 4459703

- **112812-01 – CDE 1.5: dtlp patch**

4646929

- **112817-29 – SunOS 5.9: Sun GigaSwift Ethernet 1.0 driver patch**

4629291 4637950 4640855 4645885 4647988 4648346 4651090 4658962 4675241 4678583 4678908
4681554 4686107 4686121 4686126 4687821 4690643 4690650 4696480 4698533 4699088 4702980
4703803 4703839 4704372 4704413 4707612 4708099 4708816 4710796 4717385 4717637 4724811
4728208 4730696 4734902 4735212 4735224 4735240 4738499 4739846 4746230 4753629 4753634
4754360 4762837 4763498 4763533 4779486 4784093 4792519 4797403 4798684 4804568 4813252
4817746 4827599 4827852 4830725 4833497 4840375 4841619 4841922 4842533 4845437 4850591
4850593 4850596 4850598 4850601 4858668 4861928 4872163 4873132 4877395 4878072 4878966
4883900 4884801 4885316 4892527 4892531 4892948 4894783 4898660 4899720 4899721 4900973
4906860 4915216 4915383 4915384 4922948 4924976 4925585 4928320 4929138 4935473 4939954
4948197 4948202 4952213 4952649 4952687 4949787 4919336 4962537 4988034 4998501 4963384
4958238 4962776 4934451 4998655 4962352 5004020 4993010 4828534 5052253 5056005 5065648
5070824 5074196 5079552 5076202 5008297 5090320 5099378 5097913 6187030 6266985 6255365
6277650 6273441 6223263 6238254 6261657 6212559 6205539 6204150 6199118 6251174 6279238
6266901 6218302 6280692 6304571 6216131 6255394 6214285 6310502 4722784 6356079 4770635

6358618 6358633 4763926 6341121 6313896 6236474 6390978 6227233 6385683 6345632 6395634
6388242

- **112834-06 – SunOS 5.9: patch scsi**

4628764 4656322 4656416 4883142 5027030 5041567 6178851

- **112835-01 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/clinfo**

4638788

- **112837-10 – SunOS 5.9: /usr/lib/inet/in.dhcpd Patch**

4621740 4678758 4721862 4840208 4932150 4944796 4981080 5074510 5086331 5098448 6220012

- **112838-12 – SunOS 5.9: pcicfg Patch**

4407705 4496757 4711639 4716320 4716448 4717617 4718370 4787898 4792953 4793178 4834066
4835953 4853539 4879904 4948204 5001947 5076027 6381666

- **112839-08 – SunOS 5.9: libthread shared objects patch**

4254013 4479187 4524527 4533712 4647410 4647927 4667173 4679005 4688450 4749669 4768343
4769150 4769166 4786566 4792908 4795308 4819289 4855271 4897700 5066336

- **112854-02 – SunOS 5.9: icmp Patch**

4511634 4647983

- **112868-19 – SunOS 5.9: OS Localization message patch**

4658681 4685336 4706059 4681374 4733193 4734495 4736248 4775204 4767999 4809660 4831626
4804312 4817097 4841909 4881566 4896232 4909364 4907285 4938538 4949060 4951926 4960952
4652810 4977809 5033601 5007256 5049550 6285742

- **112874-34 – SunOS 5.9: libc patch**

1258570 4152876 4165723 4192824 4221365 4223846 4248430 4254013 4271957 4318178 4353836
4390053 4444569 4489885 4503048 4510326 4518988 4530367 4533712 4635556 4656492 4661997
4669963 4683320 4686454 4694626 4700602 4704190 4705942 4709984 4715561 4749274 4751182
4756113 4756148 4756192 4764855 4767215 4770160 4772200 4772960 4782294 4795713 4797219
4810810 4812362 4818401 4828746 4831309 4839080 4844583 4845974 4863473 4871054 4877492
4878257 4881606 4888508 4894760 4904877 4915053 4932869 4950403 4961173 4980686 4981484
5043013 5044097 5059751 5061718 5061770 5081268 6176463 6182350 6270398 6348147

- **112875-01 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/netshvc/rwall/rpc.rwalld**

4664537

- **112905-02 – SunOS 5.9: ippctl Patch**

4644731 4647361 4712511

- **112908-27 – SunOS 5.9: krb5, gss patch**

4197937 4220042 4406914 4430138 4452339 4516537 4521000 4526202 4614979 4621219 4630574
4635546 4642879 4657596 4666887 4671577 4680230 4690212 4691352 4707788 4708846 4709475
4710108 4710111 4711335 4711993 4713097 4713592 4714596 4719654 4720595 4727224 4733532
4740969 4743181 4744280 4750989 4759759 4770661 4777436 4784872 4786126 4794436 4799122
4799173 4807010 4811575 4816590 4828467 4829637 4830044 4836676 4837140 4837278 4841013
4841566 4846024 4847827 4851952 4857179 4860226 4862449 4865664 4881066 4882946 4924554
4925472 4925970 4926391 4926624 4928964 4957406 4964839 4966521 4967674 4967945 4969306
4971630 4971810 4975057 4976155 4976745 4977574 4982991 4990122 4995543 5002100 5004688
5005870 5006690 5006695 5006762 5008950 5012765 5013640 5014180 5014600 5014946 5014951
5014969 5019044 5020325 5021347 5022903 5023074 5025296 5031562 5036242 5048596 5049660
5054240 5054835 5055875 5058293 5060425 5060618 5062508 5063375 5063407 5066767 5076804
5082282 5083048 5083197 5088670 5090324 5094142 5094528 5096445 5109147 5109225 5109404
5109487 5109496 6176256 6181680 6182695 6185726 6203833 6208638 6246405 6247126 6261685
6284864 6410919 6410987

- **112912-01 – SunOS 5.9: libinetcfg Patch**

4396697 4417647 4425786 4479794 4592876 4648388

- **112913-02 – SunOS 5.9: fruadm Patch**

4505850 6344008

- **112915-04 – SunOS 5.9: snoop Patch**

1148813 1240645 4075054 4259149 4327168 4328452 4341344 4396697 4417647 4425786 4473583
4475921 4479794 4532805 4532808 4532860 4559001 4587434 4592876 4635766 4637330 4637788
4648299 4648388 4676230 4744248 4763631 4874672 5024476

- **112916-01 – SunOS 5.9: rtquery Patch**

1148813 1240645 4075054 4327168 4341344 4475921 4532805 4532808 4532860 4559001 4587434
4635766 4637330 4637788 4648299

- **112917-01 – SunOS 5.9: ifrt Patch**

4645471

- **112918-01 – SunOS 5.9: route Patch**

1148813 1240645 4075054 4327168 4341344 4475921 4532805 4532808 4532860 4559001 4587434
4635766 4637330 4637788 4645471 4648299

- **112919-01 – SunOS 5.9: netstat Patch**

4645471

- **112920-02 – SunOS 5.9: libipp Patch**

4644731 4647361 4712511

- **112921-07 – SunOS 5.9: libkadm5 Patch**

4197937 4220042 4642879 4727188 4810632 4831653 4836676 4837278 4838735 5110105 6209960

- **112922-02 – SunOS 5.9: krb5 lib Patch**

4197937 4220042 4642879 4668699

- **112923-03 – SunOS 5.9: krb5 usr/lib Patch**

4197937 4220042 4642879 4703622 4836676

- **112924-01 – SunOS 5.9: kdestroy kinit klist kpasswd Patch**

4197937 4220042 4642879

- **112925-06 – SunOS 5.9: ktutil kdb5_util kadmin kadmin.local kadmind Patch**

4197937 4220042 4642879 4646370 4836676 4837278 4955217 5110105

- **112926-06 – SunOS 5.9: smartcard Patch**

4366894 4524620 4629775 4635010 4635082 4635106 4636389 4639842 4642726 4646472 4646476
4646497 4647454 4647542 4649161 4655166 4676018 4682730 4683241 4704250 4760613 4876141
6192339

- **112927-01 – SunOS 5.9: IPQos Header Patch**

4644731 4647361

- **112928-03 – SunOS 5.9: in.ndpd Patch**

4396697 4417647 4425786 4479794 4592876 4648388 4728204 4837086 4907462

- **112929-01 – SunOS 5.9: RIPv2 Header Patch**

1148813 1240645 4075054 4327168 4341344 4475921 4532805 4532808 4532860 4559001 4587434
4635766 4637330 4637788 4648299

- **112941-09 – SunOS 5.9: sysidnet Utility Patch**

4519228 4678406 4683519 4698391 4698500 4704974 4711830 4719195 4759857 4787789 4807079
4867326 4868757 4904083

- **112943-09 – SunOS 5.9: Volume Management Patch**

4429002 4478237 4508734 4516578 4576802 4632847 4637525 4645142 4648750 4656914 4656931
4660125 4664713 4696741 4704081 4715667 4730706 4739995 4764186 4773530 4791015 4791556
4931702

- **112945-41 – SunOS 5.9: wbem patch**

4486297 4496120 4626762 4639638 4641801 4641818 4641851 4643267 4644880 4645051 4645080
4645105 4645146 4645315 4645581 4645811 4647508 4648811 4649058 4654765 4655882 4656941
4658145 4674537 4682188 4686244 4696284 4699585 4700539 4701067 4720857 4739720 4742164
4742960 4754758 4759233 4760846 4766098 4766971 4768461 4769053 4769612 4769791 4769795

4769860 4769889 4770013 4770017 4770024 4770027 4771207 4771466 4771469 4771476 4773485
4777931 4781761 4782465 4786712 4786891 4792126 4795642 4796483 4796491 4796519 4796556
4807821 4809906 4810642 4813116 4824518 4834362 4845276 4847816 4848759 4866907 4867928
4872697 4883742 4911869 4914834 4931247 4931702 4945068 4946973 4964126 4997883 5058260
5064520 5078226 5082296 5083069 5092404 5095994 6191674 6205118 6205454 6212927 6225230
6235892 6242775 6242778 6255908 6264918 6277884 6283762 6316966 6319220 6385646 6425298

■ **112951-13 – SunOS 5.9: patchadd and patchrm Patch**

4421583 4529289 4623249 4625879 4639323 4678605 4706994 4723617 4725419 4728892 4731056
4737767 4744964 4750803 4759158 4767392 4850925 4919852 4949580 4967080 4985934 5045607
5087817 6199776 6220578 6360157 6378927

■ **112954-14 – SunOS 5.9: uata Driver Patch**

4432931 4498182 4506478 4628670 4643720 4741112 4751244 4773958 4776171 4776340 4788885
4801603 4818293 4820811 4831997 4839726 4845333 4923208 5016145 5021806 5062839 5083090
5092593 6231964 6241837 6256312

■ **112958-04 – SunOS 5.9: patch pci.so**

4657365 4695771 4767641 4779758 4798214 4872741 4884579 4959085

■ **112959-03 – SunOS 5.9: libfru patch**

4643255 4661738 6309900 6382587 6422711

■ **112960-39 – SunOS 5.9: ldap library Patch**

4192824 4248430 4357827 4390053 4523936 4614945 4624458 4626861 4630226 4643366 4645604
4648140 4648146 4658569 4658625 4660019 4670947 4677591 4682120 4683522 4688752 4698366
4698379 4698387 4700602 4702568 4709300 4720818 4723361 4743707 4746114 4747441 4751386
4751394 4754634 4755582 4756113 4756193 4757282 4765506 4768140 4774607 4776571 4779333
4780109 4784324 4787488 4791006 4793719 4802414 4805635 4830406 4830525 4858673 4873939
4874749 4877796 4887906 4890233 4890303 4894518 4894583 4909247 4913437 4920444 4966423
4977110 4980441 4981868 4988859 4989454 5003953 5005602 5006801 5007891 5012514 5014922
5014993 5022076 5044522 5047250 5055748 5067333 5077098 5096736 6219143 6226776 6230927
6232564 6232579 6237466 6262121 6262153 6274517 6276525 6311010 6380248 6384642 6453641

■ **112963-25 – SunOS 5.9: linker Patch**

4461340 4470917 4504895 4526752 4526878 4529912 4533195 4546416 4616944 4621479 4622472
4624658 4630224 4633860 4638070 4642829 4651493 4651709 4654406 4655066 4662575 4664855
4668517 4669582 4671493 4696204 4698800 4701749 4706503 4707030 4707808 4710814 4714146
4715815 4716275 4716929 4728822 4730110 4730433 4731183 4739660 4743413 4744337 4744411
4745129 4745932 4746231 4753066 4754751 4755674 4764817 4765536 4766815 4770484 4770494
4772927 4774727 4775738 4778247 4778418 4779976 4783869 4787579 4790194 4792461 4793721
4796237 4796286 4798376 4802194 4804328 4806476 4811093 4811951 4811969 4816378 4817314
4824026 4825065 4825151 4825296 4826315 4830584 4830889 4831544 4831650 4834784 4838226
4845764 4845829 4850703 4860508 4865418 4870260 4872634 4878827 4889914 4900320 4900684
4904565 4904573 4906062 4911775 4911796 4911936 4912214 4915901 4918303 4918310 4918938

4930985 4930997 4933300 4936305 4939565 4939626 4939869 4940894 4946992 4948119 4948427
 4951840 4955373 4955802 4963676 4964415 4966465 4967869 4968618 4973865 4974828 4975598
 4987898 4994738 5002160 5006657 5012172 5013759 5021541 5021773 5023493 5029830 5031495
 5032364 5034652 5036561 5041446 5042713 5044797 5047082 5047235 5047612 5056867 5058415
 5062313 5063580 5064973 5067518 5071614 5076838 5079061 5080344 5080443 5085792 5086352
 5092414 5094135 5096272 5098205 5102601 5105601 5106206 6173559 6173852 6174599 6175609
 6175843 6177838 6178667 6181928 6182293 6182884 6183645 6189384 6190863 6191488 6192164
 6192490 6195030 6195521 6198358 6204123 6207495 6209350 6212797 6215444 6217285 6219538
 6222525 6226206 6228472 6235000 6236594 6241995 6244897 6251722 6251798 6254364 6258834
 6260361 6260780 6261803 6261990 6262789 6262621 6267352 6268693 6273855 6273864 6273875
 6276905 6280467 6283601 6284941 6290157 6291547 6295971 6299525 6301218 6309061 6310736
 6311865 6314115 6314743 6318306 6318401 6324019 6324589 6329796 6332983

- **112964-15 – SunOS 5.9: ksh patch**

4223444 4372800 4402737 4498084 4702798 4750637 4753777 4786817 4790885 4801490 4804763
 4902634 4902666 4927873 4985002 5010511 5056943 5084140 6208198 6261715 6277643

- **112965-05 – SunOS 5.9: patch /kernel/drv/sparcv9/eri**

4467555 4467562 4479894 4496082 4518457 4528597 4546894 4599774 4637678 4688458 4797731
 4833490 4859554 4869132 5069764

- **112966-05 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/vold**

4638163 4794712 4817817 4895798 4903521 4905812 4961288

- **112968-01 – SunOS 5.9: patch /usr/bin/renice**

4502191

- **112970-09 – SunOS 5.9: patch libresolv**

4353836 4646349 4700305 4708913 4777715 4793327 4796596 4805812 4810893 4863307 4928758
 6205056 6315143

- **112972-17 – SunOS 5.9: snmpdx, mibiisa, libssagent.so.1 patch**

4395096 4633918 4643121 4691177 4706022 4743605 4782625 4787450 4870467 4872468 4883185
 4889976 4935739 4940928 4955967 4958796 4959348 5013979 5053265 6174926 6177562 6190633
 6191323 6227115 6228341 6275006 6277029

- **112985-04 – SunOS 5.9: Volume Management Localization message patch**

4692900 4775188 4804590 4928522

- **112998-04 – SunOS 5.9: /usr/sbin/syslogd patch**

4243984 4424387 4558909 4665297 4670382 4670414 4670468 4674435 4705713 4772471 4787413
 4812764 6221022

- **113020-02 – SunOS 5.9: Fixing Asia and Thai locales related problems**

4674651 4683429 4752139

- **113021-02 – SunOS 5.9: Sync with UTF-8 and correct yesstr/nostr definition**

4660271 4752139

- **113023-01 – SunOS 5.9: Broken preremove scripts in S9 ALC packages**

4707449

- **113027-06 – SunOS 5.9: libfrureg.so.1 Patch**

4687199 4726567 4911698 4987746 6309900 6374002

- **113028-01 – SunOS 5.9: patch /kernel/ipp/flowacct**

4645622 4658416

- **113029-06 – SunOS 5.9: libaio.so.1 librt.so.1 and abi_libaio.so.1 Patch**

4222093 4491712 4501001 4529739 4529831 4529893 4635940 4635945 4636591 4665847 4673944
4709171 4785625 4914854

- **113031-03 – SunOS 5.9: /usr/bin/edit Patch**

4349324 4635504

- **113032-03 – SunOS 5.9: /usr/sbin/init Patch**

4503048 4662013 4868026 6183189 6185257

- **113033-05 – SunOS 5.9: patch /kernel/drv/isp and /kernel/drv/sparcv9/isp**

4521066 4657311 4661696 4672156 4682951 4729861 4911589 4988575 5108175

- **113038-10 – SunOS 5.9: JFP manpages patch**

4808428 4809083 4695070 4742031 4688476 4710452 4717366 4851824 4852478 4907337 4907341
4961965 4961971 4979314 5046638 6458390

- **113046-01 – SunOS 5.9: fcp Patch**

4529255

- **113049-01 – SunOS 5.9: luxadm & liba5k.so.2 Patch**

4334693 4622990 4716238 4820044

- **113068-06 – SunOS 5.9: hpc3130 patch**

4672995 4698278 4762081 4796327 4799299 5062839

- **113070-01 – SunOS 5.9: ftp patch**

4658282

- **113071-01 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/acctadm**

4696138

- **113072-08 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/format**

4334693 4622990 4670999 4689757 4716238 4726667 4742992 4766161 4777332 4781880 4785642
4791416 4820859 4826988 6296988

- **113073-14 – SunOS 5.9: ufs and fsck patch**

1101554 4138139 4159866 4259149 4330959 4349828 4352265 4373671 4409244 4456383 4462054
4473583 4508010 4518313 4518317 4521998 4525396 4614574 4615383 4615387 4628758 4631270
4632281 4632750 4634737 4638166 4639871 4640210 4640578 4643091 4647351 4647352 4648067
4648917 4651323 4653481 4655532 4661975 4662172 4665951 4666299 4668224 4668960 4669927
4676143 4676731 4678627 4680610 4683907 4690701 4690983 4692082 4693730 4696312 4698878
4701093 4705486 4705513 4706477 4708464 4710160 4710390 4711136 4711969 4712873 4714648
4714923 4714988 4715369 4715443 4718706 4719744 4720138 4721112 4721124 4723547 4725693
4728078 4733518 4734635 4740375 4742084 4744248 4757140 4760182 4763631 4767357 4768557
4770487 4772960 4774716 4780601 4783931 4785875 4794712 4796134 4796430 4797967 4802281
4803148 4807979 4807983 4808079 4808489 4814438 4815160 4816898 4816970 4817074 4820916
4825181 4826191 4829570 4829703 4830061 4834259 4835153 4839059 4839268 4839900 4840737
4844927 4851366 4854233 4854408 4854410 4866439 4866453 4866715 4871258 4878873 4883796
4883904 4884138 4884359 4888423 4889619 4889692 4891129 4893952 4908210 4910467 4917281
4933271 4934391 4934706 4935923 4936591 4942378 4948494 4948693 4954374 4957434 4963065
4964390 4971146 4975541 4998030 4998625 5001778 5003251 5004305 5007951 5007980 5009586
5009684 5009733 5011522 5011799 5011839 5012030 5012606 5012815 5013142 5013143 5013146
5013148 5013166 5013167 5013172 5014316 5014558 5016028 5016531 5016684 5018631 5021214
5022111 5024116 5026796 5026803 5028147 5030217 5030655 5031644 5033523 5035160
5037602 5038605 5040057 5040128 5040154 5040306 5041157 5046091 5046783

- **113074-04 – SunOS 5.9: ngdr.conf patch**

4654448 4712441

- **113075-01 – SunOS 5.9: pmap patch**

4660871

- **113076-02 – SunOS 5.9: dhcprmgr.jar Patch**

4643257 4673713 4687991 4731988

- **113077-18 – SunOS 5.9: su driver patch**

4028137 4397794 4646641 4666211 4697226 4707716 4709299 4734045 4747008 4764445 4766657
4776340 4781075 4835358 4897539 4940982 4961206 4972451 5003327 5006489 5042551 5076535
5104883 6205778 6300839 6362844 6365805

- **113085-02 – SunOS 5.9: Thai font enhancement**

4688066 4708093 4747781

- **113086-01 – SunOS 5.9: iconv modules between zh_CN.euc and UTF-8 are incompatible**

4672806

- **113087-01 – SunOS 5.9: Cannot use other fonts to display Asian characters in xterm**

4692528

- **113088-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: Safe default permission violations**

4671052

- **113089-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: Bad postremove script of SUNWkuxft**

4706829

- **113090-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: Bad postinstall script of SUNWcdf**

4714477

- **113096-03 – X11 6.6.1: OWconfig patch**

4684184 4682788 4707897

- **113110-01 – SunOS 5.9: touch Patch**

4482571 4659955

- **113113-01 – SunOS 5.9: Problem with depend file of SUNWhdcl with HK locales in S9**

4670820

- **113125-01 – SunOS 5.9: missing libc_psr.so.1 symlink**

4704023

- **113145-02 – SunOS 5.9: Naturetech /platform links are not exist**

4707235

- **113146-07 – SunOS 5.9: Apache Security Patch**

4705227 4737442 4759882 4768221 4948830 5002881 5061043 5069902 5073308 5082985 6204933
6308127

- **113167-01 – SunOS 5.9: JFP xhost manpage patch**

4700173

- **113168-02 – SunOS 5.9: JFP Japanese TrueType Font**

4674655 4704720

- **113220-01 – SunOS 5.9: patch /platform/sun4u/kernel/drv/sparcv9/upa64s**

4114317

- **113224-01 – SunOS 5.9: efdaemon Patch**

4633009

- **113225-04 – SunOS 5.9: Timezone commands and zoneinfo database update Patch**

4649654 4683487 4959639 6226357 6348147 6380398

- **113226-05 – SunOS 5.9: hme Driver Patch**

4364929 4370044 4725575 4789487 4846087 4893349 4905982 4951777

- **113228-01 – SunOS 5.9: 64 bit locale links missing in Solaris 9**

4664306

- **113240-11 – CDE 1.5: dtsession patch**

4701185 4743546 4763733 4788212 4837640 4880232 4845302 4944400 5023052 5023659 5064140

- **113244-09 – CDE 1.5: dtwm patch**

4743546 4853367 4868035 4917291 4948424 4956257 4971032 5091345 6289158 6234179 6328101

- **113273-11 – SunOS 5.9: /usr/lib/ssh/sshd Patch**

4406914 4452339 4614979 4621219 4635546 4680230 4707788 4708590 4708846 4709475 4710108
 4710111 4711335 4713097 4713592 4714596 4718590 4719654 4720595 4725702 4733532 4740969
 4750989 4759759 4777436 4784872 4799122 4801044 4811575 4816590 4828467 4837140 4841566
 4857179 4860120 4862449 4895076 4923312 4924554 4925970 4926391 4926624 4928964 4939055
 4964839 4966521 4967674 4969306 4971630 4971810 4975057 4976155 4976745 4977574 4982991
 4990122 5002100 5005870 5006469 5006690 5006695 5006762 5012765 5013640 5014180 5014600
 5014946 5014951 5014969 5019044 5020325 5021347 5022903 5023074 5025296 5036242 5039669
 5048145 5048596 5049660 5054240 5054835 5055703 5058293 5060425 5060548 5060618 5062508
 5063375 5066767 5076804 5082282 5083048 5083197 5087792 5088670 5090324 5094142 5094528
 5109225 5109404 5109487 5109496 6176256 6181680 6182695 6185726

- **113277-47 – SunOS 5.9: st, sd and ssd drivers patch**

4027074 4273477 4313732 4334693 4336105 4358054 4360365 4375499 4412239 4492264 4498182
 4500536 4527668 4622990 4624524 4628670 4645691 4651339 4651386 4651679 4654850 4655315
 4656322 4656416 4672504 4673243 4716238 4722426 4725656 4728530 4731122 4734019 4734033
 4739785 4741112 4744131 4746064 4756712 4758160 4758953 4759557 4761337 4766742 4770566
 4773941 4773958 4774943 4776340 4788885 4797314 4799891 4801603 4804362 4808352 4809961
 4812565 4818293 4819633 4819888 4819983 4820811 4821401 4824592 4828972 4831997 4839726
 4841612 4848845 4851925 4852194 4854282 4861895 4866891 4870452 4886293 4894442 4895202
 4899611 4903496 4904408 4957614 4976566 4983202 4987026 5020296 5023670 5030903 5036894
 5047076 5067923 5087477 5095543 5103484 6177478 6183286 6216135 6224221 6225780 6230146
 6232414 6237149 6252197 6260355 6271626 6271814 6273374 6292076 6325893 6332948 6334799
 6339864 6340983 6450670

- **113278-15 – SunOS 5.9: NFS Daemon, rpcmod Patch**

4377827 4492876 4531028 4531029 4634519 4653361 4662762 4756472 4827409 4852381 4875916
4880986 4883107 4899933 4919172 4945167 4945997 5009814 5011718 5021165 5061331 6214620
6253388 6272865 6279317 6297186 6329593

- **113279-01 – SunOS 5.9: klmmod Patch**

4492876

- **113280-06 – SunOS 5.9: patch /usr/bin/cpio**

4646589 4661824 4674849 4677773 4679533 4679805 4688928 4711504 4738687 4740813 4768749
4771017 4789757 4790357 4792482 4802626 4803461 4810827 4844489 4879536 4894077 4911399
4971255 5006405 5021475

- **113281-01 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/netsvc/yp/ypbind**

4515621

- **113318-26 – SunOS 5.9: NFS patch**

4044295 4407669 4427971 4465488 4471199 4519102 4531662 4631449 4658316 4664740 4680195
4683308 4706036 4716413 4725574 4736706 4747261 4757427 4759341 4768760 4774462 4816496
4837285 4837290 4852269 4857986 4865731 4865982 4901380 4903465 4932305 4955962 4960336
4976875 4987169 5002826 5011676 5016808 5070448 5082540 5083133 5105010 6190519 6194271
6224764 6262249 6277307 6342430 6368753

- **113319-24 – SunOS 5.9: libnsl, nispasswd patch**

1226166 4152876 4156580 4192824 4248430 4353836 4390053 4419428 4503714 4517003 4644308
4648085 4655472 4668699 4674036 4680691 4684558 4686960 4687778 4688447 4690775 4691127
4700602 4710928 4724357 4727726 4738852 4745909 4753610 4756113 4757387 4765506 4767276
4772960 4806914 4817833 4823553 4825334 4828271 4915053 4941669 4966526 4973536 4977978
4990222 4996337 4997108 5016629 5071759 5106725 5109439 6225117 6254605 6261290 6301766

- **113320-06 – SunOS 5.9: se driver patch**

4028137 4626537 4655495 4730608 4735231 4755417 4813598 4849939 5064695

- **113321-06 – SunOS 5.9: patch sf and social**

4451550 4492895 4589401 4643768 4657427 4772960 4805731 4956868

- **113322-03 – SunOS 5.9: uucp patch**

4686442 4756979 4804089 4952456

- **113323-01 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/passmgmt**

4687515

- **113327-03 – SunOS 5.9: pppd Patch**

4647938 4684948 4902137

- **113329-17 – SunOS 5.9: lp Patch**

4530499 4593031 4626542 4635978 4640166 4640976 4648825 4652453 4687458 4687483 4697460
 4704146 4704153 4704157 4704303 4704376 4704377 4704786 4704793 4704798 4704812 4704824
 4704921 4704926 4705611 4705626 4705635 4705663 4705665 4705899 4705910 4705911 4705915
 4705933 4705937 4705943 4705947 4705948 4705950 4705957 4705959 4705977 4706351 4714952
 4734301 4751570 4761753 4761791 4775108 4809082 4809690 4819203 4902916 4915855 4925015
 4927784 4930119 4940032 4981362 4986866 4997994 5025203 5043034 5060450 5064120 5065608
 6186040 6208058 6289134 6314243 6314245

- **113330-03 – SunOS 5.9: rpcbind Patch**

1226166 4690775 6332990 6355614

- **113331-01 – SunOS 5.9: usr/lib/nfs/rquotad Patch**

4683311

- **113332-07 – SunOS 5.9: libc_psr.so.1 libmd5_psr.so.1 Patch**

4666069 4713409 4726041 4771216 4780672 4842538 4915833 4919019

- **113334-03 – SunOS 5.9: udfs Patch**

4548887 4651869 4655796 4714259 4762254 4865731

- **113335-03 – SunOS 5.9: devinfo Patch**

4522638 4869606 6244523

- **113374-02 – X11 6.6.1: xpr patch**

4704388

- **113400-01 – SunOS 5.9: zh_CN.GBK is incomplete for 64 bit**

4762909

- **113403-04 – SunOS 5.9: Tamil/Kannada/Gujarati/Bengali support**

4769446 4752426 4767689 4767747 4752139 4681931 4832435

- **113405-02 – SunOS 5.9: sync with 4751190 for th_TH.UTF-8 locales**

4751190

- **113407-03 – SunOS 5.9: Added Five stroke input method support in S9UR**

4741018 4783961 4749970 4749975 4837040

- **113409-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: Missing locales in SUNW_LOC in s9u3**

4780217

- **113424-01 – CDE 1.5: message patch to add IM title in the workspace menu**

4731995

- **113432-10 – SunOS 5.9: Fujitsu PRIMEPOWER - platform links**

4761257 4842538 4888179 4888265 4948727

- **113434-32 – SunOS 5.9: /usr/snadm/lib Library and Differential Flash Patch**

4313832 4385866 4391400 4501772 4642585 4654964 4655075 4658735 4660835 4707022 4718661
 4723051 4724529 4733324 4734649 4744624 4750446 4753030 4759768 4760694 4761562 4761681
 4763919 4767378 4767678 4768717 4793554 4801754 4812304 4826147 4827060 4832216 4834450
 4834885 4846793 4862735 4879767 4888173 4889594 4889623 4904610 4945516 4963778 4985741
 4985934 4989156 4997302 5031468 5050613 5096647 6178185 6225766 6242499 6254694 6331045
 6355905 6421466

- **113446-03 – SunOS 5.9: dman Patch**

4640542 4697219 4704996 4707993 4807502

- **113451-11 – SunOS 5.9: IKE patch**

4508547 4628774 4628901 4653051 4666686 4667873 4671563 4673333 4673338 4687237 4704460
 4731575 4739746 4741543 4742619 4745493 4745709 4752466 4762219 4804299 4823665 4832562
 4840090 4842368 4890236 4919747 4919802 4927429 4930399 4941232 4974853 4976759 4977335
 4982429 5016628 6259973 6265403 6268124 6316863 6317027 6326584 6331159 6333693 6340770
 6347364 6348585 6367959

- **113459-04 – SunOS 5.9: udp patch**

4511634 4708720 4727825 6251862

- **113467-01 – SunOS 5.9: seg_drv & seg_mapdev Patch**

4533078 4533108 4630754 4638608 4644346 4648171

- **113470-02 – SunOS 5.9: winlock Patch**

4533078 4533108 4630754 4638608 4644346 4648171 4712871

- **113471-09 – SunOS 5.9: Miscellaneous SunOS Commands Patch**

4254013 4533078 4533108 4533712 4630754 4638608 4644346 4648171 4668520 4686454 4845974
 4921661 4950966 5016934 5070816

- **113472-01 – SunOS 5.9: madv & mpss lib Patch**

4533078 4533108 4630754 4638608 4644346 4648171

- **113477-02 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: class action replacement scripts**

4712441

- **113480-02 – SunOS 5.9: usr/lib/security/pam_unix.so.1 Patch**

4192824 4248430 4390053 4700602 4756113

- **113482-02 – SunOS 5.9: sbin/sulogin Patch**

4192824 4248430 4390053 4700602 4960245

- **113484-02 – SunOS 5.9: WBEM SDK Localization message patch**

4733195

- **113485-01 – SunOS 5.9: DHCP Manager Localization message patch**

4733194

- **113490-04 – SunOS 5.9: Audio Device Driver Patch**

4660099 4670245 4701098 4714088 4776340 4778303 4790888 4824455 4829190 4831766 4946859

- **113493-03 – SunOS 5.9: adb, mdb, libproc.so.1 Patch**

4271957 4725696 4756192 4797219 6367266

- **113494-01 – SunOS 5.9: iostat Patch**

4511098 4679590

- **113495-05 – SunOS 5.9: cfgadm library patch**

4433415 4529095 4665200 4672974 4692545 4810029 4828994 4900705 4904520

- **113503-01 – SunOS 5.9: GigaSwift Ethernet 1.0 special postinstall script patch**

4735162

- **113513-02 – X11 6.6.1: platform support for new hardware**

4731970 4726510

- **113572-01 – SunOS 5.9: docbook-to-man.ts Patch**

4649171

- **113575-07 – SunOS 5.9: sendmail Patch**

4509017 4678365 4697068 4704672 4704675 4706596 4706608 4706632 4706660 4720281 4725387
 4728227 4737586 4756570 4798135 4808977 4809539 4826809 4835344 4839833 4924036 4960609
 4975106 4981319 5063431 5070217 5086978 6209101 6215377 6223059 6242365 6314932 6326006
 6397275 6401629 6403183 6424201

- **113576-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/dd Patch**

4632818

- **113579-09 – SunOS 5.9: ypserv/ypxfrd patch**

4192824 4248430 4283355 4390053 4700602 4737417 4823553 4882937 4890530 4905454 4926318
4951399 5022150 6332906

- **113580-01 – SunOS 5.9: mount Patch**

4715028

- **113581-01 – CDE 1.5: message patch to add to /usr/dt/bin/dtlp**

4646929

- **113713-21 – SunOS 5.9: pkginstall Patch**

4405634 4658542 4720211 4786593 4813860 4826609 4842146 4848801 4850925 4851760 4876125
4881141 4887795 4905318 4909852 4910538 4920769 4933503 4953336 4979694 5015850 5034108
5038650 5050493 5062603 6202671 6217206 6244125

- **113716-02 – SunOS 5.9: sar & sadc Patch**

4627454 4723484 5039002 5066317 6257191

- **113717-06 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For EDITABLE files**

4712441

- **113718-02 – SunOS 5.9: usr/lib/utmp_update Patch**

4659277 4705891

- **113720-02 – SunOS 5.9: rootnex Patch**

4692542 4887432

- **113742-01 – SunOS 5.9: smcpreconfig.sh Patch**

4704611

- **113746-01 – SunOS 5.9: uxl libc Localization message patch**

4760256

- **113764-05 – X11 6.6.1: keyboard patch**

4716868 4237479 4633549 4766231 6311410 6338085

- **113789-01 – CDE 1.5: dtexec patch**

4759425

- **113798-02 – CDE 1.5: libDtSvc patch**

4720526 4786448 4917860 5092678

- **113799-01 – SunOS 5.9: solregis Patch**

4762680

- **113813-02 – SunOS 5.9: Gnome Integration Patch**

4752366 4770721

- **113839-01 – CDE 1.5: sdtwsinfo patch**

4729180

- **113841-01 – CDE 1.5: answerbook patch**

4729199

- **113859-04 – SunOS 5.9: Sun ONE Directory Server 5.1 patch**

2057900 2063534 2065178 2069342 2079262 2097441 2097456 2097509 2097541 2097600 2097623
 2097654 2097665 2098090 2099197 2099422 2101163 2101262 2101315 2101333 2108974 2117983
 2118490 2119155 2120389 2120414 2120541 2120699 2121079 2121114 2121347 2121481 2121615
 2121644 2121688 4527608 4529402 4530466 4530509 4532320 4532757 4533706 4535845 4537169
 4538268 4550044 4589224 4592931 4614559 4615165 4616579 4617085 4617521 4619976 4620546
 4621920 4622371 4623119 4623199 4623308 4624693 4627760 4628444 4630124 4639310 4639408
 4639560 4640273 4640724 4643122 4645544 4645887 4646301 4646350 4646392 4649319 4649615
 4651972 4652031 4652859 4653016 4656657 4656846 4658787 4658810 4663658 4665564 4665571
 4668480 4669525 4669879 4671360 4672889 4672914 4672960 4674387 4675387 4682961 4683476
 4684519 4686213 4687038 4689805 4691101 4692956 4695152 4697500 4704039 4704635 4705641
 4707395 4708296 4709128 4711201 4711202 4713256 4714196 4714358 4715065 4715955 4716340
 4716745 4717121 4719564 4722987 4723630 4732352 4735062 4735919 4737978 4738221 4738639
 4742083 4742450 4743633 4743796 4748399 4749234 4751092 4753087 4754469 4754595 4756215
 4758387 4759670 4761010 4765575 4767182 4773751 4773823 4773920 4776001 4777358 4778128
 4778154 4778334 4780230 4780807 4781823 4783910 4784168 4786154 4786475 4786504 4786547
 4787220 4789601 4791877 4795280 4797685 4802963 4805734 4807803 4809504 4809846 4813355
 4813998 4815733 4817676 4818005 4819399 4819710 4819904 4820037 4821198 4821289 4824825
 4826265 4826843 4826863 4827569 4829894 4830417 4834508 4836446 4836491 4838624 4838863
 4840786 4840960 4842620 4846165 4846332 4848325 4850717 4850722 4851870 4851879 4854827
 4854898 4856290 4856329 4856331 4857614 4863001 4863706 4863943 4864622 4865435 4865525
 4865653 4865859 4866060 4867299 4880352 4881181 4881653 4883250 4884416 4885686 4886421
 4891116 4894995 4897873 4898449 4899320 4903397 4904414 4908443 4911023 4911678 4911711
 4912539 4912664 4913176 4913984 4916248 4918912 4920323 4921143 4921426 4922595 4925223
 4928129 4929089 4930098 4932782 4935077 4938445 4942664 4943975 4945548 4946487 4948365
 4953750 4957279 4957314 4957384 4965036 4973380 4976005 4976010 4976129 4976481 4980328
 4990956 4994274 5013318 5014116 5024106 5026748 5044378 5047431 5052660 5053912 5071022
 5071675 5072159 5084650 5088018 5098376 5103276 5104371 6176080 6185038

- **113861-04 – CDE 1.5: dtksh patch**

4729959 4814825 4802900 4924920

- **113863-01 – CDE 1.5: dtconfig patch**

4732757

- **113868-02 – CDE 1.5: PDASync patch**

4653758 4705576 4642465 4783087 4815680

- **113896-06 – SunOS 5.9: en_US.UTF-8 locale patch**

4810102 4893213 4857313 4879620 4894641 4839796 4918666 4847017 4857857 4860057 4860065
4839577 4846689 4874481 4811234 4833698 4843218 4681931 4791073 4647462 4635650 4648210
4739481 4770344 4774817 4778370 4775106 4501634 4778686 4805695 4614828 4668356 4668371
4798658 4789856 4762506 4746498 4749928 4633291 4758189 4761039 4753468 4757704 4765728
4765666 4751190 4751699 4767922 4768220

- **113902-03 – SunOS 5.9: Asian UTF-8 iconv modules enhancement**

4702278 4750690 4772950

- **113904-03 – SunOS 5.9: 7 indic scripts support in Asian UTF-8 locales**

4768804 4752112 4752144 4790423 4681931

- **113906-01 – SunOS 5.9: Fixed some functional problems in Chinese locales**

4731208 4677334

- **113908-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: Missing locales in SUNW_LOC for SUNWinttf**

- **113909-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: Broken preremove script in S9U3 Asia BCP pkgs**

4780225

- **113911-01 – SunOS 5.9: BCP applications hangs with NIS in asian locales**

4784597

- **113923-02 – X11 6.6.1: security font server patch**

4764193

- **113973-01 – SunOS 5.9: adb Patch**

4664740

- **113975-01 – SunOS 5.9: ssm Patch**

4709170

- **113977-01 – SunOS 5.9: awk/sed pkgscripts Patch**

4737594

- **113978-01 – SunOS 5.9: syseventconfd Patch**

4737409 4745393

- **113981-04 – SunOS 5.9: devfsadm Patch**

4259149 4334693 4473583 4517655 4622990 4703964 4716238 4734853 4744248 4763631 4908675

- **113984-01 – SunOS 5.9: iosram Patch**

4721302

- **114003-01 – SunOS 5.9: bbc driver Patch**

4706975

- **114004-01 – SunOS 5.9: sed Patch**

4727485

- **114006-01 – SunOS 5.9: tftp Patch**

4656587

- **114008-01 – SunOS 5.9: cachefs Patch**

1250956 4110712 4230685 4338920 4467621 4507274 4616030 4698882 4698886 4740460

- **114010-02 – SunOS 5.9: m4 Patch**

4174383 4837874

- **114014-10 – SunOS 5.9: libxml, libxslt and Freeware man pages Patch**

4634845 4665029 4668974 4702333 4708162 4768591 4781721 4787493 4793452 4806701 4822658

4822718 4833908 4839883 4839885 4870078 4876873 5069958 5104326

- **114016-01 – tomcat security patch**

4759554

- **114020-03 – 5.9: Synching Euro UTF-8s**

4773318 4788627 4846281

- **114037-02 – SunOS 5.9: patch for supporting Unicode3.2 & indic script**

4774476 4823451

- **114039-02 – SunOS 5.9: Bug fix for dtpad column in Euro UTF-8 locales**

4773166 4897744

- **114049-12 – SunOS 5.9: NSPR 4.1.6 / NSS 3.3.4.5**

4840298 4840300 4840303 4856631 4856633 4884151 4933535 4945089 4964119 4972840 4991529

5004563 5016209 5025584 5069683

- **114125-01 – SunOS 5.9: IKE should support hardware assist for certs and Oakley**

4666686 4673333 4687237 4704460 4739746 4745493 4745709

- **114127-03 – SunOS 5.9: abi_libefi.so.1 and fmthard Patch**

4334693 4622990 4716238 4888423 4906621 4935076

- **114128-03 – SunOS 5.9: sd_lun patch**

4334693 4498182 4622990 4628670 4716238 4741112 4773958 4776340 4788885 4801603 4818293
4820811 4831997 4839726 6230146

- **114129-02 – SunOS 5.9: multi-terabyte disk support -libuuid patch**

4334693 4622990 4716238 4888423

- **114131-03 – SunOS 5.9: multi-terabyte disk support - libadm.so.1 patch**

4259149 4334693 4473583 4622990 4716238 4744248 4763631 6197410

- **114133-02 – SunOS 5.9: mail Patch**

4705717 5074748

- **114135-03 – SunOS 5.9: at utility Patch**

4776480 4873835

- **114153-01 – SunOS 5.9: Japanese SunOS 4.x Binary Compatibility(BCP) patch**

4775198 4775194

- **114165-01 – CDE 1.5: SUNWsregu Localization message patch**

4762680

- **114211-02 – SunOS 5.9: WBEM Localization message patch**

4786427 4767999 5050161

- **114215-04 – SunOS 5.9: Install/admin Localization message patch**

4788175 4804609 4818688 4974126

- **114217-03 – SunOS 5.9: Install/admin Localization message patch**

4788175 4818688 4841337

- **114219-11 – CDE 1.5: sdtimage patch**

4746059 4728421 4822709 4849909 4705973 5044241 5024924 5035922 6203734 4284511 6217996

- **114221-02 – SunOS 5.9: UR bug fixes**

- 4791189 4789202
- **114224-05 – SunOS 5.9: csh patch**
- 4198269 4479584 5100865 6209912 6307905 6311438 6314637 6336149
- **114227-01 – SunOS 5.9: yacc Patch**
- 4735960
- **114229-01 – SunOS 5.9: action_filemgr.so.1 Patch**
- 4714071
- **114233-05 – SunOS 5.9: rsm Patch**
- 4679690 4700142 4728023 4754589 4780149 4781177 4792165 4816959 4926718
- **114235-01 – SunOS 5.9: libsendfile.so.1 Patch**
- 4640982 4711013
- **114244-01 – SunOS 5.9: some characters can't be shown in GBK and GB18030 locales**
- 4771032
- **114249-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH:Broken preremove scripts in some of S9 pkgs**
- 4829407
- **114259-02 – SunOS 5.9: usr/sbin/psrinfo Patch**
- 4841716 4983696
- **114276-02 – SunOS 5.9: Extended Arabic support in UTF-8**
- 4786458 4820267
- **114282-01 – CDE 1.5: libDtWidget patch**
- 4776648
- **114312-02 – CDE1.5: GNOME/CDE Menu for Solaris 9**
- 4748729 5073813
- **114321-03 – SunOS 5.9: Patch Manager Localization message patch**
- 4795479 4826155 4929385
- **114326-03 – SunOS 5.9: /usr/lib/dcs Patch**
- 4683247 4775925 4810029
- **114329-02 – SunOS 5.9: pax Patch**

4766460 6383586

- **114331-02 – SunOS 5.9: power Patch**

4776968 4785495 6342066 6358078 6414741

- **114332-23 – SunOS 5.9: c2audit & *libbsm.so.1 Patch**

4383820 4445394 4457028 4473026 4499864 4501255 4592827 4647549 4647683 4647684 4685545
 4688063 4712958 4715363 4728819 4732828 4735135 4745590 4750749 4761401 4778984 4779457
 4805352 4809341 4818300 4828108 4829732 4833724 4835739 4842901 4845277 4857394 4892034
 4904733 4916342 4959077 4964996 4975802 5012065 5042248 5064001 5076694 5076801 5082875
 5093165 6174905 6192370 6260039 6281786

- **114335-02 – SunOS 5.9: usr/sbin/rmmount Patch**

4628233 4705226 4726100

- **114339-01 – SunOS 5.9: wrsm header files Patch**

4619267 4661424 4694445 4738280

- **114344-21 – SunOS 5.9: arp, dlcosmk, ip, and ipgpc Patch**

1148813 1240645 4075054 4294701 4327168 4341344 4396697 4417647 4425786 4475921 4479794
 4488694 4532805 4532808 4532860 4559001 4587434 4592876 4635766 4637330 4637788 4639729
 4644731 4647361 4648299 4648388 4653899 4658177 4660167 4661975 4664957 4671440 4673190
 4675796 4676731 4678130 4685978 4688392 4688398 4688704 4690565 4690625 4691277 4693464
 4694560 4699047 4701276 4703689 4703864 4705755 4715897 4726444 4728056 4728423 4728429
 4728541 4737760 4751531 4763906 4772797 4773326 4775648 4775897 4777295 4777791 4783283
 4796820 4798787 4799577 4803389 4804064 4804756 4806220 4808860 4817668 4825472 4828297
 4834142 4836677 4837086 4838049 4859127 4863621 4865207 4867136 4879396 4914143 4915436
 4929493 4959954 4963675 4963771 4969154 4971665 4974963 4977677 4980989 4984037 4984625
 4995674 5005545 5013238 5018661 5018864 5019039 5025728 5035061 5049232 5062168 5073182
 5073668 5078640 5084073 5084344 5096257 6195122 6212756 6214946 6220619 6227282 6227733
 6229034 6231263 6235832 6241739 6257723 6302789 6331032 6332525

- **114349-04 – SunOS 5.9:/sbin/dhcapagent Patch**

4118738 4259149 4473583 4715953 4721209 4744248 4763631 4902398

- **114352-03 – SunOS 5.9: /etc/inet/inetd.conf Patch**

4761190

- **114356-08 – SunOS 5.9: /usr/bin/ssh Patch**

4406914 4452339 4614979 4621219 4635546 4665983 4680230 4685658 4707786 4707788 4708846
 4709475 4710108 4710111 4711335 4713097 4713592 4714596 4719654 4720595 4733532 4740969
 4750989 4759759 4763864 4777436 4784872 4799122 4804165 4811575 4816590 4828467 4837140
 4841566 4857179 4862449 4924554 4925970 4926391 4926624 4928964 4939055 4964839 4966521
 4967674 4969306 4971630 4971810 4975057 4976155 4976745 4977574 4982991 4990122 5002100

5005870 5006690 5006695 5006762 5012765 5013640 5014180 5014600 5014946 5014951 5014969
 5019044 5020325 5021347 5022903 5023074 5025296 5036242 5048596 5049660 5054240 5054835
 5058293 5060425 5060618 5062508 5063375 5066767 5076804 5082282 5083048 5083197 5088670
 5090324 5094142 5094528 5099653 5109225 5109404 5109487 5109496 6176256 6181680 6182695
 6185726 6402708

- **114361-01 – SunOS 5.9: /kernel/drv/lofi Patch**

4302817 4331110 4335489 4342447 4348291 4361731 4389001 4446576 4477843 4505225 4526709
 4628272 4649233

- **114363-03 – SunOS 5.9: sort Patch**

4641790 4725245 4817791 4851433 4897491 4913776 6178339

- **114369-01 – SunOS 5.9: prtvtoc patch**

4334693 4622990 4716238

- **114370-05 – SunOS 5.9: libumem.so.1 patch**

4518988 4694626 4709984 4766343 4865797 4924624 4928859 5017315 5018265 6304072

- **114371-01 – SunOS 5.9: UMEM - libumem (mdb components) patch**

4518988 4694626 4709984

- **114372-01 – SunOS 5.9: UMEM - llib-lumem patch**

4518988 4694626 4709984

- **114373-01 – SunOS 5.9: UMEM - abi_libumem.so.1 patch**

4518988 4694626 4709984

- **114374-01 – SunOS 5.9: Perl patch**

4675538 4724626 4768924

- **114377-04 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - BSC comms support**

4713409 4764078 4781113 4783538 4819633 4855020 4717667

- **114380-04 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto librsc support**

4726041 4810029 4893015 5087929 6247378

- **114383-04 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - pca9556 driver**

4726041 4771216 4781113 4819633 6256312

- **114387-06 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - scadm support**

4448914 4726041 4733895 4799727 4812658 6333508 6376763 6382379 6384404

- **114389-03 – SunOS 5.9: devinfo Patch**

4745581 4794712 4870565

- **114470-10 – SunOS 5.9: Sun Fire V880z/XVR-4000 Graphics Patch**

4796037 4797704 4796973 4799777 4792452 4801660 4800526 4812003 4802530 4804995 4808067
4796917 4815925 4761925 4782193 4793942 4793943 4827241 4809512 4841825 4841963 4806680
4747098 4845198 4898864 4891631 4809518 4887691 4890323 4912940 4914546 4907857 4909722
4919873 4919888 4925363 4926113 4958423 4959146 4949497

- **114473-08 – SunOS 5.9: Fujitsu CPU performance counters patch**

4893015 4968806 4810029 4924929 4924938 4907860 4810655 4944951 5030223 6247378 5087929

- **114482-04 – SunOS 5.9: Product Registry CLI Revision**

4385866 4391400 4655075 4753030 4767378 4767678 4768717 4796532 4801439 4863376

- **114495-01 – CDE 1.5: dtprintinfo patch**

4788209

- **114501-01 – SunOS 5.9: drmproviders.jar Patch**

4712814

- **114503-14 – SunOS 5.9: usr/sadm/lib/usermgr/VUserMgr.jar Patch**

4418366 4750864 4756441 4762502 4770830 4803524 4810642 4914834 4931702 4946973 4997883
5080683 5092404 5092418 6192017 6196606 6236163 6242775 6242778

- **114509-01 – SunOS 5.9: cs_CZ Locale not usable**

4793388

- **114513-03 – SunOS 5.9: patch for Japanese and English X man pages**

4811454 4797892 4801395 4849095 4852478

- **114516-01 – SunOS 5.9: patch for English sdtudctool man pages for S9UR3**

4808428

- **114520-07 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For postinstall script**

4786712 4809906 4834885 4825349 4824518

- **114538-36 – SunOS 5.9: Sun XVR-100 Graphics Accelerator Patch**

4792630 4812350 4820147 4820254 4820999 4821832 4822149 4822443 4823003 4824233 4827346
4827720 4827837 4829583 4832885 4848884 4850955 4855985 4856743 4856749 4857139 4857143
4857383 4857946 4858706 4860082 4865081 4868991 4881586 4891308 4893876 4897985 4902258
4907678 4908183 4910095 4910515 4910717 4910866 4916095 4919863 4920467 4928284 4928533

4928937 4930458 4931721 4940574 4941862 4942140 4945654 4946685 4946693 4947147 4950397
 4951134 4953302 4953842 4956464 4958535 4962975 4962983 4964028 4966472 4967365 4967389
 4969448 4978512 4985123 4991615 5002928 5015658 5026994 5031372 5048332 5069595 5070401
 5098578 6182271 6214907 6242033 6260233 6282798 6282999 6302266 6307293 6345888 6350133
 6373835 6377359 6385527

- **114555-31 – SunOS 5.9: Sun XVR-1200 and Sun XVR-600 Graphics Accelerator Patch**

4744371 4767906 4799602 4807907 4808263 4819200 4821638 4822159 4822276 4827925 4829846
 4830544 4830549 4833546 4834370 4834943 4835514 4837176 4837418 4837510 4838461 4847177
 4849519 4853020 4860054 4860468 4860493 4867922 4870055 4881084 4890241 4891452 4891672
 4891690 4891715 4893057 4893813 4897827 4899854 4899910 4901449 4904242 4904711 4904716
 4906894 4907853 4910656 4911553 4911753 4913881 4915313 4923657 4925028 4925035 4925735
 4926474 4927936 4932555 4933144 4935228 4935929 4958168 4961263 4971719 4977935 4982296
 4990538 4991126 5004939 5017713 5085848 6181282 6202655 6205888 6210235 6244529 6248620
 6250233 6260241 6266390 6278448 6279278 6293254 6297322 6311081 6319362 6368913 6364976

- **114561-01 – X11 6.6.1: X splash screen patch**

4807285

- **114564-09 – SunOS 5.9: /usr/sbin/in.ftpd Patch**

4705192 4706072 4714534 4791264 4806960 4864687 4902032 5012436 5015948 5016478 6239487
 6316337

- **114566-02 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For EDITABLE files**

- **114569-02 – SunOS 5.9: libdbm.so.1 Patch**

4668699 4825407

- **114571-02 – SunOS 5.9: libc.so.*.9/bcp Patch**

4668699 4934260

- **114584-01 – SunOS 5.9: i2c driver patch**

4720029

- **114586-01 – SunOS 5.9: bzip Patch**

4634845 4659775

- **114598-03 – 5.9: UTF-8 dtcm chars not appearing, dtpad too wide**

4787603 4418543

- **114600-06 – SunOS 5.9: vlan driver patch**

4619750 4788391 4730657 4847441 5065648 5074196 5097913 6216827 6421519 6313896

- **114602-04 – X11 6.6.1: libmpg_psr patch**

4830251 4860869 4877022 4914747

- **114607-02 – SunOS 5.8: SPECIAL PATCH: pkginfo replacement scripts (S9U3)**
- **114612-01 – SunOS 5.9: ANSI-1251 encodings file errors**

4812123

- **114624-02 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH Upgrade bug UR**

4826785 4819542 4708858 4895101

- **114633-02 – SunOS 5.9: ja_JP.UTF-8 locale patch**

4749205 4868872

- **114636-03 – SunOS 5.9: KCMS security fix**

4661008 4774256 5040882

- **114641-03 – SunOS 5.9: Japanese iconv for UTF-8 patch**

4706863 4671351 4671363 4109290 5077658

- **114654-02 – CDE 1.5: SmartCard patch**

4785011

- **114677-11 – SunOS 5.9: International Components for Unicode Patch**

4731597 4757662 4757683 4783065 4784646 4865107 4872194 4903197 4906617 4907166 4910918
4911499 4922414 4936232 4936244 4954656 4984965 4987315 5086303 2122158 4785261 6217550
6354379

- **114684-03 – SunOS 5.9: samba Patch**

4768591 4787493 4833908 4839883 4839885 5080288 5095997 6203085

- **114711-03 – SunOS 5.9: usr/sadm/lib/diskmgr/VDiskMgr.jar Patch**

4818306 4825948 4931702

- **114713-02 – SunOS 5.9: newtask Patch**

4798119 4970817

- **114716-02 – SunOS 5.9: rcp patch**

1149636 4771893

- **114718-05 – SunOS 5.9: usr/kernel/fs/pcfs Patch**

4413261 4782709 4865731 4898397 5047630 5065397 6180557

- **114729-01 – SunOS 5.9: usr/sbin/in.telnetd Patch**

4798177

- **114731-09 – SunOS 5.9: glm driver patch**

4450607 4661880 4696162 4730256 4741149 4744095 4770492 4776340 4799457 4819026 4823893
4919566 4929125 4995568 5065435 6258111 6350993

- **114734-01 – SunOS 5.9: /usr/ccs/bin/lorder Patch**

4747253

- **114736-01 – SunOS 5.9: usr/sbin/nisrestore Patch**

4759428

- **114818-06 – GNOME 2.0.0: libpng Patch**

4809087 4901822 4979460 5019699 5075227

- **114822-04 – GNOME 2.0.2: 64bit libpng Patch**

4901822 5019699 5048062 5075227

- **114861-01 – SunOS 5.9: /usr/sbin/wall**

4803267

- **114875-01 – SunOS 5.9: XML library source patch**

4822718

- **114923-01 – SunOS 5.9: /usr/kernel/drv/logindmux Patch**

4674066

- **114926-02 – SunOS 5.9: kernel/drv/audiocs Patch**

4777298 4834087

- **114927-01 – SunOS 5.9: usr/sbin/allocate Patch**

4714170 4809341

- **114934-01 – SunOS 5.9: usr/platform links patch**

4761257

- **114947-02 – SunOS 5.9: ATOK12 patch**

4859514 4871090 4938649 4824729 4909461

- **114951-07 – SunOS 5.9: FUJITSU ULTRA LVD SCSI Host Bus Adapter Driver 1.0 patch**

4817865 4837781 4837785 4837786 4837787 4837788 4837789 4917774 4917776 4917778 4951668
5006444 5048561 5048567 6342915 6342916 6342918 6398480

- **114963-01 – SunOS 5.9: SCRIPT patch**
- **114965-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For editable files only**
4834885 4841998
- **114967-02 – SunOS 5.9: FDL patch**
4892060 4892039 4796458
- **114971-02 – SunOS 5.9: usr/kernel/fs/namefs Patch**
4711164 4921637
- **114974-01 – SunOS 5.9: kernel/drv/ifp Patch**
4779757
- **114975-01 – SunOS 5.9: usr/lib/inet/dhcp/svcdm/dhcpcommon.jar Patch**
4782691
- **114994-13 – SunOS 5.9: FUJITSU PCI GigabitEthernet 2.0 patch**

4841231 4841239 4841244 4841248 4891077 4891084 4940787 4940788 4976257 4976340 4976348
4976355 5035580 5067290 6178695 6178751 6263610 6314180 6314192 6326340 6328936 6389287
6389294 6389298 6411854 6411855 6411856

- **115006-01 – SunOS 5.9: kernel/strmod/kb patch**
4354427
- **115008-01 – SunOS 5.9: /usr/sbin/ipqosconf patch**
4664957
- **115010-01 – SunOS 5.9: Providing Platform Support for Enchilada Tower Server**
4780968
- **115012-01 – SunOS 5.9: Sunfire-V250-Enchilada-Tower librsc patch**
4780968
- **115014-01 – SunOS 5.9: /usr/platform/SUNW,Sun-Fire-V250/sbin/scadm patch**
4780968
- **115018-01 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/adb/dqblk**
4807983
- **115020-01 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/adb/ml_odunit**
4794712

- **115022-03 – SunOS 5.9: quota utilities**
4794712 4807979 4817074 4905041 5024217
- **115024-01 – SunOS 5.9: file system identification utilities**
4794712
- **115028-02 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/fs/ufs/df**
4794712 4800102
- **115030-03 – SunOS 5.9: Multiterabyte UFS mount patch**
4347385 4794712
- **115095-01 – SunOS 5.9: iconv cannot convert correctly among some Asian Locales**
5010003
- **115107-01 – SunOS 5.9: script patch for FJSVvplu pkginfo files**
4761257
- **115158-10 – X11 6.6.1: xscreensaver patch**
4841343 4838390 4849641 4871833 4818344 6237901 6203951
- **115161-01 – CDE 1.5: Addition of IFD card reader support for localization**
4852556
- **115172-01 – SunOS 5.9: kernel/drv/le Patch**
4105008
- **115173-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/sparcv7/gcore /usr/bin/sparcv9/gcore Patch**
4832466
- **115177-01 – SunOS 5.9: SUNWjxmft/SUNWjxcft postinstall patch**
4851735
- **115257-02 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For EDITABLE files**
- **115258-05 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For EDITABLE files**
- **115259-03 – SunOS 5.9: patch usr/lib/acct/acctcms**
4701876 5040580 6200474 6227221
- **115284-02 – SunOS 5.9: script patch for FJSVulsa postinstall files**
4846488

- **115296-01 – SunOS 5.9: script patch for NATEvplu.u pkginfo file**

4858453

- **115315-02 – SunOS 5.9: dtlogin issues**

4854079

- **115322-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For EDITABLE files**

- **115336-04 – SunOS 5.9: /usr/bin/tar, /usr/sbin/static/tar Patch**

4481801 4517714 4662552 4697540 4714066 4727287 4756186 4819401 4864230 4918784 4977739
5026498 5027397 6350910

- **115350-01 – SunOS 5.9: ident_udfs.so.1 Patch**

4855145

- **115354-01 – SunOS 5.9: slpd Patch**

4471576 4767287 4837368

- **115381-01 – SunOS 5.9: Japanese xlibi18n patch**

4851271

- **115426-02 – SunOS 5.9: UDC localization patch**

4765005 4881642 6230779 2126785

- **115488-01 – SunOS 5.9: patch /kernel/misc/busra**

4718370 4792953 4834066 4835953 4853539

- **115537-01 – SunOS 5.9: /kernel/strmod/ptem patch**

4821833

- **115542-02 – SunOS 5.9: nss_user patch**

4152876 4353836 6235336

- **115544-02 – SunOS 5.9: nss_compat patch**

4152876 4156580 4353836 5097644

- **115545-01 – SunOS 5.9: nss_files patch**

4152876 4353836

- **115553-23 – SunOS 5.9: USB Drivers and Framework Patch**

4108775 4237764 4354427 4402400 4419540 4507408 4631151 4647358 4655789 4660516 4660846
4662300 4665811 4702501 4702930 4706244 4707437 4717238 4718437 4723993 4735031 4735465

4737194 4740677 4745648 4754679 4756231 4757590 4765718 4769577 4776340 4778303 4781283
 4782292 4783585 4783855 4785916 4786786 4788315 4790678 4798619 4800029 4800123 4801046
 4804860 4806185 4810230 4811501 4811758 4812935 4816509 4824054 4824763 4826171 4827611
 4827617 4828972 4829626 4831766 4831810 4834143 4836298 4836606 4838235 4839605 4841489
 4844296 4844570 4844892 4845179 4847102 4847113 4847119 4847308 4847936 4848295 4852863
 4854629 4858443 4860534 4860753 4865592 4869166 4869177 4869326 4869362 4869396 4875388
 4875402 4875818 4876234 4876900 4879738 4879741 4879799 4880227 4881576 4881577 4881927
 4883138 4885542 4889441 4889499 4889600 4889606 4891054 4891058 4891599 4891604 4893834
 4894475 4896760 4898083 4898174 4898176 4898852 4899551 4900007 4900364 4900383 4900900
 4904316 4904408 4905617 4908469 4914341 4915001 4916009 4916643 4916848 4917711 4919248
 4919251 4919260 4920655 4922683 4923069 4927543 4927648 4935335 4939237 4940092 4941082
 4949270 4950073 4951232 4955343 4961257 4967673 4971510 4971592 4976583 4976792 4988379
 4993111 4994700 4995592 5001058 5003764 5006448 5008493 5017095 5017983 5018218 5018235
 5018742 5021075 5021083 5028263 5028398 5032631 5034703 5037067 5039148 5044959 5045076
 5047712 5049150 5049215 5053199 5066952 5079178 5086513 5101543 5102060 5107848 5109007
 6176526 6197611 6201257 6230925 6237500 6256245 6256312 6261642 6265177 6267718 6273106
 6287550 6322966 6337131 6338046 6340699 6370860 6381666 6412476 6420302 6423586 6437529
 6445364 6451761 6456876

- **115591-02 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: class action replacement scripts**

4874869 4878696

- **115592-02 – SunOS 5.9: Gnome I10n message updates and bug fixes for UR5**

4907339 4894688

- **115594-02 – SunOS 5.9: Gnome I10n help updates and bug fixes for UR5**

4920961 4913386

- **115607-02 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: class action replacement scripts**

4878897

- **115608-01 – SunOS 5.9: Japanese fonts patch**

4864476 4876428

- **115646-01 – SunOS 5.9: libtnfprobe shared library Patch**

4654232 4803469

- **115651-02 – SunOS 5.9: usr/lib/acct/runacct Patch**

4383138 4853917

- **115654-01 – SunOS 5.9: Some scalable ISO8859-7 Greek fonts are missing glyphs**

4750555

- **115669-03 – SunOS 5.9: UltraSPARC-IV Solaris support (gptwo_cpu) patch**

4810029 4984562 6247378

- **115671-01 – SunOS 5.9: mntinfo Patch**

4747261

- **115675-01 – SunOS 5.9: /usr/lib/liblgrp.so Patch**

4845974 4863473 4880116

- **115677-02 – SunOS 5.9: usr/lib/ldap/idsconfig Patch**

4632409 4701755 4701811 4739447 4823553 4857063

- **115681-01 – SunOS 5.9: usr/lib/fm/libdiagcode.so.1 Patch**

4864979

- **115683-03 – SunOS 5.9: Header files Patch**

4259149 4473583 4744248 4763631 4837086

- **115685-01 – SunOS 5.9: sbin/netstrategy Patch**

4259149 4473583 4744248 4763631

- **115687-02 – SunOS 5.9:/var/sadm/install/admin/default Patch**

4850925

- **115693-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/last Patch**

1260759

- **115695-01 – SunOS 5.9: /usr/lib/netsvc/yp/yppush Patch**

4822978 4854241 4874752 4874757 4882029 4884927 4884929

- **115697-02 – SunOS 5.9: mtmalloc lib Patch**

4464080 4782401 4831968 4846231 4848368 4851334 4856955 4873146 4873154 4962171

- **115706-01 – SunOS 5.9: init.wbem cannot register CimomService & WBEMLogServiceBean**

4878180

- **115713-01 – CDE 1.5: dtfile patch**

4629782

- **115734-02 – GNOME 2.0.2: Virtual File System Patch**

4858368 4871285

- **115736-06 – GNOME 2.0.2: Window Manager Patch**

- 4839485 4928511 4749223 4760281 6244142 6329136 6348886
- **115738-05 – GNOME 2.0.2: Base GUI Libraries Patch**
4884486 4858882 4861510 4871703 4875424 5103573 6317418
 - **115740-02 – GNOME 2.0.2: Printing Technology Patch**
4909213 4879252 4901967
 - **115742-02 – GNOME 2.0.2: File Search Tool Patch**
4909213 4858420
 - **115744-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For editable files only**
4733324
 - **115754-02 – SunOS 5.9: zlib security Patch**
4822658 4870078
 - **115793-01 – SunOS 5.9: CDE Localization message patch**
4869761
 - **115799-01 – SunOS 5.9: WBEM/WBEM SDK Localization package pkginfo patch**
4760092
 - **115802-02 – SunOS 5.9: Bug fix for xscreensaver message and dtlogin locale locales**
4898929
 - **115812-02 – GNOME 2.0.2: Dtlogin Integration Patch**
4866734 4765131
 - **115835-03 – SunOS 5.9: Ghostscript patch**
4795491 5045800 5046739 5060316 6333285 6343050
 - **115837-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: Alternate Root Compliance of postremove script**
4718760
 - **115878-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/logger Patch**
4859519 4874048
 - **115920-01 – SunOS 5.9: CDE 1.5 help patch**
4892024
 - **115926-10 – SunOS 5.9: NSPR 4.1.6 / NSS 3.3.11 / JSS 3.1.4**

4885952 4886464 4888311 4903564 4933535 4945089 4972840 4991529 5004563 5011517 5016498
5016209 4877287 5044857 5009031 4961743 5083437

- **115936-01 – SunOS 5.9: Bug fix for Korean translation**

4904741

- **115949-05 – SunOS 5.9: UDC patch**

4899738 4934214 4963466 6230779 2126785 4765005

- **115958-01 – GNOME 2.0.2: Help Database Patch**

4880052

- **115964-01 – GNOME 2.0.2: texteditorshare Patch**

4901967

- **115966-01 – GNOME 2.0.2: Terminal emulator Patch**

4901967

- **115968-01 – GNOME 2.0.2: Performance meter Patch**

4901967

- **115970-01 – GNOME 2.0.2: Panel Applets Utility Patch**

4901967

- **115972-03 – CDE 1.5: dtterm libDtTerm patch**

4822385 4969514

- **115974-01 – GNOME 2.0.2: User documentation Patch**

4901967

- **115986-02 – SunOS 5.9: ptree Patch**

4757218 4912227

- **115992-01 – SunOS 5.9: /usr/include/limits.h Patch**

4731122

- **116006-01 – GNOME 2.0.2: Libraries Patch**

4875223 4905797

- **116009-05 – SunOS 5.9: sgcn & sgsbbc patch**

4860142 4955138 5038603 5090037 6247378 6275367 6290497

- **116012-02 – SunOS 5.9: ps utility patch**
4519180 4706669 4785109
- **116014-06 – SunOS 5.9: /usr/sbin/usermod patch**
4742154 4938701 5027247 6211845 6221091 6249813
- **116016-03 – SunOS 5.9: /usr/sbin/logadm patch**
4763519 4824041 4885799
- **116039-02 – SunOS 5.9: sun4u platform links patch**
4749396 6297712 6342066
- **116047-03 – SunOS 5.9: hdfs Patch**
4865731 5010909 6244328 6332874 6338131 6343199
- **116049-01 – SunOS 5.9: fdfs Patch**
4865731
- **116084-01 – X11 6.6.1: font patch**
4857041
- **116090-05 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For EDITABLE Files**
- **116092-04 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For Script Files**
- **116105-05 – X11 6.6.1: Freetype patch**
4795241 4939829 5060847 5067065 5037640 6367474
- **116119-01 – SunOS 5.9: CDE Localization message patch**
4866067
- **116121-01 – X11 6.4.1: platform support for new hardware**
4908954
- **116157-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For CDE Package CAS Scripts**
4822385
- **116178-01 – SunOS 5.9: libcrypt Patch**
4751585
- **116180-01 – SunOS 5.9: geniconvtbl Patch**
4908670

- **116229-01 – SunOS 5.9: libgen Patch**

4840237

- **116231-03 – SunOS 5.9: llc2 Patch**

4828919 4841523 4949336 6360708

- **116237-01 – SunOS 5.9: pfexec Patch**

4925561

- **116241-01 – SunOS 5.9: keysock Patch**

4730920

- **116243-01 – SunOS 5.9: umountall Patch**

4687955 4761847 4874083

- **116245-01 – SunOS 5.9: uncompress Patch**

4668687 4914361

- **116247-01 – SunOS 5.9: audit_warn Patch**

4503182 4650565 4845882

- **116298-21 – Sun One Application Server 7.0: Java API for XML Parsing 1.2 Patch**

4724728 4734337 4744128 4761151 4776091 4811431 4818853 4819412 4830338 4840324 4849368
 4849513 4851218 4853543 4860400 4861767 4861948 4862994 4869664 4870233 4872948 4876672
 4884552 4886253 4886683 4888612 4890613 4892587 4893954 4895814 4902210 4904100 4904764
 4907283 4909380 4909796 4910686 4913290 4913458 4914362 4917206 4921551 4922884 4923230
 4925548 4926581 4926972 4928341 4930027 4930986 4931379 4933997 4937416 4937667 4938319
 4942044 4942341 4942381 4947231 4947756 4949245 4949318 4950035 4954609 4954711 4955404
 4957162 4958393 4958395 4962225 4962418 4965713 4965815 4969036 4969425 4972432 4972796
 4976025 4976401 4976502 4978068 4978369 4978647 4980136 4980660 4982525 4987217 4987274
 4991198 4991659 4992275 4994363 4994366 4996111 4997113 5003309 5004406 5005643 5005653
 5013767 5015561 5017630 5017695 5017895 5021054 5021585 5021712 5022904 5022976 5024804
 5025894 5029014 5033159 5034880 5039545 5043376 5049159 5056917 5057723 5063790 6230798
 6264531 6360036 6361877 6387790 6396045 6267905 6277733 6193156 6223367 6223368 6285724
 6286783 6288472 6308777 6324565 6210327 6217658 6240424 6251775 6181948 6197275 6088593
 6092475 6092499 6152742 6155154 6155446 6156869 6067367 5063854

- **116300-21 – Sun One Application Server 7.0: Java Mail Runtime Patch**

4724728 4734337 4744128 4761151 4776091 4811431 4818853 4819412 4830338 4840324 4849368
 4849513 4851218 4853543 4860400 4861767 4861948 4862994 4869664 4870233 4872948 4876672
 4884552 4886253 4886683 4888612 4890613 4892587 4893954 4895814 4902210 4904100 4904764
 4907283 4909380 4909796 4910686 4913290 4913458 4914362 4917206 4921551 4922884 4923230
 4925548 4926581 4926972 4928341 4930027 4930986 4931379 4933997 4937416 4937667 4938319

4942044 4942341 4942381 4947231 4947756 4949245 4949318 4950035 4954609 4954711 4955404
 4957162 4958393 4958395 4962225 4962418 4965713 4965815 4969036 4969425 4972432 4972796
 4976025 4976401 4976502 4978068 4978369 4978647 4980136 4980660 4982525 4987217 4987274
 4991198 4991659 4992275 4994363 4994366 4996111 4997113 5003309 5004406 5005643 5005653
 5013767 5015561 5017630 5017695 5017895 5021054 5021585 5021712 5022904 5022976 5024804
 5025894 5029014 5033159 5034880 5039545 5043376 5049159 5056917 5057723 5063790 6230798
 6264531 6360036 6361877 6387790 6396045 6267905 6277733 6193156 6223367 6223368 6285724
 6286783 6288472 6308777 6324565 6210327 6217658 6240424 6251775 6181948 6197275 6088593
 6092475 6092499 6152742 6155154 6155446 6156869 6067367 5063854

- **116308-01 – CDE 1.5: libDtHelp patch**

4930117

- **116334-01 – SunOS 5.9: kanji command patch**

4928656

- **116340-05 – SunOS 5.9: gzip and Freeware info files patch**

4793452 5069958 6283819 6294656 6324222

- **116453-02 – SunOS 5.9: sadmin patch**

4079984

- **116472-02 – SunOS 5.9: rmformat Patch**

4285600 4362287 4776340 4778681 4983588 5028534 6181228

- **116474-03 – SunOS 5.9: libsmmedia Patch**

4776340 5006093 6240296

- **116476-01 – SunOS 5.9: pcic Driver Patch**

4776340

- **116478-01 – SunOS 5.9: usr platform links Patch**

4723473 4776340

- **116480-01 – SunOS 5.9: IEEE 1394 Patch**

4358271 4498803 4620080 4719215 4723471 4723473 4743919 4776340 4780080 4780083 4799679
 4891594

- **116482-02 – SunOS 5.9: modload Utils Patch**

4719453 4747701 4776340

- **116484-01 – SunOS 5.9: consconfig Patch**

4806185 4828972

- **116486-03 – SunOS 5.9: tsalarm Driver Patch**
4870759 4874917 4876816 4899522 5034685 5062839
- **116488-03 – SunOS 5.9: Lights Out Management (lom) patch**
4870759 4874917 4876816 4899522 6302553
- **116489-01 – SunOS 5.9: ttymux Patch**
4743801
- **116490-01 – SunOS 5.9: acctdusg Patch**
4411999 4897608
- **116493-01 – SunOS 5.9: ProtocolTO.java Patch**
4866638
- **116494-01 – SunOS 5.9: libdevice Patch**
4778303 4900007 4783585
- **116495-03 – SunOS 5.9: specfs Patch**
4878795 4978326 5030377
- **116498-02 – SunOS 5.9: bufmod Patch**
4875506 5101653
- **116500-01 – SunOS 5.9: SVM auto-take disksets Patch**
4871258
- **116502-03 – SunOS 5.9: mountd Patch**
4634519 4745909 4817833 4898991 6253388 6279317
- **116506-02 – SunOS 5.9: traceroute patch**
4837086 4902275
- **116510-02 – SunOS 5.9: wscons Patch**
4966145 5002139
- **116527-02 – SunOS 5.9: timod Patch**
4924525 6337123
- **116529-01 – SunOS 5.9: smbush Patch**
4777162

- **116530-02 – SunOS 5.9: bge.conf Patch**

4978610 6306072 6387618 6395954 6402958 6404079 6407424 6414357 6417933

- **116532-03 – SunOS 5.9: mpt Patch**

4961578

- **116534-01 – SunOS 5.9: metassist Patch**

4966463

- **116538-03 – SunOS 5.9: SUNW_disk_link.so Patch**

4334693 4622990 4716238 5005820 6177814

- **116543-04 – SunOS 5.9: vmstat Patch**

4871277 5047837 6284248

- **116546-08 – SunOS 5.9: CDRW DVD-RW DVD+RW Patch**

4839581 4845620 4982556 5004884 5008897 5038057 5039437 5052888 5106372 6178838 6194995
6226041 6237805 6237817 6239665 6297848 6327126 6346283 6372024 6373496 6374677

- **116548-05 – SunOS 5.9: ufsboot Patch**

4520944 5028438 6228203 6276060

- **116552-01 – SunOS 5.9: su Patch**

4026556

- **116554-01 – SunOS 5.9: semsys Patch**

4941742

- **116557-04 – SunOS 5.9: sbd Patch**

4917418 4937471 5046939 5109126 6180634 6200160 6247378

- **116559-01 – SunOS 5.9: powerd pmconfig patch**

4706727 4724465 4725193 4725195 4733462 4858600 4858604

- **116561-14 – SunOS 5.9: Volume System H/W Series platmod patch**

4463714 4498135 4643212 4646439 4751357 4765953 4777162 4807354 4818224 4838016 4844765
4846785 4854783 4877168 4919578 4924716 4975592 4985416 4993700 5007181 5041132 5042559
5062839 5067101 6197206 6213630 6233445 6256312 6289903 6297079 6342066 6348687 6405176
6237913

- **116636-01 – SunOS 5.9: Symlinks for fr_BE and es gnome i10n support**

4921134

■ **116663-01 – SunOS 5.9: ntpdate Patch**

4727171 5021867

■ **116669-20 – SunOS 5.9: md Patch**

4380147 4634775 4695547 4734624 4750899 4790035 4813460 4822189 4826485 4842627 4886687
4892666 4915431 4927518 4964361 4981298 5018506 5026655 5047567 5048347 5048915 5061410
5061599 5063525 5067898 5068997 5070446 5070496 5070511 5071059 5071901 5072849 5073220
5073727 5080192 5080292 5081041 5081477 5085032 5087369 5088893 5089083 5089909 5093712
5097853 5102518 5109446 5109456 5110153 6176220 6178538 6178560 6182797 6184792 6189856
6192304 6209065 6217370 6220234 6220478 6224745 6242768 6243675 6244431 6290815 6304858
6324927 6341629 6345556 6370127

■ **116670-04 – SunOS 5.9: gld Patch**

5028003 5052933 5075995 6269285 6271650

■ **116674-06 – GNOME 2.0.2 File Manager Patch**

4860816 4955976 4874903 5048025 4789033 4851761

■ **116755-01 – SunOS 5.9: usr/snadm/lib/libadmutil.so.2 Patch**

4868757 4904083

■ **116774-03 – SunOS 5.9: ping patch**

4807715 4837086 4902275

■ **116776-01 – SunOS 5.9: mipagent patch**

4837086

■ **116778-01 – SunOS 5.9: in.ripngd patch**

4837086

■ **116780-02 – SunOS 5.9: scmi2c Patch**

5056654 6181495

■ **116782-01 – SunOS 5.9: tun Patch**

4742715

■ **116807-02 – SunOS 5.9: /usr/sadm/lib/smc/lib/preload/jsdk21.jar patch**

4947668 5090761

■ **116846-03 – SunOS 5.9: SCRIPT patch**■ **117067-04 – SunOS 5.9: awk nawk oawk Patch**

1239581 4836376 4896779 4900365 4955130 5004023 5040318 5041036 5090114 6337300

- **117071-01 – SunOS 5.9: memory leak in llc1_ioctl()**

4713774

- **117100-04 – SunOS 5.9: New Euro UTF-8 locales needed**

4944441 5007190 6181537

- **117114-02 – CDE 1.5: sdtwebclient patch**

4834610 5010600

- **117119-05 – SunOS 5.9: Sun Gigabit Ethernet 3.0 driver patch**

4804523 6188981 5054087 4964514 5063362 4993021 4982982 5090946 6238162 5019183 6240487

- **117123-07 – SunOS 5.9: wanboot Patch**

4994863 5036999 6228203 6231877 6276060 6307652

- **117124-12 – SunOS 5.9: platmod, drmach, dr, ngdr, & gptwocfg Patch**

4410012 4762259 4831702 4857426 4860202 4860955 4873095 4893666 4921936 4929059 4957883

4964679 4979315 5000945 5018945 5032418 5036945 5046939 5075885 5076027 5081588 5090037

5109126 6180581 6198169 6200160 6214180 6247378 6252214 6298989

- **117127-02 – SunOS 5.9: header Patch**

4942663 4944406 5059500

- **117129-01 – SunOS 5.9: adb Patch**

4942663 4944406

- **117131-01 – SunOS 5.9: adm1031 Patch**

4854121

- **117132-01 – SunOS 5.9: cachefsstat Patch**

4256677

- **117134-01 – SunOS 5.9: svm flasharchive patch**

4838219

- **117138-01 – SunOS 5.9: seg_spt.h**

4477936

- **117143-01 – SunOS 5.9: xntpd Patch**

4892938

- **117152-01 – SunOS 5.9: magic Patch**

5046669

- **117155-10 – SunOS 5.9: pcipsy Patch**

5008778 5042249 5076027 5078437 5091275 6189186 6235959 6242831 6247399 6316557 6364698
6381666 6384639 6387590

- **117160-01 – SunOS 5.9: /kernel/misc/krtld patch**

4983758

- **117162-01 – SunOS 5.9: patch usr/src/uts/common/sys/cpc_impl.h**

4943059 4948972

- **117165-01 – SunOS 5.9: pmubus Patch**

5012902

- **117168-02 – SunOS 5.9: mpstat Patch**

5026628 5075341

- **117171-17 – SunOS 5.9: Kernel Patch**

4025675 4167478 4368576 4398885 4477936 4493561 4615194 4626323 4632219 4643312 4682197
4682537 4769472 4772960 4802594 4802646 4802915 4817079 4819991 4825043 4833860 4841632
4841930 4849610 4860183 4860955 4860976 4865731 4865856 4866849 4874549 4878077 4893666
4895891 4896149 4897386 4905701 4915782 4926737 4927647 4928612 4930184 4930185 4932237
4934929 4941431 4941930 4942663 4943059 4944039 4944406 4946459 4946473 4946815 4948972
4953382 4958313 4959637 4975228 4978865 4988523 4996240 5002279 5017145 5017148 5017847
5017962 5021064 5026502 5026824 5028398 5035198 5036234 5039920 5042241 5042253 5050686
5054052 5056444 5059500 5059920 5084220 5092221 5108333 6210001

- **117177-02 – SunOS 5.9: lib/gss module Patch**

4406914 4452339 4614979 4621219 4635546 4680230 4707788 4708846 4709475 4710108 4710111
4711335 4713097 4713592 4714596 4719654 4720595 4733532 4740969 4750989 4759759 4777436
4784872 4799122 4807010 4811575 4816590 4828467 4837140 4841566 4857179 4862449 4924554
4925970 4926391 4926624 4928964 4964839 4966521 4967674 4969306 4971630 4971810 4975057
4976155 4976745 4977574 4982991 4990122 5002100 5005870 5006690 5006695 5006762 5012765
5013640 5014180 5014600 5014946 5014951 5014969 5019044 5020325 5021347 5022903 5023074
5025296 5036242 5048596 5049660 5054240 5054835 5058293 5060425 5060618 5062508 5063375
5066767 5076804 5082282 5083048 5083197 5088670 5090324 5094142 5094528 5109225 5109404
5109487 5109496 6176256 6181680 6182695 6185726

- **117179-01 – SunOS 5.9: nfs_dlboot Patch**

5027222

- **117184-01 – GNOME 2.0.2: GNOME panel and support libraries Patch**

4982661

- **117186-02 – GNOME 2.0.2: GNOME Virtual File System Framework Patch**

4944784 5068240

- **117201-09 – X11 6.6.1: st patch**

4959585 5030512 5048581 5054000 5054083 5054770 5049175 5061404 5063909 4997203 5064804
 5067089 5048680 5067795 5065960 5071005 5070541 5069220 5070941 5071007 5072097 5072207
 5049419 5079484 5037640 5102370 5104693

- **117203-04 – X11 6.6.1: fontconfig patch**

4983354 5028919 5011380 5036458 5065960

- **117256-01 – SunOS 5.9: Remove old OW Xresources.ow files**

5016219

- **117280-03 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For EDITABLE Files**

4531894 4941466 4773326 5023674

- **117282-03 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For Script Files**

4531894 5062839

- **117400-01 – SunOS 5.9: ISO8859-6 and ISO8859-8 iconv symlinks**

4928164

- **117418-01 – SunOS 5.9: consms patch**

4718437

- **117420-02 – SunOS 5.9: mdb Patch**

4531894 5037365

- **117426-03 – SunOS 5.9: ctsmc and sc_nct driver patch**

4941466 5062839 6202868

- **117428-01 – SunOS 5.9: picl Patch**

4941466

- **117430-01 – SunOS 5.9: ttymux Patch**

4941466 4967381

- **117431-01 – SunOS 5.9: nss_nis Patch**

4644308

- **117433-02 – SunOS 5.9: FSS FX RT Patch**
5059500 6251636
- **117441-01 – SunOS 5.9: FSSdispadmin Patch**
4977407
- **117443-01 – SunOS 5.9: libkvm Patch**
5078943
- **117445-01 – SunOS 5.9: newgrp patch**
4705393
- **117450-01 – SunOS 5.9: ds_SUNWnisplus Patch**
5030069 5057130
- **117453-01 – SunOS 5.9: libwrap Patch**
4967563
- **117455-01 – SunOS 5.9: in.rwhod Patch**
4705157
- **117457-01 – SunOS 5.9: elfexec Patch**
6175381
- **117459-01 – SunOS 5.9: routing socket module Patch**
5074404
- **117471-03 – SunOS 5.9: fifofs Patch**
5036875 5098322 6376632 6396390
- **117473-01 – SunOS 5.9: fwtmp Patch**
6180974
- **117477-01 – SunOS 5.9: vol Patch**
4349871 4857372 4906902 4907085 4940964 5006301 5073105 5073109 5073158 5073172
- **117479-01 – SunOS 5.9: efcodes patch**
4766717 6177369
- **117480-01 – SunOS 5.9: pkgadd Patch**
6202830

- **117483-01 – SunOS 5.9: ntwdt Patch**

6230025

- **117485-01 – SunOS 5.9: fn_ctx_x500.so.1 Patch**

4807798

- **117488-01 – SunOS 5.9: printmgr Localization message patch**

5033604

- **117560-03 – SunOS 5.9: Microtasking libraries (libmtsk) patch**

4822965 4877490 4915962 5087100 5087277 5087628 5089382 5091653 5092014 5092233 5094879
 5096814 5098026 5098139 5104020 5102871 5106203 5107215 6177038 6190879 6192978 6204867
 6206169 6210378 6203445 6198156 4640927 5105585 6176541 6224639 6266200 6281454 6284576
 6292619 6308531 6315352

- **117577-03 – X11 6.6.1: TrueType fonts patch**

5033155 5074803

- **117590-04 – SunOS 5.9: Bug fixes for Locale Administrator**

5032377 5046046 5052631 5067857 5070441 5075710

- **117593-04 – SunOS 5.9: Manual Page updates for Solaris 9**

5042752 5050045 5064171

- **117595-05 – SunOS 5.9: Manual Page updates for Solaris 9**

5067497 6423729 4919470 6424375 6433593 6433601 6439987 6445753 6447932 5027915 5029671
 5029685 5029691 5041575 5043813 5015497 5041574 5057158

- **117601-01 – X11 6.6.1: libowconfig.so.0 patch**

5028599

- **117632-01 – CDE1.5: sun_at patch for Solaris 9**

4839620

- **117636-01 – SunOS 5.9: disk_ata driver patch**

5008787

- **117659-01 – SunOS 5.9: Wnn6 set_fi_user_dic set Error on local path option**

5038089

- **117663-02 – X11 6.6.1: xwd patch**

- 4763759 6183403
 - **117728-01 – CDE1.5: dthello patch**
- 5034913
 - **117746-04 – SunOS 5.9: patch platform/sun4u/kernel/drv/sparcv9/pic16f819**
- 5023674 5062839
 - **117753-01 – SunOS 5.9: SCRIPT patch**
 - **117780-01 – SunOS 5.9: FUJITSU PCI Fibre Channel Driver Special Patch**
- 5062979
 - **117985-03 – SunOS 5.9: XIL 1.4.2 Loadable Pipeline Libraries**
- 5060776 6255091 6357678
 - **118064-04 – SunOS 5.9: Admin Install Project Manager Client Patch**
- 4851840 4937907 5083192
 - **118191-01 – gtar patch**
- 5069958
 - **118193-01 – gtar source patch**
- 5069958
 - **118260-01 – GNOME 2.0.2: GNOME configuration framework Patch**
- 5082453
 - **118300-02 – X11 6.6.1: libXpm patch**
- 5077952 5082323 6196754 6231515 6241936
 - **118305-08 – SunOS 5.9: tcp Patch**
- 4511681 4708720 4796648 4846184 5084452 5089150 5094229 6259389 6276464 6354773
 - **118335-05 – SunOS 5.9: sockfs Patch**
- 4846022 4999223 6231203 6292950
 - **118413-02 – SunOS 5.9: Project Manager Localization message patch**
- 6180563 6207707
 - **118463-01 – SunOS 5.9: du Patch**
- 5068958

- **118465-03 – SunOS 5.9: rcm_daemon Patch**

4483136 4655205 4775771 4836686 4847585 4856242 4956981 4976595 5048956 5083865 5103374

- **118472-01 – SunOS 5.9: pargs Patch**

4878757

- **118535-03 – SunOS 5.9: sh/jsh/rsh/pfsh Patch**

4498084 5045556 6277636

- **118539-02 – SunOS 5.9: schpc Patch**

4902271 5076027

- **118558-34 – SunOS 5.9: Kernel Patch**

1260290 4028137 4117562 4215923 4316952 4324361 4353832 4392972 4484386 4487110 4490112
4510864 4520798 4527582 4587617 4599397 4616050 4618950 4636540 4640542 4640559 4647808
4651946 4656626 4656821 4658782 4660073 4661192 4664349 4665239 4670300 4673645 4679229
4681464 4692005 4692023 4692053 4697219 4697505 4703981 4704996 4710160 4710161 4711217
4711218 4713409 4715000 4715664 4715927 4718737 4721200 4721451 4723351 4726041 4729275
4731122 4733895 4733898 4735825 4743493 4745648 4760403 4762548 4764927 4765183 4766240
4767221 4767281 4769786 4771216 4773186 4773830 4775419 4776134 4776340 4778049 4780312
4780968 4781113 4781568 4784092 4784977 4785498 4788465 4788809 4790332 4794193 4794712
4794822 4796100 4796798 4801542 4806961 4807724 4808786 4809862 4810029 4815744 4818004
4818739 4819633 4820126 4824390 4827612 4827672 4827687 4828270 4832753 4834042 4834149
4836230 4836779 4836824 4840725 4840813 4842171 4842538 4843188 4843701 4845221 4852595
4856282 4857410 4858641 4860202 4860424 4860428 4862012 4864535 4864707 4866433 4870759
4872089 4873815 4874917 4876816 4882246 4885996 4886012 4886938 4887975 4890510 4892419
4895610 4895681 4896555 4897925 4899400 4899522 4903838 4907010 4921361 4923037 4923583
4925049 4931707 4934299 4934546 4934617 4935587 4935907 4936030 4937645 4941466 4942492
4944925 4945033 4946504 4946686 4947970 4949500 4952413 4952525 4952988 4953623 4955544
4955554 4955965 4960084 4961433 4961578 4962596 4963688 4966373 4969038 4969599 4976806
4977946 4979731 4979787 4984733 4986223 4994422 4995744 4998275 5003068 5003760 5006368
5006842 5011103 5012334 5012666 5014326 5015272 5015315 5016636 5017095 5023674 5024277
5025956 5025959 5025968 5027393 5027427 5031720 5033191 5034691 5034702 5036234 5037923
5039202 5040068 5041985 5044486 5046939 5057101 5062387 5062645 5062839 5063140 5065051
5065994 5072636 5073604 5076027 5076548 5077968 5082877 5084201 5084503 5086715 5087929
5090037 5093352 5095432 5103805 5106210 5106803 6175186 6176554 6178457 6180227 6186851
6187076 6188865 6192370 6195171 6197811 6197861 6199548 6200160 6203341 6203464 6204443
6204621 6205337 6206732 6207276 6208131 6208896 6209411 6209588 6210881 6213074 6214188
6218503 6225381 6228874 6229754 6230025 6234363 6239011 6239064 6242869 6243046 6243697
6243897 6245090 6247378 6248724 6250164 6256245 6256312 6259809 6264883 6265177 6266921
6269517 6272865 6274493 6278650 6280933 6283565 6286821 6294464 6301580 6302553 6306023
6311576 6312941 6312946 6312949 6312954 6317677 6320011 6324745 6329593 6330765 6332630
6333508 6337779 6339942 6340900 6342066 6344534 6346698 6347431 6349142 6350363 6350587
6356477 6358498 6360506 6361360 6363181 6364067 6365800 6367660 6372436 6373268 6374049
6377502 6378652 6381666 6382016 6385529 6398346 6405273 6407867 6420302 6421515 6422882
6427498 6436993 6462053 6462760 6464774

- **118586-02 – SunOS 5.9: cp/ln/mv & XPG4 cp/ln/mv Patch**
5015406 5028048
- **118618-01 – Network Security Services for Java (JSS) 3.1.2.3 SunOS 5.8 5.9: genesis patch**
- **118759-01 – X11 6.6.1: Font Administration Tools patch**
6203719
- **118897-01 – SunOS 5.9: stc Patch**
6174587
- **119433-01 – SunOS 5.9: telnet**
6234932
- **119438-01 – SunOS 5.9: usr/bin/login Patch**
6179000
- **119447-01 – SunOS 5.9: ses Patch**
6227029
- **119449-01 – SunOS 5.9: Perl Patch**
4951799
- **119494-01 – SunOS 5.9: mkisofs patch**
5104326
- **119928-02 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For Script Files**
6237500 6247378
- **119929-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/xargs patch**
6203159
- **119937-02 – SunOS 5.9: inetboot patch**
6228203 6276060
- **119976-01 – CDE 1.5: dtterm patch**
6219941
- **120025-01 – SunOS 5.9: ipsecconf Patch**
6214460
- **120192-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For EDITABLE Files**

4531894 4941466 4773326 5023674 5057101 6230025 6231964 4883904

- **120240-01 – SunOS 5.9: ps cmd patch**

4798073 5045071

- **120241-03 – SunOS 5.9: bge patch**

4913952 4991238 6198216 6306072 6387618 6395954 6402958 6404079 6407424 6414357 6417933
6468502

- **120315-01 – SunOS 5.9: XMITS 3.X ASIC and IO assemblies for Starcat, Serengeti, LW8**

5076027

- **120441-03 – SunOS 5.9: libsec patch**

4426407 4701712 6332352 6341429 6362641 6407635

- **120443-01 – SunOS 5.9: sed core dumps on long lines**

4865669

- **120445-01 – SunOS 5.9: Toshiba platform token links (TSBW,Ultra-3i)**

6296066

- **120768-01 – SunOS 5.9: grpck patch**

6221968

- **120850-01 – SunScreen 3.2 miscellaneous fixes for Solaris 9 SPARC**

6316892

- **120877-01 – SunOS 5.9: xscreensaver localization message patch**

6203951

- **121194-01 – SunOS 5.9: usr/lib/nfs/statd Patch**

4634519 6253388 6279317

- **121314-01 – SunOS 5.9: tl driver patch**

4352289

- **121316-02 – SunOS 5.9: kernel/sys/doorfs Patch**

5031470 6272865 6329593

- **121319-01 – SunOS 5.9: devfsadmd_mod.so Patch**

5010948

- **121321-03 – SunOS 5.9: ldap Patch**

4701755 4701811 4739447 4857063 6294728 6365882 6371932 6373271

- **121588-01 – SunOS 5.9: /usr/xpg4/bin/awk Patch**

5074811

- **121985-01 – GNOME 2.0.2: CORBA ORB and component framework Patch**

6295858

- **121992-01 – SunOS 5.9: fgrep Patch**

6295261

- **121996-01 – SunOS 5.9: S9 perl 5.005_03's CGI.pm and Safe.pm modules Patch**

6338552

- **121998-01 – SunOS 5.9: two-key mode fix for 3DES Patch**

6296920

- **122002-01 – SunOS 5.9: kstat patch**

5050786 6359607

- **122484-01 – SunOS 5.9: preen_md.so.1 patch**

6273536

- **122485-01 – SunOS 5.9: 1394 mass storage driver patch**

5016270 5102894 5105717 6184778 6192523 6196971 6198614 6203680 6204546 6214108 6228610
6239895 6260568 6262353 6272461 6273456

- **122673-01 – SunOS 5.9: sockio.h header patch**

4796820 5084073

- **122709-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/dc patch**

4510555

- **122713-01 – SunOS 5.9: expr patch**

6354064

- **122716-01 – SunOS 5.9: kernel/fs/lofs patch**

5034470

- **122976-01 – SunOS 5.9: /usr/lib/mdb/kvm/ipc.so Patch**

6371108

- **123056-01 – SunOS 5.9: ldterm patch**

4028137 5024277

- **123058-01 – SunOS 5.9: /usr/xpg4/bin/more Patch**

4268038

- **123182-01 – SunOS 5.9: iwscn patch**

6347629

- **123760-01 – SunOS 5.9: platform driver Patch**

6256312 6342066 6358078

- **123761-03 – SunOS 5.9: PCIE/Fire drivers Patch**

6381666 6387501 6450048 6460091

- **123762-01 – SunOS 5.9: Chicago audio driver Patch**

6229153 6256312

- **123763-02 – SunOS 5.9: Sun Fire V215/V245 platform Patch**

6313684 6342066 6356712 6369683 6370208 6370213 6370337 6386970 6392368 6406491 6410521
6422106 6432451 6432807 6436993 6440599

- **123764-01 – SunOS 5.9: Boston platform Patch**

6342066 6328752 6412527 6356712 6369218 6371983 6432451 6368491 6392368 6432807

- **123765-01 – SunOS 5.9: Chicago platform Patch**

6256312 6335746

- **123766-01 – SunOS 5.9: pcf8584/pmugpio/ebus Patch**

6256312 6342066 6358078

- **123767-01 – SunOS 5.9: locator patch**

6347537

- **123768-02 – SunOS 5.9: byteorder.h and ddi_impldefs.h patch**

4760705 6381666

- **123769-01 – SunOS 5.9: Schumacher platform binaries patch**

6237913

- **123770-01 – SunOS 5.9: Schumacher platform libraries patch**

6237913

- **123837-02 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For Script Files**

6201257 6229153 6287550 6337131 6345641 6363181 6437529

- **123838-04 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For Editable Files**

6256312 6342066 6345641

- **124015-01 – SunOS 5.9: SPECIAL PATCH: For Package Level Scripts**

6425298